



風水害

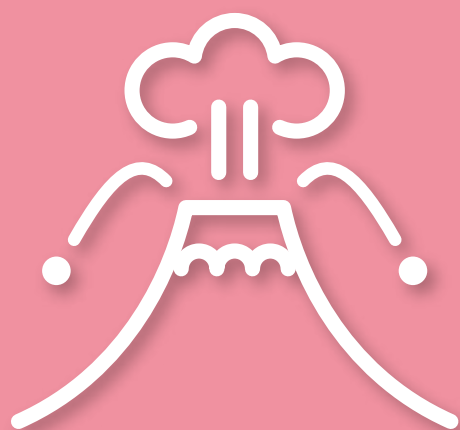


土砂災害

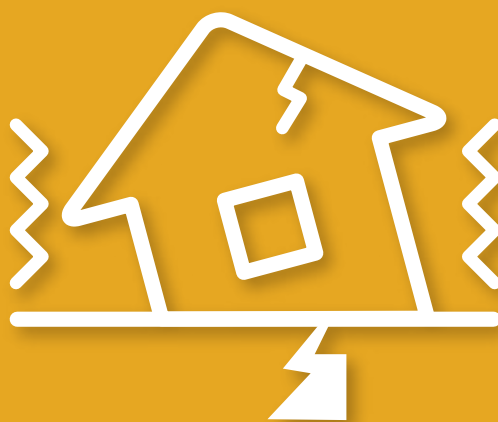
由布市 防災マップ

保存版

令和6年11月発行



火山



地震

由布市ホームページ
(防災情報)



ハザードマップポータルサイト
(国土交通省)



マップの使い方・目次

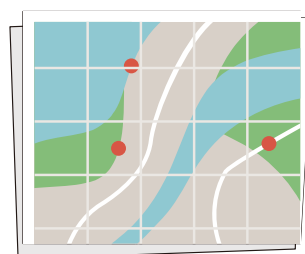
防災対策は万全ですか？

災害から身を守り、被害を最小限に食い止めるには、日頃の備えがとても大切です。
この防災マップには、防災に関する情報をはじめ、避難所の位置や浸水被害、土砂災害が発生する危険のある箇所を地図上に示しています。
災害に備えて必要となる情報は何か、命を守るためにはどのように行動すべきかを予め考えておき、家庭や地域の防災対策に役立ててください。

防災マップの使い方

1. 自宅の位置を確認しましょう

災害が想定される位置を確認しましょう。自宅がある場所は、どのような災害が予想されるのかを地図をみて確認しましょう。



2. 自宅付近の避難所を確認しましょう

災害に応じた避難所を地図で確認しましょう。

3. 災害想定区域を避けて、避難経路を決めましょう

避難経路は浸水被害や土砂災害などの災害が想定される場所を避けるようにしましょう。

4. 実際に避難経路を歩いてみて、安全を確認しましょう

家庭や地域で話し合いながら、実際に歩いてみましょう。避難経路に危険な場所がある場合には、避難経路を見直しましょう。



目次

● 過去由布市で発生した災害	P. 1	● 特別警報をご存知ですか？	P. 14
● 避難情報	P. 2	● 避難行動判定フロー	P. 15
● 防災情報の収集	P. 3	● マイ・タイムラインの作成	P. 16～17
● 風水害・台風	P. 4	● 避難時の注意点	P. 18
● 土砂災害・ため池の決壊	P. 5	● 非常持ち出し品	P. 19
● 洪水	P. 6	● 指定緊急避難場所・指定避難所・福祉避難所	P. 20～21
● 水害に関する情報	P. 7	● 自主防災組織と災害時要配慮者への対応	P. 22
● 地震の揺れ	P. 8	● 防災マップの見方	P. 23
● 地震	P. 9	● 由布市 全体図(索引図)	P. 24～25
● 防災対策&チェック	P. 10	● 防災マップ	P. 26～109
● 火災・原子力災害	P. 11	● 緊急時の連絡	裏表紙
● 火山	P. 12～13		

過去由布市で発生した災害

この冊子の記事情報は、2024年8月現在のものを使用し作成しております。最新の情報は由布市のホームページよりご確認ください。

平成24年7月土石流災害



6月8日の梅雨入りから7月23日梅雨明けまでの46日間に気象庁の湯布院観測所では、1254.5ミリを観測し、平年値575.1ミリの2.18倍となった。7月1日には、由布岳山腹から土石流が発生し、

岳本川流域で住家被害が発生。半壊1棟、床上浸水2棟、床下浸水6棟、土砂流入9棟。非住家の床上浸水3棟、土砂流入18棟。気象庁は、大雨災害において最大級の危機感を伝えるため、「これまでに経験をしたことのないような大雨」という表現をこの前線豪雨で用いた。

令和2年7月豪雨



7月6日から8日にかけて梅雨前線による豪雨により、大分県内では8地点で24時間降水量が250ミリを超え、これまでの記録を超える大雨となった。由布市においても庄内町で1時間の最大雨量が90ミリを超える猛烈な雨を観測し、市内で多くの土砂災害が発生した。花合野川では各所で土石流が発生したことで河川が氾濫した。死者5名、全壊6棟、半壊17棟、一部損壊82棟、床上浸水23棟、床下浸水136棟が発生した。

令和4年9月台風14号



大型で非常に強い台風14号の接近により、湯布院町川西で土砂災害が発生。また、湯布院町宮川が氾濫。警戒レベル5緊急安全確保を発令した。また、本災害は災害救助法(令和3年5月20日改正)による災害発生前の「おそれ適用」となった。全壊3棟、半壊2棟、床上浸水19棟

平成28年4月熊本地震



別府市、由布市で震度6弱、県内全市町村で震度4以上を観測。由布市では、災害関連死3名、重傷者7名、軽傷者5名の人的被害のほか、住家においては、一部損壊2,308棟、半壊141棟、全壊1棟の建物被害や、道路被害60件などが発生した。

令和4年7月鶴見岳・伽藍岳の噴火警戒



伽藍岳付近を震源とする火山性地震が増加したため、噴火警戒レベル2(火口周辺規制)に引き上げられた。国が2007年に警戒レベルの運用を始めて以来、警戒レベル2となるのは県内の山では、初めてであった。

令和5年7月大雨災害



梅雨前線が九州付近に停滞し、湯布院町では1時間降水量が68ミリという観測史上1位の値を更新する大雨となった。6月30日21時頃、湯布院町畑倉地区で土砂災害が発生した。死者1名 床上浸水1棟

避難情報

この冊子の記事情報は、2024年8月現在のものを使用し作成しております。最新の情報は由布市のホームページよりご確認ください。

警戒レベルについて

集中豪雨や台風などによって、水害や土砂災害などの災害が発生するおそれがあるとき、どの情報をもとに、どのタイミングで避難をするべきか？それぞれの状況に応じて避難できるよう、災害発生危険度と住民の方々が取るべき行動を5段階の「警戒レベル」を用いてお伝えします。

避難情報等 (警戒レベル)				河川水位や雨の情報 (警戒レベル相当情報)	
警戒 レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報(警戒レベル相当情報)	
				浸水の情報(河川)	土砂災害の情報(雨)
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！ ・警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。 ・警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません！ ・ただし、警戒レベル5は、市区町村が災害の発生・切迫を把握できた場合に、可能な範囲で発令される情報であり、必ず発令される情報ではありません。	緊急安全確保	5 相当 氾濫発生情報	大雨特別警報 (土砂災害)
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難！> ~~~~~				<警戒レベル4までに必ず避難！>	
4	災害の おそれ高い	<b>危険な場所から全員避難</b> ・災害が発生する危険が高まっています。速やかに危険な場所から避難しましょう。	避難指示	4 相当 氾濫危険情報	土砂災害 警戒情報
3	災害の おそれあり	<b>危険な場所から高齢者等は避難</b> ・避難に時間のかかる人(高齢者、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者は危険な場所から避難をしましょう。その他の人も避難の準備や、自主的に避難を開始するタイミングです。	高齢者等避難	3 相当 氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・ 高潮注意報	2 相当 氾濫注意情報	———
1	今後気象状況 悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	1 相当	———

※市区町村長は、河川や雨の情報(警戒レベル相当情報)のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報等(警戒レベル)の発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

※内閣府・気象庁ホームページより一部を抜粋、編集して掲載

自主避難  
について

### 危険を感じたらすぐ避難しましょう

局地的集中豪雨のような突発的な異常気象の場合には、市からの避難情報が間に合わない場合もあります。その際には、身の危険を感じたら安全な場所にいる家族や知人の家、避難所などへ自主的に避難しましょう。

## 避難に関する2つの情報

災害の危険性が高まった場合、市は避難に関する情報を発令します。  
2種類の情報は状況の深刻度に応じて発令しますので、各情報に応じた避難行動をとりましょう。  
※警戒レベル5(緊急安全確保)は、すでに災害が発生している状況です。直ちに命を守るための最善の行動をとってください。

### 警戒レベル3・高齢者等避難

人的被害の発生する危険性が高まった状況。

- 避難するのに時間がかかる高齢者など災害時要配慮者やその支援者は避難を始めます。
- 通常の避難行動ができる人は、家族との連絡、非常持ち出し品の用意など避難の準備を始めます。



### 警戒レベル4・避難指示

人的被害の発生する危険性が非常に高まった状況、あるいはすでに人的被害が発生した状況。

- まだ避難していない住民は直ちに避難します。
- 万一避難する余裕がなければ、命を守る最低限の行動を取ります。



# 防災情報の収集

この冊子の記事情報は、2024年8月現在のものを使用し作成しております。最新の情報は由布市のホームページよりご確認ください。

## 防災情報の入手方法

### 災害情報配信サービス

#### 【由布市防災ラジオ】

災害が発生し、または発生するおそれがある場合防災ラジオを通じて緊急情報を提供します。

緊急放送は、電源と良好な受信環境が確保されていれば、ラジオを聴いていなくても自動起動し、ゆふいんラジオ局(87.4MHz)の電波に割り込んで市から情報発信を行います。**緊急放送は最大音量で放送します。**

平常時から電源の確認、電波の受信状況を確認し、有事の際に防災情報が聴ける状態にしておきましょう。

- 本体に電池を入れ、アダプタを常にコンセントに接続しておいてください。  
※ 電池は定期的に点検・交換をしてください。



防災ラジオは市内の各世帯及び申請があった事業所等に無償で貸与しています。

#### 【由布市公式アプリ「ゆふポ」】



由布市から「防災情報」「暮らしの情報」「お知らせ」をタイムリーに通知します。避難所の開設状況や混雑状況、ハザードマップの閲覧や防災ラジオで流れた緊急情報を確認することができます。



インストールはこちらから



Google Play  
で手に入れよう



App Store  
からダウンロード

#### 【屋外スピーカー】

屋外にいる方へ災害情報や避難情報を伝達するため市内45か所に設置しています。  
※ 定時のミュージックサイレンはスピーカーの点検を兼ねています。

緊急放送が聞き取れなかった、もう一度聞きたい場合

イザコマル

097-582-1350 に電話、もしくは、ゆふポで確認できます。

#### 大分県公式【おおいた防災アプリ】



由布市をはじめ大分県内の防災情報がプッシュ通知で届きます。

【主な機能】

- ・マイ・タイムラインの作成機能
- ・避難所等検索マップ表示
- ・道路規制情報
- ・家族グループ機能 など



インストールはこちらから



Google Play  
で手に入れよう



App Store  
からダウンロード

### インターネットで調べる

#### 【由布市ホームページ(防災情報)】

防災に関する情報、各種情報へのリンクが確認できます。



#### 【おおいた防災情報ポータル】

大分県内の市町村の防災情報や道路規制情報、防災マップ(避難所・警戒区域等)が確認できます。



#### 【大分地方気象台】

気象情報・注意報、土砂・浸水・洪水キキクル、大雨・台風・津波・噴火情報などが確認できます。



### Jアラート

弾道ミサイル情報、大津波警報、緊急地震速報等の緊急情報を、人工衛星を用いて国(内閣官房・気象庁から消防庁を経由)から送信し、市区町村の防災行政無線や携帯メール、コミュニティFM等を自動起動させるもので、国から住民まで緊急情報を瞬時に伝達するシステムです。

### 放送例

#### ゲリラ攻撃情報

◀ 警報音: ブーメー

ミサイル発射。ミサイル発射。ミサイルが発射されたものとみられます。建物の中、又は地下に避難してください。



#### 大津波警報

◀ 警報音: ウーノウーノウーノ

大津波警報。大津波警報。東日本大震災クラスの津波が来ます。ただちに高台に避難してください。



#### 緊急地震速報

◀ 警報音: ピロン ポローンメ  
ピロン ポローンメ

緊急地震速報。大地震です。大地震です。





# 風水害・台風

この冊子の記事情報は、2024年8月現在のものを使用し作成しております。最新の情報は由布市のホームページよりご確認ください。

## 大雨注意報、警報、特別警報の発表のめやす

大雨注意報

災害が起こるおそれのあるときに注意を呼びかけて行う予報

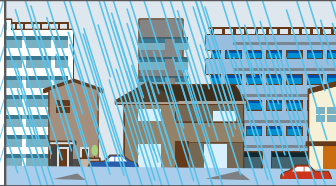
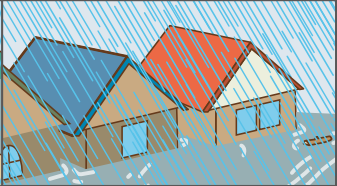
大雨警報

重大な災害が起こるおそれのあるときに警戒を呼びかけて行う予報

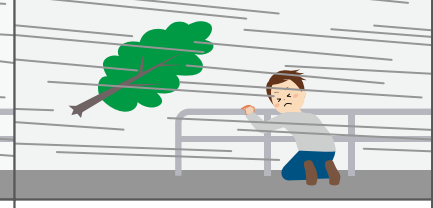
大雨特別警報

台風や集中豪雨により、数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合

### 雨の強さと降り方

やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間雨量 10mm以上～20mm未満	1時間雨量 20mm以上～30mm未満	1時間雨量 30mm以上～50mm未満	1時間雨量 50mm以上～80mm未満	1時間雨量 80mm以上
				
ザーザーと降り、雨の音で話し声が良く聞き取れない。この程度の雨でも長く続く時は注意が必要。	どしゃ降り、傘をさしていてもぬれる。ワイパーを速くしても見づらい。側溝等があふれる。	バケツをひっくり返したように降り、道路が川のようにになる。危険地帯では避難の準備が必要。	滝のように降り、傘は全く役に立たなくなる。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる。大雨による大規模な災害が発生するおそれが高く、厳重な警戒が必要。

### 風の強さと吹き方

やや強い風	強い風	非常に強い風	猛烈な風
10m/秒以上～15m/秒未満	15m/秒以上～20m/秒未満	20m/秒以上～30m/秒未満	30m/秒以上～
			
風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けない。転倒する人もいる。	何かにつかまっていないと立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	屋外での行動は極めて危険。多くの樹木が倒れる。

### 台風

日本には毎年多数の台風が接近あるいは上陸し、たびたび大きな被害をもたらします。台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

大きさの階級	風速15m/秒以上の半径	強さの階級	最大風速
大型(大きい)	500km以上～800km未満	強い	33m/秒以上～44m/秒未満
超大型(非常に大きい)	800km以上	非常に強い	44m/秒以上～54m/秒未満
		猛烈な	54m/秒以上



### 集中豪雨

集中豪雨は、限られた地域に、突発的に短時間に集中して降る豪雨で、梅雨の終わりごろによく発生します。発生の予測は比較的困難で、河川のはん濫、土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害をもたらすことがありますので、気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。



### 防災対策の事例

- テレビやラジオなどの気象情報に注意する。
- 家族と連絡を取り、非常時に備える。
- 市や防災関係機関の広報をよく聞いておく。
- 飲料水や食料を数日分確保しておく。
- 停電に備え、懐中電灯や携帯ラジオ等を用意する。
- 浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動する。
- 非常持ち出し品を準備しておく。
- 危険な地域にお住まいの方は、いつでも避難できるよう準備をする。

# 土砂災害・ため池の決壊

この冊子の記事情報は、2024年8月現在のものを使用し作成しております。最新の情報は由布市のホームページよりご確認ください。

土砂災害警戒情報(警戒レベル4相当)が発表されていなくても、普段と異なる状況(土砂災害の前兆)に気づいた場合には、直ちに周りの人と安全な場所へ避難しましょう。また、日ごろから危険箇所や避難所、避難場所、避難経路を確認しておくことも重要です。

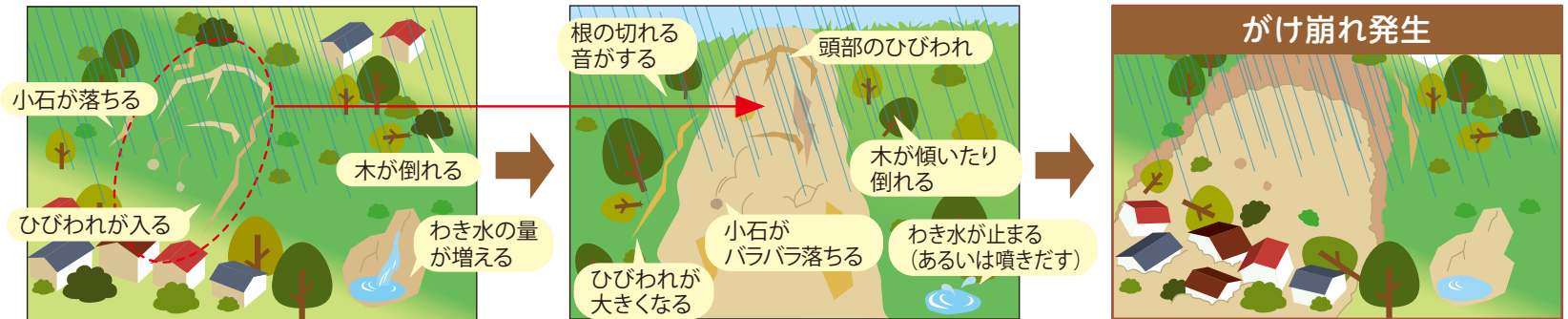
## 土砂災害の種類と前兆現象

由布市土砂災害ハザードマップはこちらから



### がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。



### 土石流

山腹・川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20~40km という速度で一瞬のうちに人家などを壊滅させてしまいます。



### 地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。



※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。普段と違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

## ため池の決壊

由布市ため池ハザードマップはこちらから



大雨や地震等により決壊が発生すると、ため池の貯水機能が喪失するだけでなく下流人家等への甚大な被害が生じます。

### 事前放流

豪雨前にため池の水を事前に放流し水位を下げておくことで、ため池の決壊を防ぎ直下流の家屋浸水・農地災害等の被害の軽減が期待できます。

#### 【注意事項】

- ・貯水位の急激な変動は堤体に悪影響(法面崩壊等)を与えるおそれがあるため、斜樋を上から開ける等の配慮を図ってください。
- ・下流の水路や河川が増水している場合は、浸水被害を助長しないように放流量を調整してください。
- ・降雨が想定以下となった場合、その後の水位回復に時間を要し、営農に影響を与えるおそれがあるため、用水量の確保に留意しつつ取り組んでください。





# 洪水

この冊子の記事情報は、2024年8月現在のものを使用し作成しております。最新の情報は由布市のホームページよりご確認ください。

## 川のはん濫

大雨などにより、川の水量の増加や地中にしみこんだ水分などが起因となり、大きな災害に発展する場合があります。事前にその災害のメカニズムを理解し、身近に起こりえる災害に対応しましょう。

雨量の増加によってもたらされるはん濫には、川から水があふれたり、堤防が決壊して起こる「外水はん濫」と、街中の排水が間に合わず、地下水路などからあふれ出す「内水はん濫」の2タイプがあります。

### 外水はん濫

大雨によって、河川を流れる水が大幅に増え、堤防が決壊したり、堤防から水があふれ出す現象です。



### 内水はん濫

排水能力を超える多量の雨が降り、排水が追い付かず土地や建物が水に浸かる現象です。



## 大雨によって想定される被害

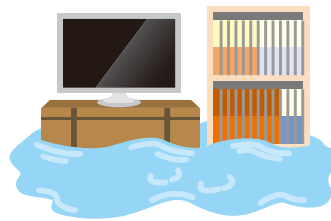
### 道路の冠水

エンジンが停止したり、ドアが開かないなど、車内から出られないことがあります。



### 床下・床上浸水

流れ込んでくる水は泥水であり、水がひいた後も土砂や汚泥が堆積するため、片付けが大変です。



### 家屋の倒壊

河川沿いでは、家屋が倒壊する可能性があり、命の危険もあります。



## 洪水における避難のポイント

### ！ 浸水が始まる前に早めの避難を

はん濫水は勢いが強く、大人の膝程度の深さで歩行が困難となる。浸水してからの自宅外へ避難は危険。

気象予報や河川洪水予報などの情報をもとに、身の危険を感じたら自主的に避難を開始する。



### ！ 状況に応じた避難を

周囲の状況が危険で避難場所まで移動できない場合は、自宅や近隣の頑丈な建物のできるだけ高い階に避難する。移動途中であっても、危険を感じた場合は、近隣の建物のできるだけ高い階に退避する。



### ！ やむなく浸水の中を歩く際は

裸足、長靴は厳禁。水中で脱げづらい紐靴などが適している。また、はん濫水は濁っているため、水面下が確認できない。長い棒などを杖替わりとし、側溝やマンホール、障害物に注意する。



### ！ 川や用水路に近づかない

降雨が続く不安に思っても、川や用水路、田畑の様子は見に行かない。やむを得ない場合は複数人で行動する。河川の様子の確認は、ライブカメラ情報を活用する。また、避難の途中も増水した川の近くを通るのは避ける。



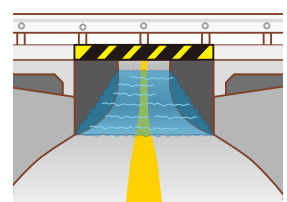
### ！ 地下室、地下街は危険

地下にいる場合、地上の様子が把握しづらく、避難経路が限定される。また、地上が冠水すると、一気に水が流れ込んでくる場合もある。停電の可能性も高く、脱出が困難となる。



### ！ アンダーパスは危険

道路や線路の下をくぐるアンダーパスや地下道は、洪水の際、真っ先に浸水する。場所を把握し、迂回路を想定しておく。



# 水害に関する情報

この冊子の記事情報は、2024年8月現在のものを使用し作成しております。最新の情報は由布市のホームページよりご確認ください。

## 危険度分布に関する情報

キキクル 危険度分布  
はこちらから



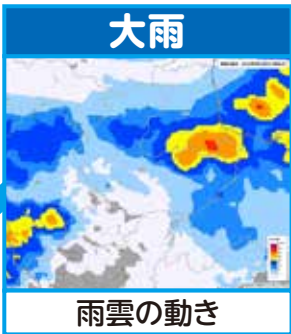
気象庁では、大雨による洪水、浸水害、土砂災害の危険度をキキクル(危険度分布)のホームページで色分けして掲載しています。紫色は危険度が高いことを示しています。

※大分地方気象台より画像提供

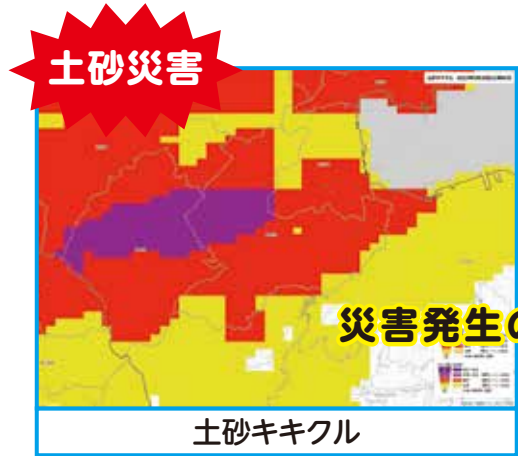
### 災害をイメージしやすいキキクル

大雨の降っている場所は「雨雲の動き」「今後の雨」で把握可能。  
しかし、**災害の発生する場所・時間とは必ずしも一致しない。**

大雨の後かも知れない!



その場では降っていなくても、  
上流の方で降っていたら…!



山や崖の近くが危ない!



周囲より低いところが危ない!



川の近くが危ない!

災害発生の危険度が高まっている場所を視覚的に確認

## 河川の水位に関する情報

レベル5 はん濫発生(はん濫発生情報)		大分川 (御幸橋)	宮川 (宮川橋)	大分川 (大分川平川)	大分川 (碩南大橋)	大分川 (同尻)
由布市	新たにはん濫が及ぶ区域の住民の避難誘導					
住民	新たにはん濫が及ぶ区域では避難を検討・判断					
レベル4 はん濫危険水位(はん濫危険情報)		1.60m	2.70m	4.80m	5.40m	4.80m
由布市	避難指示の発令を判断し、状況に応じて発令					
住民	避難を完了					
レベル3 避難判断水位(はん濫警戒情報)		1.40m	2.20m	4.00m	4.70m	4.40m
由布市	高齢者等避難の発令を判断し、状況に応じて発令					
住民	避難を判断					
レベル2 はん濫注意水位(はん濫注意情報)		0.90m	1.80m	3.30m	4.50m	3.80m
住民	はん濫に関する情報に注意					
レベル1 水防団(消防団)待機水位(発表なし)		0.50m	1.50m	1.80m	3.10m	3.20m

普段の水位

※由布市が発令する避難情報は、状況に応じて既定の水位に達する前に発令することがあります。

大分県 雨量・水位観測情報  
はこちらから



国土交通省 川の防災情報  
はこちらから





# 地震の揺れ

この冊子の記事情報は、2024年8月現在のものを使用し作成しております。最新の情報は由布市のホームページよりご確認ください。

## 地震の揺れと想定される被害

震度階級

震度は、その場所での地震のゆれを階級であらわしたものです。10階級の区分に分けられます。

マグニチュードと震度の違い

「マグニチュード」は、地震そのものの大きさ(規模)を表す単位です。一方「震度」は、地上のある地点での揺れの強さを10段階で表す尺度です。  
「マグニチュード」と「震度」の関係は、例えば、「マグニチュード」の小さい地震でも震源からの距離が近いと地面は大きく揺れ、「震度」は大きくなります。また、「マグニチュード」の大きい地震でも震源からの距離が遠いと地面はあまり揺れなく、「震度」は小さくなります。

震度	揺れなどの状況
0	●人は揺れを感じない。
1	★ ●屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。
2	★★ ●屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。 ●電灯などのつり下げものが、わずかに揺れる。
3	★★★ ●屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。 ●棚にある食器類が音を立てることがある。
4	★★★★ ●ほとんどの人が驚く。 ●電灯などのつり下げものは大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。 ●座りの悪い置物が、倒れることがある。
5弱	★★★★★☆ ●大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。 ●棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。 ●固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。
5強	★★★★★★ ●物につかまらなないと歩くことが難しい。 ●棚にある食器類や本で落ちるものが多くなる。 ●固定していない家具が倒れることがある。 ●補強されていないブロック塀が崩れることがある。
6弱	★★★★★★★☆ ●立っていることが困難になる。 ●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。 ●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ●耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。 倒れるものもある。
6強	★★★★★★★ ●はわなないと動くことができない。飛ばされることもある。 ●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。 ●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。
7	★★★★★★★ ●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。 ●耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 ●耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる。

### 想定される由布市の最大震度

- 中央構造線断層帯による地震 ……

7
- 日出生断層帯による地震 ……

7
- 万年山ー崩平山断層帯による地震 ……

6強
- 南海トラフの巨大地震 ……

5強
- 周防灘断層群主部による地震 ……

5弱
- プレート内地震 ……

6弱

# 地震

この冊子の記事情報は、2024年8月現在のものを使用し作成しております。最新の情報は由布市のホームページよりご確認ください。

## 地震発生時の時間経過別行動マニュアル

### 地震発生

1~2分

#### ●最初の大きな揺れは約1分間

- まず、身を守る安全確保……手近な座布団などで頭を保護

#### ●揺れがおさまったら

- 火元を確認……火が出たら、落ち着いて初期消火
- 家族の安全を確認……倒れた家具の下敷きになっていないかを確認
- 靴をはく……家の中はガラスの破片が散乱。靴や厚手のスリッパをはく
- 避難するときは、屋根瓦・ブロック塀・自動販売機等注意到意
- 津波などの危険が予想される地域はすぐ避難



3分

#### ●みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

##### 隣近所に声をかけよう

- 要配慮者の安全確保……隣近所で助け合う
- 行方不明者はいないか
- ケガ人はいないか

##### 出火防止 初期消火

- 初期消火……消火器を使う、バケツリレー、風呂の水はため置きをしておく
- 漏電・ガス漏れに注意
- 電気のブレーカーを下ろす・ガスの元栓を閉める
- 余震に注意

5分

#### ●防災ラジオなどで正しい情報を得る

- 大声でけが人の確認
- 防災機関、自主防災組織の情報を確認
- デマにまどわされないように
- 避難時に車は極力使用しない
- 電話は緊急連絡を優先する

10分

#### ●協力して消火活動、救出・救護活動

- 水、食料は蓄えているものでまかなう ※3日間の飲料水と食料の備蓄をしておく
- 災害・被害情報の収集
- 無理はやめよう
- 助け合いの心が大切
- 壊れた家に入らない

数時間

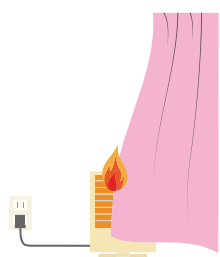
3日



### 屋内にいた場合

#### ●家の中

- 揺れを感じたら、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所へ避難する。
- 火の確認はすみやかに(コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに)。
- 乳幼児や病人、高齢者など要配慮者の安全を確保する。
- 裸足で歩き回らない(ガラスの破片などでケガをする)。



#### ●集合住宅

- ドアや窓を開けて避難口を確保する。避難にエレベーターは絶対に使わない。炎と煙に巻き込まれないように階段を使って避難する。



#### ●デパート・スーパー

- カバンなどで頭を保護し、ショーウィンドウや商品などから離れる。柱や壁ぎわに身を寄せ、係員の指示を聞き、落ち着いた行動をとる。

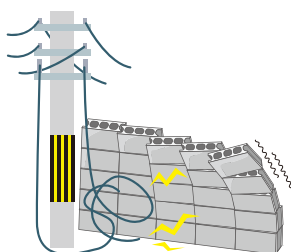
#### ●劇場・ホール

- カバンなどで頭を保護し、座席の間に身を隠し、係員の指示を聞く。
- あわてずに冷静な行動をとる。

### 屋外にいた場合

#### ●路上

- その場に立ち止まらず、窓ガラス、看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などに避難する。
- 近くに空き地などが無いときは、周囲の状況を冷静に判断して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。
- ブロック塀や自動販売機などには近づかない。
- 倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に注意する。



#### ●車を運転中

- ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とし、緊急車両などの通行スペースを確保し、道路の左側に止め、エンジンを切る。
- 揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集する。
- 避難が必要なときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難する。

#### ●電車などの車内

- つり革や手すりに両手でしっかりつかまる。
- 途中で止まっても、非常コックを開けて勝手に車外へ出たり、窓から飛び降りたりしない。
- 乗務員の指示に従って落ち着いた行動をとる。

#### ●海岸付近

- 高台へ避難し津波情報をよく聞く。注意報・警報が解除されるまでは海岸に近づかない。



# 防災対策&チェック

この冊子の記事情報は、2024年8月現在のものを使用し作成しております。最新の情報は由布市のホームページよりご確認ください。

事前に準備出来ているか、チェック☑しましょう。

## 家の中の安全対策

### ☐ 家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる

部屋がいくつもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。  
無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換えする。

### ☐ 家具の転倒を防ぐ

家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすい。家具の下に小さな板などを差し込んで、壁や柱によりかかるように固定する。  
また、金具や固定器具を使って転倒防止策を万全にする。



### ☐ 寝室、子どもやお年寄りのいる部屋には家具を置かない

就寝中に地震に襲われると危険。子どもや、お年寄り、病人などは逃げ遅れる可能性がある。



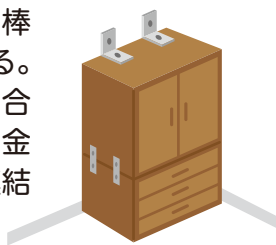
### ☐ 安全に避難するため、出入口や通路にもものを置かない

玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かない。また、玄関にいろいろなものを置くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうことも。

## 家具の転倒、落下を防ぐポイント

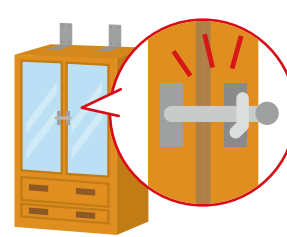
### ☐ タンス・本棚

L字金具や支え棒などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかり連結しておく。



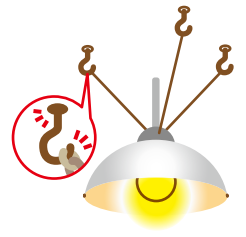
### ☐ 食器棚

L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。



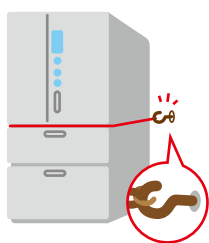
### ☐ 照明

チェーンと金具を使って数か所止める。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで止めておく。



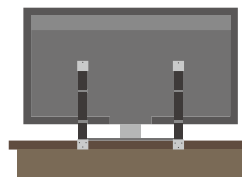
### ☐ 冷蔵庫

扉と扉の間に針金などを巻いて、金具で壁に固定する。



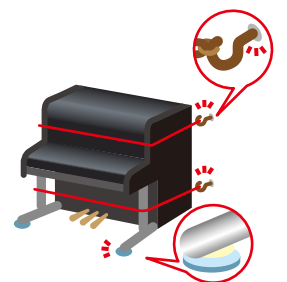
### ☐ テレビ

できるだけ低い位置に固定して置く(家具の上はさける)。



### ☐ ピアノ

本体にナイロンテープなどを巻きつけ、取りつけた金具などで固定する。脚には、すべり止めをつける。



## 家の周囲の安全対策

### ☐ 屋根

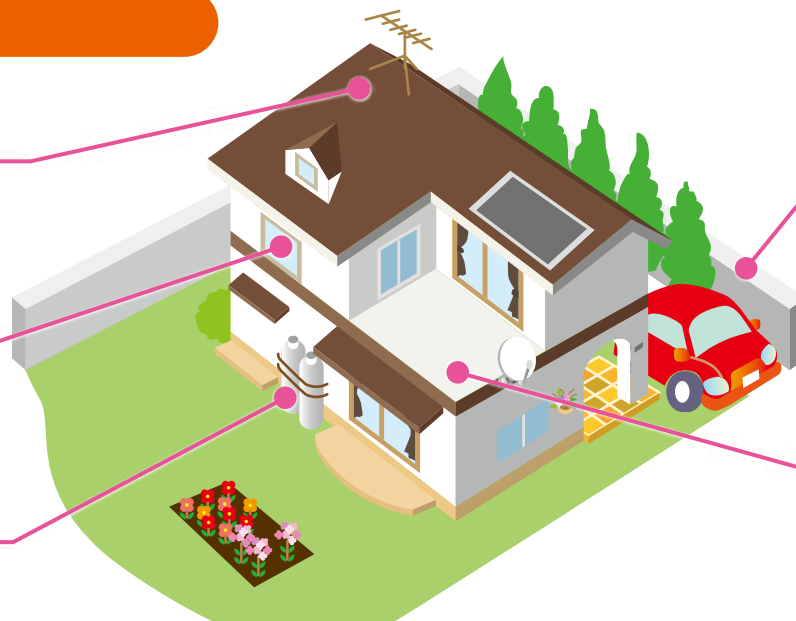
不安定な屋根のアンテナや、屋根瓦は補強しておく。

### ☐ 窓ガラス

飛散防止フィルムをはる。

### ☐ プロパンガス

ボンベを鎖で固定しておく。



### ☐ ブロック塀・門柱

土中にしっかりと基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは危険なので補強する。ひび割れや鉄筋のさびも修理する。

### ☐ ベランダ

植木鉢などの整理整頓を。落ちる危険がある場所には何も置かない。

# 火災・原子力災害

この冊子の記事情報は、2024年8月現在のものを使用し作成しております。最新の情報は由布市のホームページよりご確認ください。

## 火災が発生したら

1人で消せるだろうと考えず、隣近所に火事を知らせ、すみやかに119番通報を。  
初期消火で火事を消せなかったら、すばやく避難しましょう

### 初期消火の3原則

- 1 早く知らせる**
  - 「火事だ」と大声を出し、隣近所に援助を求める。声が出なければやかんなどを叩き、異変を知らせる。
  - 小さな火でも119番に通報する。当事者は消火に当たり、近くの人に通報を頼む。
- 2 早く消火する**
  - 出火から3分以内が消火できる限度。
  - 水や消火器だけで消そうと思わず、座布団で火を叩く、毛布で覆うなど手近なものを活用する。

### 火元別初期消火のコツ

#### 油なべ

水をかけるのは厳禁。消火器がなければ、ぬらしたタオルをかぶせる。

#### ストーブ

消火器は直接火元に向けて噴射する。石油ストーブの場合は粉末消火器で。

#### 衣類

着衣に火がついたら転げまわって消すのも方法。

#### 電気製品

いきなり水をかけると感電の危険がある。まずコードをコンセントから抜いて消火を。

#### カーテン・ふすま

引きちぎり蹴り倒して火元を天井から遠ざけ、その上で消火を。



- 3 早く逃げる**
  - 天井に火が燃え移った場合は、速やかに避難する。
  - 避難するときは、煙を吸わないように鼻と口を服やハンカチでふさぎながら避難する。

## 原子力災害時の避難及び屋内退避

原子力災害時は、公共機関からの正しい情報や指示を待って、あせらずに落ち着いて行動しましょう。

家の中に入る「**屋内退避**」が安全への第一歩です。*

※万が一、原子力発電所から放射性物質の放出があった場合、屋外で行動していると、被ばくの危険が高まるおそれがあるからです。

※あわてて皆が一斉に遠くへ避難しようとするとうるや事故などを招き、かえって危険が高まるおそれもあります。

### 屋内退避

「屋内退避」の指示が出たら、すみやかに自宅などの建物の中に入って、被ばくを減らすようにしましょう。

- 1** 自宅や職場、公共施設など、近くの建物(屋内)に入りましょう。
- 2** ドアや窓をすべて閉めましょう。
- 3** 換気扇を止めましょう。  
※外気を取り入れないタイプのエアコンは屋内退避中でも使用できます。  
(ご家庭のエアコンのタイプをご確認ください。)
- 4** 外にいた人は、手と顔をよく洗いましょう。
- 5** 食品を密封した容器に入れたり、ラップをしったりしましょう。
- 6** 念のため、飲料水を密閉容器に確保しましょう。



！ 特に指示があったときは、外で着ていた服を脱ぎ、ビニール袋に入れ、袋の口をしっかりと閉めてください。

！ 特に指示があったときは、シャワーを浴びて洗髪してください。



### コンクリートの建物への屋内退避がより安全です

#### 木造家屋

- 吸入による内部被ばくを、四分の一程度に抑えることができます
- 外部被ばくを、10%程度減らします。



#### コンクリートの建物

- 吸入による内部被ばくを、二十分の一程度に抑えることができます。
- 外部被ばくを、40%程度減らします。





# 火山

この冊子の記事情報は、2024年8月現在のものを使用し作成しております。最新の情報は由布市のホームページよりご確認ください。

## 噴火警戒レベル

種別	名称	対象範囲	レベル (キーワード)	火山活動の状況	住民等の行動及び 登山者・入山者等への対応
特別 警報	噴火警報 (居住地域) 又は 噴火警報	居住地域 及びそれより 火口側	5 (避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要。
			4 (高齢者等避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まっている)。	警戒が必要な居住地域での高齢者等の要配慮者の避難、住民の避難の準備等が必要。
警報	噴火警報 (火口周辺) 又は 火口周辺警報	火口から 居住地域近く まで	3 (入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。状況に応じて高齢者等の要配慮者の避難の準備等。登山禁止・入山規制等、危険な地域への立入規制等。
		火口周辺	2 (火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。 登山者は火口周辺の立入規制等。
予報	噴火予報	火口内等	1 (活火山であることに留意)	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。	住民は通常の生活。 状況に応じて火口内への立入規制等。

※気象庁ホームページより一部を抜粋、編集して掲載

### 噴火速報

噴火速報は、気象庁が噴火の発生事実を迅速に発表する情報です。登山中の方や周辺にお住まいの方に、火山が噴火したことを端的にいち早く伝え、身を守る行動を取っていただくために発表します。

テレビやラジオ、  
携帯端末などで  
知ることができます。



気象庁ホームページ  
(噴火速報)

## 噴火に伴い発生する危険な現象

### 噴石

爆発的な噴火によって、火口から噴石が飛散し、生命への影響や建物の破壊につながります。

### 土石流

噴火によって、斜面や谷の上流に火山灰が積もったとき、その後の雨によって土石流が発生しやすくなります。

### 火砕流・火砕サージ

火砕流は、火口からの火山灰等が高温の火山ガスなどと一団となり、猛スピードで移動する現象です。また、火砕流の周辺には火砕サージと呼ばれる気体を中心とした高温の流れが発生することもあります。

## 噴火が始まったら

避難路、避難場所の確認を前もって行い、避難する時は近所の人と一緒に、決められた場所へ避難しましょう。

ヘルメット

避難時の服装

マスク

ゴーグル

手袋

長そで

リュックサック

運動靴

長ズボン



気象台が発表する火山  
情報に注意しましょう。



ラジオ・ニュース・新聞・市の  
広報などを聞いて正しい情報  
を得ましょう。



市町村から避難指示などが  
あった場合には従いましょう。



# 火山

この冊子の記事情報は、2024年8月現在のものを使用し作成しております。最新の情報は由布市のホームページよりご確認ください。

## 火山噴火に備えて

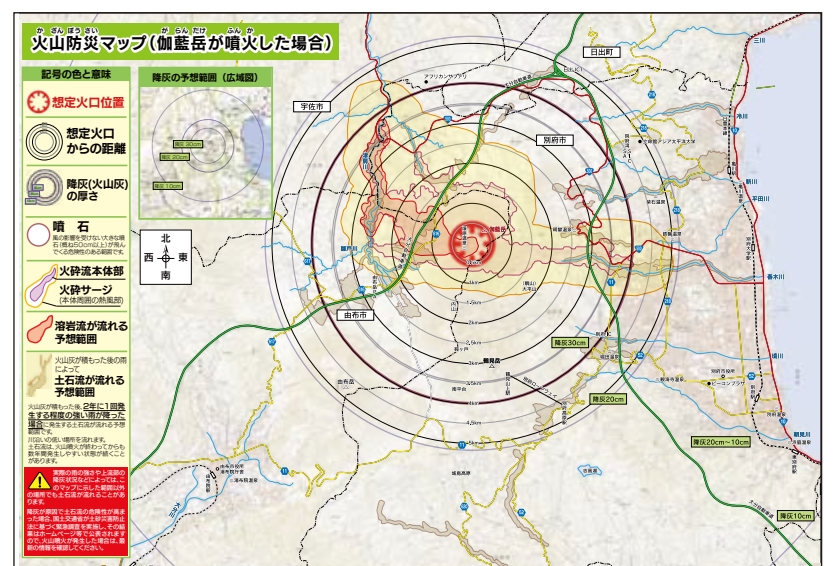
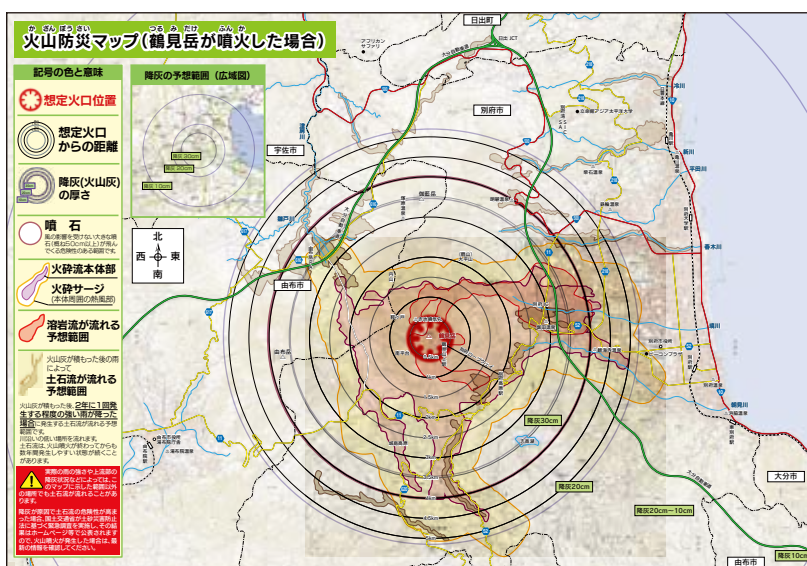
由布市周辺には、鶴見岳・伽藍岳、九重山、由布岳と現在も活動が続ける活火山があります。火山は、豊富な温泉や雄大な風景など多くの恵みを与える一方で、ひとたび噴火をすると大きな災害をもたらします。火山活動に対する災害を防ぐには、事前の準備が大切です。

### 活火山とは

おおむね過去1万年以内に噴火した火山及び現在活発な噴気活動のある火山です。

鶴見岳・伽藍岳及び九重山は、常時観測火山(火山防災のために監視・観測体制の充実等が必要な火山)に選定されており、気象庁が24時間体制で観測・監視を行っています。

- 1 登山の際は必ず登山届を提出しましょう。
- 2 火山の状況や特性を踏まえ、通常の装備に加え、ヘルメットやゴーグル、マスクなども準備しましょう。
- 3 火山防災マップを見て、噴火警戒レベルに対応する危険な場所を確認しましょう。
- 4 あらかじめ、避難場所や避難経路を確認しておきましょう。
- 5 気象庁が発表する噴火警報・噴火警戒レベル等に留意しましょう。
- 6 噴火のおそれがある場合には、「警戒が必要な範囲」から事前の避難が必要です。市からの指示があった場合には、それに従いましょう。



※大分県より画像提供

## 大分県火山情報サイト

大分県内にある火山の最新の活動状況などを確認することができます。日頃から火山活動の活動状況などを確認しておきましょう。



【大分県HP】  
大分県火山  
情報サイト



【大分県HP】  
火山防災のしおり  
(鶴見岳・伽藍岳)



【大分県HP】  
火山防災のしおり  
(九重山)

### 8月26日は火山防災の日です。

8月26日は、明治44年(1911年)に日本で最初の火山観測が群馬県・長野県の県境にある浅間山に設置され、観測が始まった日です。火山の魅力・恩恵やその危険性を正しく理解し、火山災害に備えましょう。



【気象庁HP】  
火山防災の日  
(特設サイト)



# 特別警報をご存知ですか？

この冊子の記事情報は、2024年8月現在のものを使用し作成しております。最新の情報は由布市のホームページよりご確認ください。

特別警報は、大規模な災害の発生が切迫していることをお知らせする警報です。  
普段からの備えと、早め早めの行動があなたや身近な人の命を守ります。

## 特別警報の発表基準

現象の種類	基 準	
大 雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合	
暴 風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により	暴風が吹くと予想される場合
高 潮		高潮になると予想される場合
波 浪		高波になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合	
大 雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合	

※表中の“数十年に一度”の現象に相当する降水量等の客観的な指標は気象庁ホームページで公表しています。

## 緊急地震速報などを特別警報に位置づけます

現象の種類	基 準
地震 (地震動)	震度6弱以上または長周期地震動階級4の大きさの地震動が予想される場合 (緊急地震速報(震度6弱以上または長周期地震動階級4)を特別警報に位置づける)
火山噴火	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合 (噴火警報(居住地域)*を特別警報に位置づける)
津 波	高いところで3メートルを超える津波が予想される場合 (大津波警報を特別警報に位置づける)

※噴火警戒レベルを運用している火山では「噴火警報(居住地域)」「(噴火警戒レベル4または5)を、噴火警戒レベルを運用していない火山では「噴火警報(居住地域)」(キーワード:居住地域厳重警戒)を特別警報に位置づけています。

### 特別警報が発表されたら

- 尋常でない大雨や津波などが予想されています。
- 重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。
- ただちに身を守るために最善を尽くしてください。

「特別警報が発表されない」は「災害が発生しない」ではありません。  
特別警報が発表されないからといって安心することは禁物です。

これまでどおり注意報、警報、その他の気象情報を活用し、早めの行動をとることが大切です。  
普段から避難場所や避難経路を確認しておきましょう。

※気象庁ホームページより一部を抜粋、編集して掲載

## 命を守るために情報の収集に努めてください

特別警報は、自治体や報道機関を通じて伝えられます。テレビやインターネット、自治体から発信される情報の収集に努めてください。



「気象情報」については、大分地方気象台HPに詳細が掲載されていますので、ご確認ください。

### 大分地方気象台

〒870-0023 大分市長浜町3丁目1番38号 電話: 097-532-0644  
【大分地方気象台ホームページ】 <https://www.jma-net.go.jp/oita/>



# 避難行動判定フロー

この冊子の記事情報は、2024年8月現在のものを使用し作成しております。最新の情報は由布市のホームページよりご確認ください。

平時に  
確認

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、  
自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。

あなたがとるべき避難行動は？

必ず取組みましょう

防災マップ※1で自宅がどこにあるか確認し、  
印をつけてみましょう。

※1 防災マップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地やがけのそばなどにお住まいの方は、由布市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として※2、立退き避難(安全な場所へ移動)が必要です。

例外

※2 浸水の危険があっても、以下のすべてを満たす場合は屋内安全確保(自宅にとどまり安全を確保すること)も可能です。

- ① 洪水により家屋が倒壊または崩落してしまうおそれの高い区域の外側である。
- ② 浸水する深さよりも高いところにいる。
- ③ 浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食料などの備えが十分にある。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル3高齢者等避難が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう(日頃から相談しておきましょう)

いいえ

警戒レベル3高齢者等避難が出たら、由布市が指定している指定緊急避難場所に避難しましょう。

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル4避難指示が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう(日頃から相談しておきましょう)

いいえ

警戒レベル4避難指示が出たら、由布市が指定している指定緊急避難場所に避難しましょう。

※内閣府ホームページより一部を抜粋、編集して掲載

あなたがとるべき行動を知ったら

マイ・タイムラインを作りましょう(P16,17)



# マイ・タイムラインの作成

この冊子の記事情報は、2024年8月現在のものを使用し作成しております。最新の情報は由布市のホームページよりご確認ください。

大雨や台風などの風水害から身を守るためには、自分が住む地域の災害リスクを知り、防災気象情報を基に迅速かつ適切に避難することが重要です。  
事前にマイ・タイムラインを作成し、「避難スイッチ」をオンにするタイミングなどを整理しておきましょう。

## マイ・タイムラインとは

災害に対する事前の備えや、大雨・台風により浸水害や洪水、土砂災害などが発生する危険性が高まった時の避難開始のタイミング「避難スイッチ」などを、あらかじめ時系列に整理した【自分自身や家族の避難行動計画】です。

## 対象災害について

マイ・タイムラインの対象とする災害は、【進行型災害】を基本としています。マイ・タイムラインの策定にあたっては、災害対応時の想定外の事態を減らすため、最悪の状況を含む災害を想定することが大切です。

### 進行型災害

洪水や台風など、発生やその被災状況が一定程度予測できる災害。



### 突発型災害

地震や噴火など、発生の予測が困難な災害。



## マイ・タイムライン作成例

警戒レベルと警戒レベル相当情報(防災気象情報)						※警戒レベルと警戒レベル相当情報が発令・発表されるタイミングと対象地域は、必ずしも一致しないことに注意
警戒レベル1 早期注意情報 (気象庁が発表) 今後、気象状況悪化のおそれあり	警戒レベル2 大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁が発表) 気象状況が悪化		警戒レベル3 高齢者等避難 (市町村が発令) 災害のおそれあり	警戒レベル4 避難指示 (市町村が発令) 災害のおそれが高まっている	警戒レベル5 緊急安全確保 (市町村が発令) 災害発生または切迫	
— 	はん濫注意情報 		警戒レベル3相当情報 大雨・洪水警報 はん濫警戒情報 	警戒レベル4相当情報 土砂災害警戒情報 はん濫危険情報 高潮警報 	警戒レベル5相当情報 大雨特別警報 はん濫発生情報 高潮はん濫発生情報 	警戒レベル4までに必ず避難
警戒レベルに応じた家族の行動						
災害への心構えを高める	自分や家族の避難行動を確認	もうすぐ避難開始！	高齢者等は危険な場所から避難	危険な場所から全員避難	命の危険、直ちに安全確保	全員避難完了！
○気象情報を確認 ○薬などを準備	○防災マップ確認 ○おばさんの家に連絡する ○こまめに気象情報を確認		わが家の避難スイッチ！ 警戒レベル3発令後に必ず避難する!! ○安全なおばさんの家へ移動を開始！	○避難完了 ○気象情報を確認	⚠ 自宅内の安全な場所へ避難 ⚠ 2階以上に避難	
日頃から調べておくこと、備えておくこと						
わが家の災害リスク・避難先		非常持ち出し品			情報収集ツール	
<input type="checkbox"/> 浸水する深さ 想定 ( 3 )m <input type="checkbox"/> 近隣河川までの距離 ( 250 )m <input type="checkbox"/> 土砂災害警戒区域に入って ( いる・いない ) <input type="checkbox"/> 避難先① ( おばさんの家 )まで、徒歩(車)で( 10 )分 避難先② ( ○○公民館 )まで、徒歩・車で( 7 )分 ※自宅が危険な地域ではない場合や、マンションなど頑丈な建物の場合は、屋内待機や垂直避難(建物内の2階以上) <input type="checkbox"/> 避難先までの危険な場所・特徴 ( 道路が狭い、街灯が少ない )		<input checked="" type="checkbox"/> 食料品 <input checked="" type="checkbox"/> 飲料水 <input checked="" type="checkbox"/> 貴重品 <input checked="" type="checkbox"/> 着替え <input checked="" type="checkbox"/> 懐中電灯 <input checked="" type="checkbox"/> 毛布 <input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話の充電器 <input type="checkbox"/> 電池 <input checked="" type="checkbox"/> マスク <input checked="" type="checkbox"/> アルコール消毒液 <input checked="" type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/> 防災マップ <input checked="" type="checkbox"/> お薬手帳 ※忘れてませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 常備薬 ↓その他に準備する物も書いておこう！ 紙オムツ    ウェットティッシュ    タオル			<input checked="" type="checkbox"/> おおいた防災アプリ <input checked="" type="checkbox"/> 県民安全・安心メール／市町村防災メール <input checked="" type="checkbox"/> テレビ <input checked="" type="checkbox"/> 防災ラジオ <input checked="" type="checkbox"/> 大分地方気象台HP <input checked="" type="checkbox"/> ゆふぽ <input type="checkbox"/>	

※大分県ホームページより抜粋、編集して掲載

大分県のホームページから要配慮者向け、地区(自主防災組織)向けのタイムライン作成様式も確認ができます。  
いざというときに、慌てずに適切な行動ができるよう、みんなで話し合って作成してください！



# マイ・タイムラインの作成

この冊子の記事情報は、2024年8月現在のものを使用し作成しております。最新の情報は由布市のホームページよりご確認ください。

## マイ・タイムラインの作成方法

### 1. 我が家の災害リスクを知りましょう

P26～P109の防災マップで自分が住んでいる地域が「洪水」や「土砂災害」の危険があるか調べてみましょう。また、避難所や避難経路も調べておきましょう。

### 2. 非常持ち出し品を決めておきましょう

P19の非常持ち出し品を参考に、避難する時に自分や家族にとって必要な物を話し合って、備えておきましょう。感染症対策も忘れないようにしましょう。

### 3. 情報収集方法を調べて備えましょう

適切な避難行動のためには、気象情報や河川水位、市から発令される避難情報等が大変重要です。また、停電やシステム障害などの発生に備えて、複数の情報収集ツールを準備しましょう。

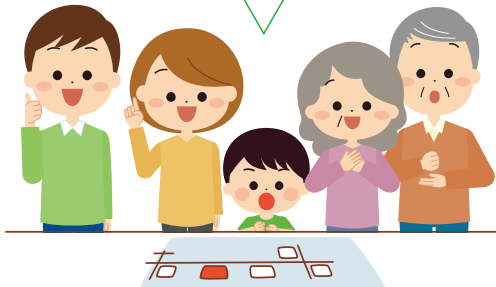
### 4. 警戒レベルと警戒レベル相当情報を理解しましょう

P2の避難情報を参照し、警戒レベル等について学習しましょう。

### 5. 自分や家族の行動を決めておきましょう

1～4の手順で確認したことを参考に、どのタイミングでどのような避難行動を行うか、家族で話し合って決めましょう。

わが家の避難スイッチ！  
警戒レベル3発令後に  
必ず避難する!!



警戒レベルと警戒レベル相当情報（防災気象情報）				※警戒レベルと警戒レベル相当情報が発令・発表されるタイミングと対象地域は、必ずしも一致しないことに注意			
警戒レベル1   早期注意情報 (気象庁が発表)   今後、気象状況悪化のおそれあり	警戒レベル2   大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁が発表)   気象状況が悪化		警戒レベル3   高齢者等避難 (市町村が発令)   災害のおそれあり	警戒レベル4   避難指示 (市町村が発令)   災害のおそれが高まっている	警戒レベル4までに必ず避難	警戒レベル5   緊急安全確保 (市町村が発令)   災害発生または切迫	
— 	はん濫注意情報 	警戒レベル3相当情報   大雨・洪水警報 はん濫警戒情報	警戒レベル4相当情報   土砂災害警戒情報 はん濫危険情報 高潮警報	警戒レベル5相当情報   大雨特別警報 はん濫発生情報 高潮はん濫発生情報			
警戒レベルに応じた家族の行動							
災害への心構えを高める	自分や家族の避難行動を確認	もうすぐ避難開始！	高齢者等は危険な場所から避難	危険な場所から全員避難	全員避難完了！	命の危険、直ちに安全確保	
						⚠️ 自宅内の安全な場所へ避難   ⚠️ 2階以上に避難	
日頃から調べておくこと、備えておくこと							
わが家の災害リスク・避難先			非常持ち出し品		情報収集ツール		
<input type="checkbox"/> 浸水する深さ 想定 ( )m   <input type="checkbox"/> 近隣河川までの距離 ( )m   <input type="checkbox"/> 土砂災害警戒区域に入って ( いる・いない )    避難先① ( )まで、徒歩・車で( )分  避難先② ( )まで、徒歩・車で( )分    ※自宅が危険な地域ではない場合や、マンションなど頑丈な建物の場合は、屋内待機や垂直避難(建物内の2階以上)   <input type="checkbox"/> 避難先までの危険な場所・特徴   ( )   ( )   ( )			<input type="checkbox"/> 食料品  <input type="checkbox"/> 懐中電灯  <input type="checkbox"/> 電池  <input type="checkbox"/> 体温計     <input type="checkbox"/> 飲料水  <input type="checkbox"/> 毛布  <input type="checkbox"/> マスク  <input type="checkbox"/> 防災マップ     <input type="checkbox"/> 貴重品  <input type="checkbox"/> 携帯電話の充電器  <input type="checkbox"/> アルコール消毒液     <input type="checkbox"/> 着替え  <input type="checkbox"/> お薬手帳		<input type="checkbox"/> おおいた防災アプリ   <input type="checkbox"/> 県民安全・安心メール／市町村防災メール   <input type="checkbox"/> テレビ   <input type="checkbox"/> 防災ラジオ   <input type="checkbox"/>   <input type="checkbox"/>   <input type="checkbox"/>		
			※忘れてませんか？ <input type="checkbox"/> 常備薬				
			↓その他に準備する物も書いておこう！				

災害時に自力で避難することが困難な方(避難行動要支援者)へ、一人ひとりの状況に合わせた個別避難計画(避難支援のための計画)作成支援も行っています。お気軽にご相談ください。



# 避難時の注意点

この冊子の記事情報は、2024年8月現在のものを使用し作成しております。最新の情報は由布市のホームページよりご確認ください。

## 戸締り・ガス・火元・電気のチェック！

避難の際は、火の始末と戸締りを行いましょう。火災などの二次被害を防ぐために、できるだけ電気のブレーカーを落としたり、ガスの元栓を閉めてから避難しましょう。



## 速やかに避難を！

動きやすい格好で、2人以上で避難しましょう。災害に巻き込まれる可能性があるので、忘れ物などを取りに、家に帰らないようにしましょう。避難時の持ち出し品は必要最小限となるようにまとめましょう。



## 洪水・土砂災害での避難の仕方

### 歩ける深さに気をつける！

歩ける深さは平均約50cm。水がひざまで来たら助けを呼び、高い所で救助を待ちましょう！



### 履き物に注意！

裸足、長靴は禁物です。ひもでしめられる運動靴が良いでしょう。



### もしも、土石流に遭遇したら 逃げ方に注意しましょう！

土石流は流れるスピードが速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向に対して、直角に逃げる等、逃げ方に注意しましょう。

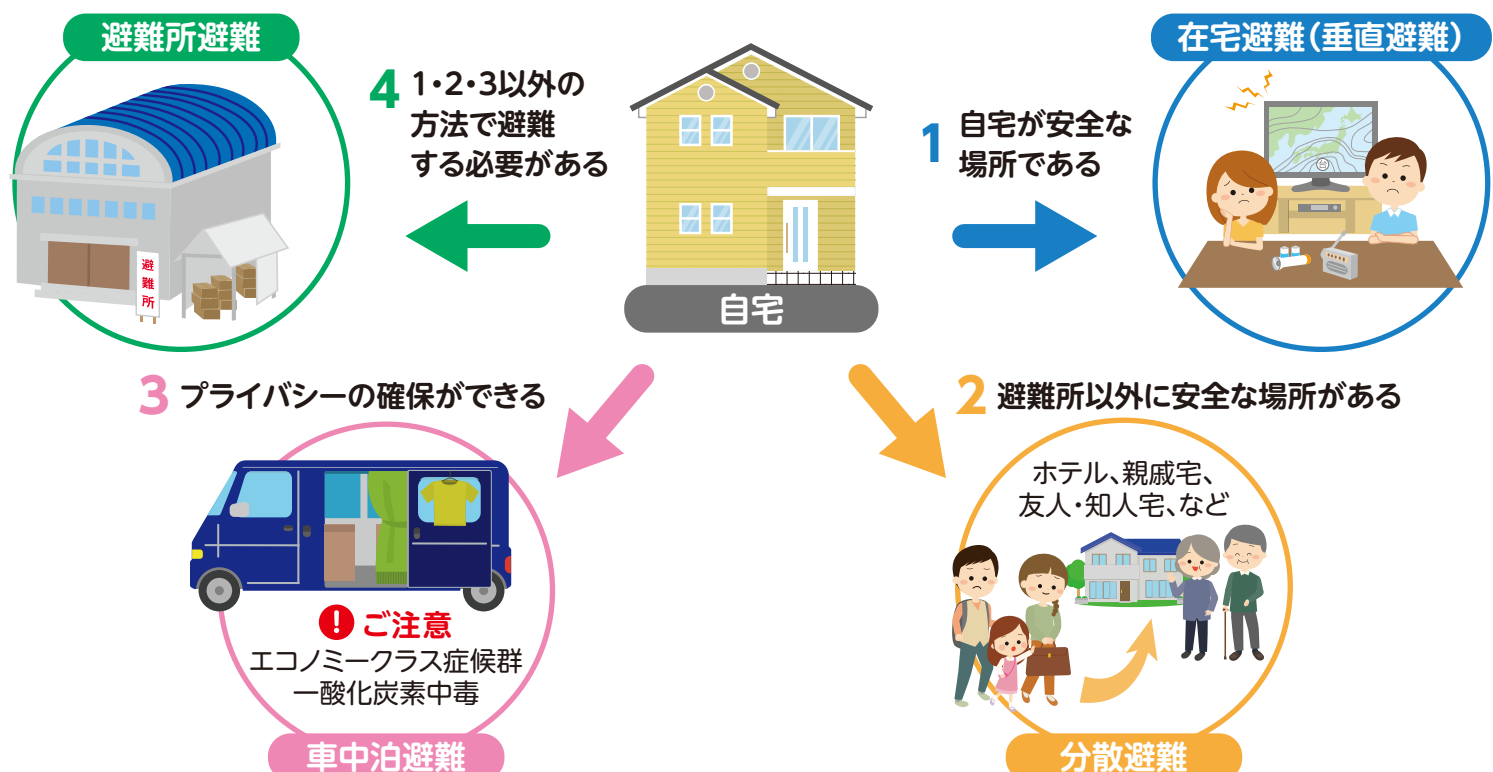


## 分散避難とは・・・

- 災害発生時に、自宅が安全な場合、自宅に留まる方法（在宅避難）
- 安全な地域に住んでいる親戚や友人・知人宅や宿泊施設などに避難する方法

自然災害が発生した場合に、感染症などが流行している状況では、不特定多数の人が集まる指定避難所等での避難生活の感染拡大リスクが高まります。そこで、災害が発生したとき感染症による2次被害を防ぐため、また、風水害時に高齢者等が事前に避難する必要がある場合（注1）など、避難所に避難する以外の方法（分散避難）もご検討ください。具体的には以下のような方法が考えられます。

注1：事前避難が必要な場合…警戒レベル3相当以上の気象状況（避難指示、高齢者等避難相当）



# 非常持ち出し品

この冊子の記事情報は、2024年8月現在のものを使用し作成しております。最新の情報は由布市のホームページよりご確認ください。

非常持ち出し品は家族構成を考えて必要な分だけ用意し、避難時にすぐに持ち出せる場所に保管しておきましょう。災害発生時に最初に持ち出す非常持ち出し品と、災害から復旧するまでの数日間を支える非常備蓄品を分けて用意しておきましょう。

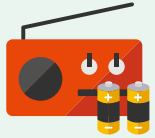
## 非常持ち出し品

**POINT!!** 自分が使うもの(食料、防寒具、薬など)を持って避難しましょう。

いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。事前に準備出来ているか、チェック✓しましょう。

### あらゆる家庭に共通して必要なもの

#### 携帯ラジオ

- 
- ☐ ラジオ
  - ☐ 電池(多めに用意)

#### 救急医療品

- 
- ☐ 常備薬
  - ☐ 傷薬
  - ☐ 風邪薬
  - ☐ 鎮痛剤
  - ☐ 包帯
  - ☐ 絆創膏
  - ☐ 胃腸薬

#### 貴重品

- 
- ☐ 現金、10円玉
  - ☐ 印鑑
  - ☐ 預金通帳
  - ☐ 健康保険証
  - ☐ 免許証
  - ☐ 権利証書

#### 懐中電灯

- 
- ☐ 懐中電灯(できれば一人にひとつ)
  - ☐ 電池(多めに用意)

#### 非常食品等

火を通さずに食べられるもの、食器など

- 
- ☐ 非常用食品
  - ☐ 水筒
  - ☐ 缶切り
  - ☐ 缶詰
  - ☐ 紙皿
  - ☐ 栓抜き
  - ☐ 紙コップ
  - ☐ ミネラルウォーター

#### 生活用品

- ☐ マスク
- ☐ 除菌用品(感染症対策用)
- ☐ タオル・ハンカチ
- ☐ ティッシュペーパー
- ☐ トイレtpペーパー
- ☐ ラップフィルム(止血や食器にかぶせて使う)
- ☐ 歯ブラシ・歯磨き粉
- ☐ 防災マップ(本冊)
- ☐ 使い捨てカイロ
- ☐ 万能ナイフ・ハサミ
- ☐ ライター
- ☐ 筆記用具
- ☐ ゴミ袋

### 家族構成や家族の事情にあわせて必要なもの

#### 女性向け用品

- ☐ 生理用品
- ☐ 鏡・ブラシ等
- ☐ 化粧品
- ☐ 女性用下着

#### 乳幼児向け用品

- ☐ 母子手帳
- ☐ おむつ
- ☐ ミルク・離乳食
- ☐ おしりふき

#### 子ども向け用品

- 
- ☐ おもちゃ
  - ☐ おやつ
  - ☐ 防犯ブザー

#### 高齢者向け用品

- ☐ 介護用品
- ☐ めがね
- ☐ 入れ歯・洗浄剤
- ☐ 持病薬・補装具

**CHECK!!** 自分にとっては絶対必要!というものを準備しましょう。

## 非常備蓄品

災害復旧までの数日間(最低3日)を生活できるようにチェック✓しましょう。

#### 飲料水

- 
- ☐ 飲料水としてペットボトルや缶入りのミネラルウォーター(1人1日3リットルを目安に)
  - ☐ 貯水した防災タンクなど

#### 非常食品

- 
- ☐ お米(缶詰・レトルト・アルファ米も便利)
  - ☐ 缶詰・レトルト食品
  - ☐ 梅干し・調味料など
  - ☐ ドライフーズ・チョコレート・飴(菓子類など)

#### 燃料

- 
- ☐ 卓上コンロ
  - ☐ ガスボンベ
  - ☐ 固形燃料

#### その他

- 
- ☐ 生活用水(風呂・洗濯機などに貯水)
  - ☐ 毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプーなど
  - ☐ 調理器具(なべ・やかんなど)
  - ☐ バケツ・各種アウトドア用品など

## 感染症対策のために ～非常用持ち出し袋に追加すべき物～

非常食や飲料水などだけでなく、感染を予防するため、こうした持ち物も事前に非常用持ち出し袋に入れておくようにしましょう。

- マスク
- ウェットティッシュ
- 記録用ノート
- 石鹸・ハンドソープ
- 手指消毒用アルコール
- 筆記用具
- 体温計
- 家庭での常備薬
- ビニール袋(大小)

※非常用持ち出し袋は、家族全員がわかる場所に保管しましょう。

非常持ち出し品は、使用するときには支障のないように、定期的に点検しておきましょう。とくに食品や飲料水の賞味期限はまめにチェックし、賞味期限がせまったものから順に入れ替えておきましょう。





# 指定緊急避難場所・指定避難所

この冊子の記事情報は、2024年8月現在のものを使用し作成しております。最新の情報は  
由布市のホームページよりご確認ください。



## 指定緊急避難場所

指定緊急避難場所とは、居住者等が災害から命を守るために、緊急的に避難する施設または場所で、災害の種類ごと（洪水、がけ崩れ・土石流及び地すべり、地震など）に指定します。

### 【挾間地区】

No	施設・場所名	住所	管理担当連絡先	指定緊急避難場所	指定避難所	避難の目安となる対象地区	対象とする異常な現象の種類						想定収容人数
							洪水	がけ崩れ、土石流及び地すべり	地震	大規模な火事	内水はん濫	火山現象	
1	挾間小学校	挾間町向原89	097-583-0029	○	○	北方、上市、向原、鬼瀬、同尻、田ノ小野、中村、柏野、下市、鶴田、鬼崎、海老毛、池ノ上、雇用促進住宅	○	○	○	○	○	○	450人
2	由布市役所挾間庁舎	挾間町向原128-1	097-583-1111	○	○		○	○	○	○	○	○	120人
3	はさま未来館	挾間町挾間104-1	097-583-1118	○	○		○	○	○	○	○	○	100人
4	挾間体育センター	挾間町向原17-2	097-583-2881	○	○			○	○	○		○	550人
5	挾間中学校	挾間町向原440	097-583-0017	○	○		○	○	○	○	○	○	450人
6	時松農事集会所	挾間町時松632-2		○	○	時松	○	○		○	○	○	30人
7	中恵自治公民館	挾間町谷728-3		○	○	小野、谷中村、阿鉢、谷東部、生田原、東ノ山、上筒口、下筒口、中恵、酒野、山田、篠原	○	○		○	○	○	40人
8	谷小学校	挾間町谷699	097-583-0079	○	○		○		○	○	○	○	400人
9	朴木農事集会所	挾間町朴木638-2		○	○	茅場、朴木(地震時:時松)	○	○	○	○	○	○	40人
10	旧朴木小学校	挾間町朴木729-1		○	○	茅場、朴木	○	○		○	○	○	50人
11	赤野自治公民館	挾間町赤野409-4		○	○	赤野、宮田、丸田、東行	○	○	○	○	○	○	50人
12	丸田公民館	挾間町赤野819-2		○	○	赤野、宮田、丸田、東行	○	○		○	○	○	20人
13	石城小学校	挾間町来鉢31-1	097-583-0772	○	○	三船、高崎、七蔵司、山口、中台、来鉢東部、来鉢西部、来鉢中部、北田代	○	○	○	○	○	○	400人
14	来鉢自治公民館	挾間町来鉢1210-1		○	○		○	○	○	○	○	○	70人
15	旧石城西部小学校	挾間町田代388		○	○	詰、南田代	○	○		○	○	○	50人
16	南田代ふれあいホール	挾間町田代378-1		○	○	南田代	○			○	○	○	50人
17	詰公民館	挾間町内成3397-1		○	○	詰	○	○	○	○	○	○	50人
18	由布川地域交流センター	挾間町古野115-1	097-583-4241	○	○	サニータウン挾間、喜多里、古野郷、古野、医大ヶ丘1丁目、医大ヶ丘2丁目、医大ヶ丘3丁目、サントピア古野(地震時:詰、南田代)	○	○	○	○	○	○	150人
19	由布川小学校	挾間町古野211-1	097-583-0751	○	○		○	○	○	○	○	○	300人
20	中洲賀グラウンド	挾間町向原4		○		一時的な避難場所		○	○	○		○	
21	由布川グラウンド	挾間町赤野839-1		○		広域的な避難場所	○	○	○	○	○	○	

### 【庄内地区】

No	施設・場所名	住所	管理担当連絡先	指定緊急避難場所	指定避難所	避難の目安となる対象地区	対象とする異常な現象の種類						想定収容人数
							洪水	がけ崩れ、土石流及び地すべり	地震	大規模な火事	内水はん濫	火山現象	
1	阿南小学校	庄内町東長宝523	097-582-0209	○	○	櫛木、東・西長宝	○	○	○	○	○	○	500人
2	阿南幼稚園	庄内町東長宝558	097-582-1757	○	○	櫛木、東・西長宝	○	○		○	○	○	100人
3	由布支援学校	庄内町西長宝1796	097-582-0326	○	○	西長宝	○	○	○	○	○	○	300人
4	庄内公民館	庄内町大龍1400	097-582-0214	○	○	大龍・五ヶ瀬	○	○	○	○	○	○	250人
5	旧大津留小学校体育館	庄内町東大津留636		○	○	大津留	○	○	○	○	○	○	400人
6	東庄内小学校	庄内町大龍1835	097-582-0241	○	○	大龍・五ヶ瀬	○	○	○	○	○	○	500人
7	庄内体育センター	庄内町大龍2131	097-582-0191	○	○	大龍・龍原	○	○		○	○	○	500人
8	由布高等学校	庄内町大龍2674-1	097-582-0244	○	○	大龍・龍原	○	○	○	○	○	○	600人
9	庄内屋内競技場	庄内町大龍1314	097-582-1111	○	○	大龍・五ヶ瀬・龍原・柿原	○	○	○	○	○	○	1000人
10	龍原自治公民館	庄内町龍原939		○	○	龍原	○	○		○	○	○	50人
11	庄内中学校	庄内町柿原49	097-582-0014	○	○	畑田・柿原	○	○	○	○	○	○	600人
12	庄内ゆうゆう館	庄内町畑田851	097-582-8933	○	○	畑田・長野・高岡	○	○	○	○	○	○	200人
13	西庄内小学校	庄内町高岡417-1	097-582-0017	○	○	高岡・中・庄内原・平石	○	○	○	○	○	○	500人
14	西庄内幼稚園	庄内町高岡417-1	097-582-3040	○	○	高岡・中・庄内原・平石	○	○		○	○	○	100人
15	旧星南小学校グラウンド	庄内町西1061		○		一時的な避難場所	○		○	○	○	○	
16	由布市役所本庁舎	庄内町柿原302	097-582-1111	○	○	柿原・西・湊・野畑	○	○	○	○	○	○	100人
17	旧南庄内小学校グラウンド	庄内町野畑1041		○		一時的な避難場所	○		○	○	○	○	
18	直山公民館	庄内町直野内山719-5		○	○	直野内山	○			○	○	○	50人
19	旧阿蘇野小学校	庄内町阿蘇野4331		○	○	阿蘇野	○	○	○	○	○	○	400人
20	庄内総合運動公園	庄内町大龍1400		○		広域的な避難場所	○	○	○	○	○	○	
21	ほのぼの工芸館	庄内町庄内原321-4	097-582-3876	○	○	西・湊・庄内原	○	○	○	○	○	○	40人
22	ほのぼの温泉館	庄内町庄内原355-1	097-582-2864	○	○	西・湊・庄内原	○	○	○	○	○	○	40人
23	ゆふ移住交流センター星とぴあ	庄内町西1062-1	097-574-9356	○	○	西・湊	○			○	○	○	50人
24	ほのぼのプラザ	庄内町庄内原365-1	097-582-2756	○	○	西・湊・庄内原	○	○	○	○	○	○	100人
25	大龍東部1区自治公民館	庄内町大龍2031-2		○	○	大龍	○	○	○	○	○	○	30人

# 指定緊急避難場所・指定避難所・福祉避難所

この冊子の記事情報は、2024年8月現在のものを使用し作成しております。最新の情報は  
由布市のホームページよりご確認ください。

## 【湯布院地区】

No	施設・場所名	住所	管理担当連絡先	指定緊急 避難場所	指定 避難所	避難の目安となる 対象地区	対象とする異常な現象の種類						想定 収容人数
							洪水	がけ崩れ、 土石流及び 地すべり	地震	大規模な 火事	内水 はん濫	火山 現象	
1	塚原小学校体育館・塚原地区自治公民館	湯布院町塚原510-2	0977-85-4141	○	○	塚原	○	○	○	○	○	○	150人
2	温湯区公民館	湯布院町川上1525-1	0977-84-3908	○	○	津江、岳本、中島、湯の坪	○			○	○	○	75人
3	湯布院中央児童公園	湯布院町川上2999-1		○		一時的な避難場所		○	○	○		○	
4	佐土原地区集会所	湯布院町川上854-3		○	○	佐土原	○			○	○	○	50人
5	並柳地区自治公民館	湯布院町川上643-1	0977-85-4363	○	○	並柳	○		○	○	○	○	45人
6	若杉地区自治公民館	湯布院町川上185-1		○	○	若杉	○		○	○	○	○	80人
7	乙丸地区公民館	湯布院町川上2938-1	0977-84-4656	○	○	乙丸区	○	○	○	○	○	○	100人
8	乙丸温泉館	湯布院町川上2946-1	0977-84-3573	○	○	乙丸区		○		○		○	50人
9	由布院小学校	湯布院町川上3758	0977-84-2031	○	○	乙丸区		○	○	○		○	500人
10	湯布院健康温泉館	湯布院町川上2863	0977-84-4881	○	○	乙丸区		○	○	○		○	200人
11	ゆふいんラックホール	湯布院町川上3738-1	0977-84-3111	○	○	乙丸区	○	○	○	○	○	○	500人
12	荒木地区自治公民館	湯布院町川北241-1		○	○	荒木	○		○	○	○	○	65人
13	湯布院B&G海洋センター	湯布院町川北1205	0977-84-2133	○	○	石武、光永	○	○	○	○	○	○	500人
14	石光地区集会所	湯布院町川北1243-2		○	○	石武、光永	○		○	○	○	○	50人
15	湯布院中学校	湯布院町川北1179	0977-84-2026	○	○	石武、光永		○	○	○		○	500人
16	湯布院福祉センター	湯布院町川上2863	0977-84-3610	○	○	東石松1・2		○	○	○		○	210人
17	東石松3集会所	湯布院町川南35-1		○	○	東石松3		○		○		○	65人
18	西石松地区集会所	湯布院町川南387-1	0977-85-2865	○	○	西石松	○		○	○	○	○	50人
19	山崎地区集会所	湯布院町川南1162-7	0977-85-3815	○	○	山崎、平	○	○		○	○	○	50人
20	中依地区集会所	湯布院町中川330	0977-84-4108	○	○	中依	○			○	○	○	65人
21	下依区公民館	湯布院町中川1050-1	0977-84-3868	○	○	下依	○			○	○	○	60人
22	奥江公民館	湯布院町川西1981		○	○	奥江	○			○	○	○	90人
23	川西小学校	湯布院町川西3716	0977-84-2329	○	○	川西区	○			○	○	○	300人
24	川西農村健康交流センター (川西地区公民館)	湯布院町中川1358-1	0977-84-5022	○	○	川西区	○		○	○	○	○	300人
25	幸野公民館(下湯平農民研修センター)	湯布院町下湯平2500-1		○	○	幸野、小平	○	○	○	○	○	○	50人
26	湯平地区公民館	湯布院町下湯平796	0977-86-2232	○	○	湯平	○		○	○	○	○	300人
27	畑地区自治公民館	湯布院町下湯平582-2		○	○	畑	○	○		○	○	○	60人



## 福祉避難所

福祉避難所とは、一般の避難所での生活が困難な要配慮者向けに開設する避難所です。  
災害時に必要に応じて開設され、個別避難計画で指定されている方は自宅から直接避難  
ができます。

地区	No	施設名	受入対象者	受入可能 人数	所在地
挾間	1	ケアハウス 豊友館	高齢者	10人	挾間町鬼崎4-16
	2	特別養護老人ホーム 若葉苑	高齢者(要介護)とその家族	6人	挾間町向原1215-2
	3	介護老人保健施設 健寿荘	高齢者(要介護)とその家族	10人	挾間町鬼崎4-1
	4	介護老人保健施設 ケアポート川崎	高齢者(要介護)とその家族	8人	挾間町古野264
	5	障害者支援施設 大分県のぞみ園	身体障がい者	5人	挾間町赤野339-1
	6	石城コミュニティスペース 庵	高齢者・障がい児とその家族	5人	挾間町来鉢61
庄内	7	特別養護老人ホーム 情和園	高齢者	20人	庄内町西長宝870-1
	8	特別養護老人ホーム 慶寿苑	高齢者(要介護)	5人	庄内町柿原1569-1
	9	養護老人ホーム 寿楽苑	高齢者(要介護)	10人	庄内町柿原1602
	10	社会福祉法人 庄内厚生館地域交流ホーム	知的障がい者・児とその家族	30人	庄内町西長宝1433-1
	11	指定障害者支援施設 向陽学園	知的障がい者とその家族	5人	庄内町小挾間1027-1
	12	障害者支援施設 小松寮	知的障がい者・精神障がい者とその家族	10人	庄内町高岡2379-13
	13	情和園デイサービスセンター	高齢者	30人	庄内町西長宝870-1
	14	情和園デイサービスセンターハッピー	高齢者	10人	庄内町西長宝870-1
	15	老人デイサービスセンター ハニカム青春塾	高齢者	30人	庄内町櫟木982
	16	由布支援学校	在校生とその家族、事前に市が特定する者	12人	庄内町西長宝1796
湯布院	17	特別養護老人ホーム 温水園	高齢者とその家族	5人	湯布院町川北1964
	18	特別養護老人ホーム 白心荘	高齢者(要介護)とその家族	3人	湯布院町川北1354-13
	19	有料老人ホーム 虹色	高齢者とその家族	3人	湯布院町川北1005-1



## 避難施設(国民保護)

避難施設(国民保護)とは、武力攻撃事態等に備えた、国民保護法  
施行令で定める基準を満たし指定された避難施設です。  
対象施設は内閣官房国民保護ポータルサイトで公表しています。



国民保護  
ポータルサイト



# 自主防災組織と災害時要配慮者への対応

この冊子の記事情報は、2024年8月現在のものを使用し作成しております。最新の情報は由布市のホームページよりご確認ください。

## 自主防災組織で地域を守る

自主防災組織とは、地域の皆さんが災害に対して協力し合う組織です。自主防災組織を結成し、地域防災活動を行うことで災害に強いまちづくりを目指しましょう。

### 平常時の活動

- **作ろう、参加しよう、育てよう!** 日頃の付き合いがある隣組や自治会などで、互いに助け合い、協力し合える体制づくりをしましょう。
- **みんなで学ぼう!** 防災に関心を持ち、防災に関する知識を身につけましょう。
- **地域を点検しよう!** 地域の皆さんで事前に避難所や避難経路を確認、点検しましょう。
- **訓練をしよう!** いざというときに正しい行動が取れるように、災害の発生を具体的に想定した防災訓練を定期的に行いましょう。



### 災害時の活動

- **初期消火活動** 火が天井にまわるまでには消火器などを用いた初期消火が可能。
- **避難誘導** 高齢者や障がいがある方々などへの避難支援。
- **救出・救助** 被災者の救出。救護所への搬送。
- **情報の収集・伝達** 災害に関する正しい情報の収集とその伝達。
- **避難所の管理・運営** 水や食料などの配給、炊き出しなどの給食・給水活動。



### 自主防災組織の活動支援

市では地域防災力の強化を推進するため、自主防災組織の活動を支援しています。

- **自主防災組織 資機材等整備事業** (事業概要) 防災資機材を整備するための経費に対し補助金を交付します。  
(対象経費) ヘルメット、発電機、防災倉庫など自主防災組織に必要な資機材  
(補助金額) 補助率4/5 (上限30万円)
- **自主防災組織 活動交付金事業** (事業概要) 訓練や避難誘導などの活動実績に応じて交付金を交付します。  
(対象経費) ①防災研修・訓練 ②防災計画やタイムライン作成・見直し ③災害時の支援活動  
(交付金額) 世帯割と事業割の合計額



詳しくはこちらから



詳しくはこちらから

自主防災組織の有無にかかわらず、防災研修や防災訓練の支援も行っていますので、お気軽にご相談ください!

## 災害時要配慮者への支援

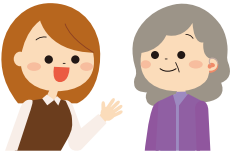
### 高齢者や病気などの方

お年寄りや病気の方、子どもなどは、早めの避難が必要です。みなさんで協力して避難しましょう。



### 耳の不自由な方

話す時はまっすぐ顔を向け、口を大きくはっきり動かしましょう。手話、筆談、身ぶりなどの方法で正確に情報を伝えましょう。



### 目の不自由な方

はっきり、ゆっくり大きな声で話しかけましょう。誘導する場合は、ひじの辺りを軽く持ってもらい、ゆっくりした速度で半歩前を歩きましょう。



### 体の不自由な方

車いすの方の場合、階段では必ず3人以上で!昇る時は、前向きに、降りる時は後ろ向きにします。



### 日本語の不自由な外国人の方

日本語での情報が十分理解できない場合があるため、平易なわかりやすい表現で危険を伝え、避難誘導しましょう。



### 妊婦や乳幼児がいる家庭

出産に向けた心身の健康状態を良好に保つため、生活環境などに配慮しましょう。乳幼児は感染予防や体温保持などに配慮しましょう。



# 防災マップの見方

この冊子の記事情報は、2024年8月現在のものを使用し作成しております。最新の情報は由布市のホームページよりご確認ください。

## 洪水浸水想定区域:想定最大規模

水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示したものです。

**洪水浸水想定区域** 河川がはん濫した場合の「浸水する範囲(浸水域)」と「浸水の深さ(浸水深)」を示しています。



## 土砂災害警戒区域・特別警戒区域

土砂災害の危険がある場所			
		土砂災害警戒区域	土砂災害特別警戒区域
急傾斜地	 	■ 斜面の傾斜が30度以上で、高さが5m以上の区域 ■ 急傾斜地の上端から水平距離が10m以内の区域 ■ 急傾斜地の下端から急傾斜地の高さの2倍(50mを超える場合は50m)以内の区域	土砂災害警戒区域のうち、土石等の移動による力が建物の耐力を上回る範囲で、建築物に破損が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域です。  ただし、地すべりについては、地すべり地塊の滑りに伴って生じた土石等による力が、建築物に作用した時から30分間が経過した時において建築物に作用する力の大きさとし、地すべり区域の下端から最大で60mの範囲内の区域です。
土石流	 	■ 土石流のおそれのある溪流において、扇頂部から下流で勾配が2度以上の区域	
地すべり		■ 地すべり区域(地滑りしている区域または地滑りするおそれがある区域) ■ 地すべり区域下端から、地滑り地塊の長さに相当する距離(250mを超える場合は250m)の範囲内の区域	

※大分県ホームページより一部を抜粋、編集して掲載

### 要配慮者利用施設

要配慮者利用施設とは社会福祉施設、学校、医療施設その他の主として防災上の配慮を要する方々が利用する施設をいいます。

浸水想定区域および土砂災害警戒区域内にある要配慮者利用施設は、避難確保計画の作成と計画に基づく訓練の実施が義務付けられています。対象は由布市地域防災計画で定める施設です。詳しくは由布市ホームページをご確認ください。



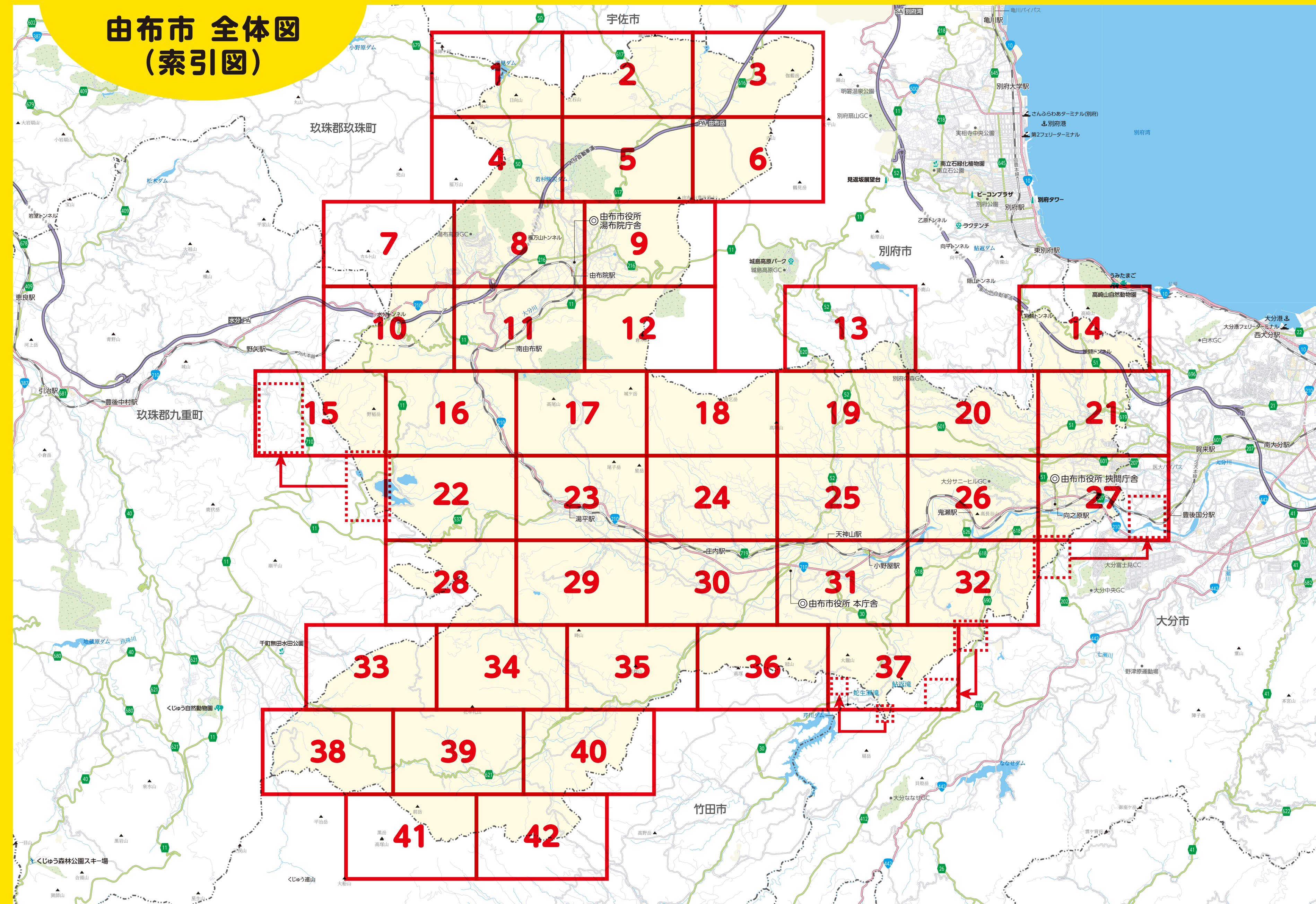
### 【コラム】想定最大規模の降雨とは

想定最大規模の降雨規模は1,000年に1度程度を想定しています。

1,000年に1度の降雨は1,000年ごとに1回発生する周期的な降雨ではなく、1年の間に発生する確率が1/1,000(0.1%)以下の降雨です。



# 由布市 全体図 (索引図)





MAP  
1

1:8,000

0100200m

凡例

指定緊急避難場所

指定避難所

福祉避難所

指定避難(場)所が  
対応する災害種別

洪水

土砂災害

地震

避難施設(国民保護)

防災重点ため池

河川カメラ

屋外スピーカー

医療機関

市役所

警察署・駐在所

消防署

鉄道・駅

高速道路

210 国道

216 県道

洪水浸水想定

浸水深区分

20m以上の区域  
10m以上～20m未満の区域  
5m以上～10m未満の区域  
3m以上～5m未満の区域  
0.5m以上～3m未満の区域  
0.5m未満の区域

家屋倒壊等  
はん濫想定  
区域

はん濫流

河岸侵食

土砂災害  
の危険が  
ある場所

急傾斜地

警戒区域

特別警戒区域

土石流

警戒区域

特別警戒区域

地すべり

警戒区域

1

2

4

5

26

この冊子の地図に掲載されている防災情報は2024年8月現在のものです。最新の情報は由布市のホームページよりご確認ください。

27



MAP  
2

1:8,000

0100200m

凡例

指定緊急避難場所	指定避難(場)所が 対応する災害種別	避難施設(国民保護)	医療機関	鉄道・駅
指定避難所	洪水	防災重点ため池	市役所	高速道路
福祉避難所	土砂災害	河川カメラ	警察署・駐在所	国道
	地震	屋外スピーカー	消防署	県道

洪水浸水想定  
浸水深区分

20m以上の区域	家屋倒壊等 はん濫想定 区域
10m以上～20m未満の区域	
5m以上～10m未満の区域	
3m以上～5m未満の区域	
0.5m以上～3m未満の区域	
0.5m未満の区域	

はん濫流

河岸侵食

土砂災害  
の危険が  
ある場所

警戒区域

特別警戒区域

急傾斜地

警戒区域

特別警戒区域

土石流

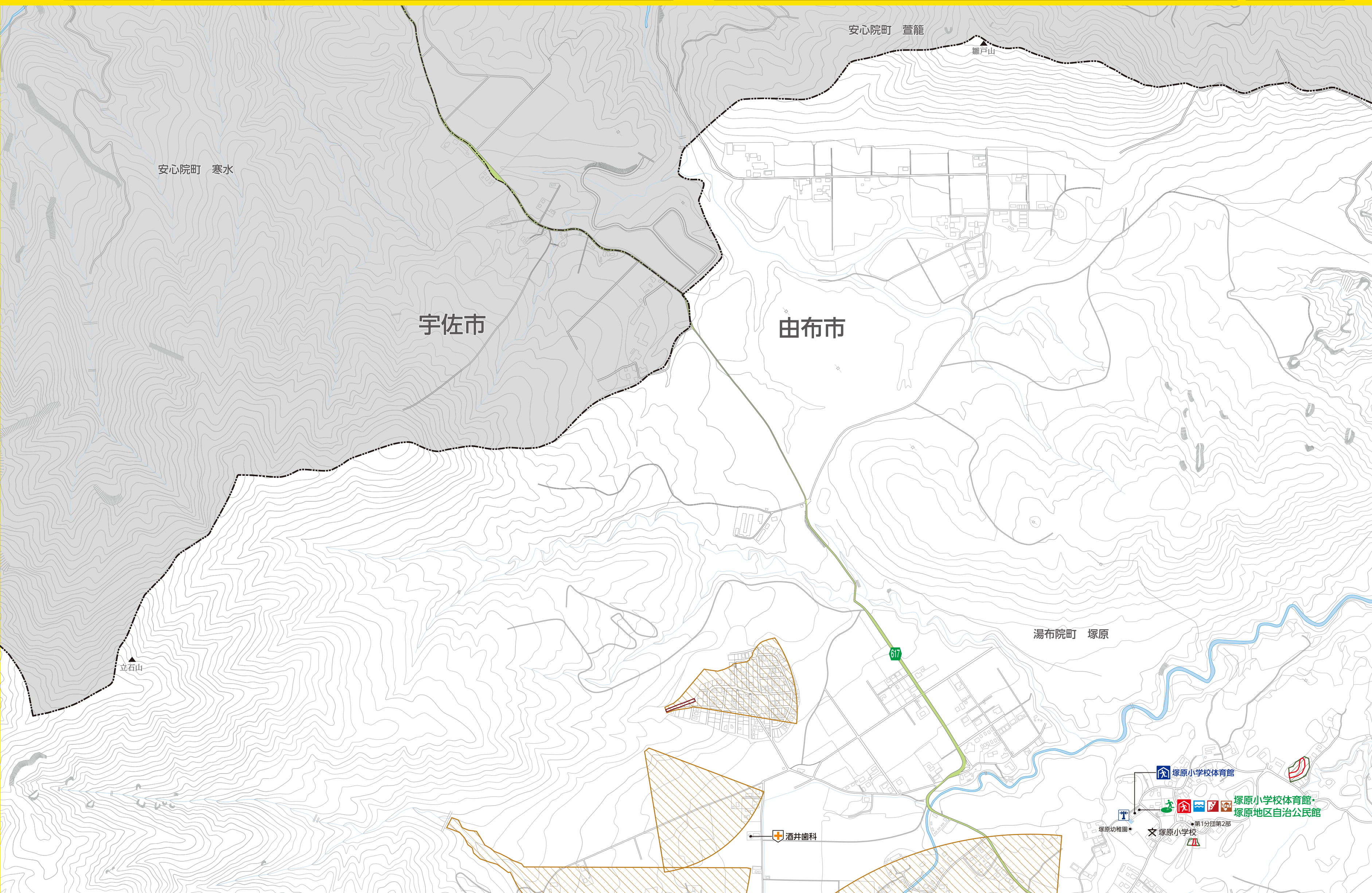
警戒区域

特別警戒区域

地すべり

警戒区域

1	2	3
4	5	6





MAP  
3

1:8,000

0100200m

指定緊急避難場所

指定避難所

福祉避難所

指定避難(場)所が  
対応する災害種別

洪水

土砂災害

地震

避難施設(国民保護)

防災重点ため池

河川カメラ

屋外スピーカー

医療機関

市役所

警察署・駐在所

消防署

鉄道・駅

高速道路

210 国道

216 県道

洪水浸水想定

浸水深区分

20m以上の区域  
10m以上～20m未満の区域  
5m以上～10m未満の区域  
3m以上～5m未満の区域  
0.5m以上～3m未満の区域  
0.5m未満の区域

家屋倒壊等  
はん濫想定  
区域

はん濫流

河岸侵食

土砂災害  
の危険が  
ある場所

警戒区域

特別警戒区域

警戒区域

特別警戒区域

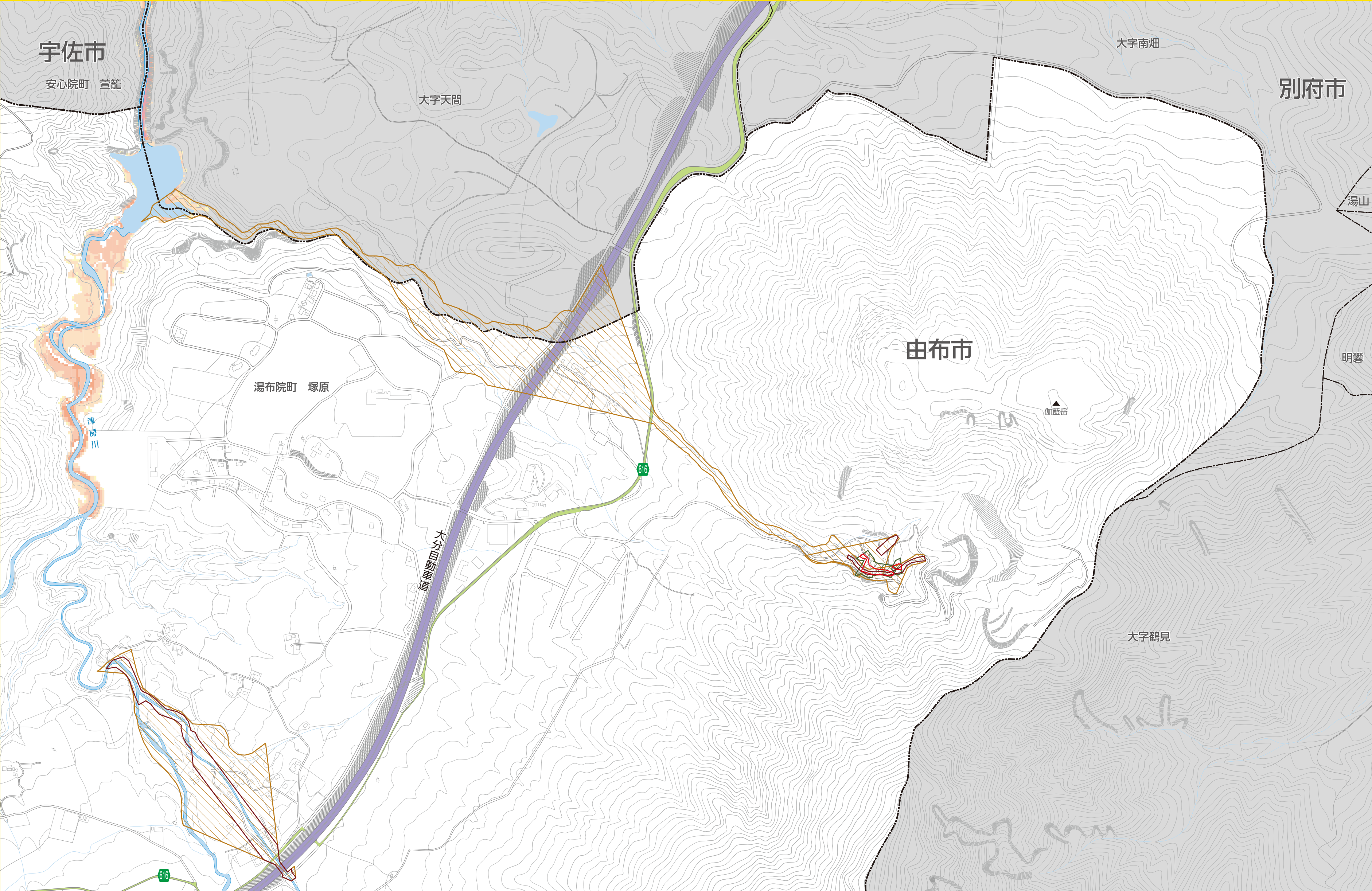
地すべり  
警戒区域

2

3

5

6





凡 例		指定緊急避難場所	指定避難(場)所が 対応する災害種別		避難施設(国民保護)		医療機関		鉄道・駅	
		指定避難所		洪水		ため池	防災重点ため池		市役所	
		福祉避難所		土砂災害		河川カメラ		警察署・駐在所		国道
		福祉避難所		地震		屋外スピーカー		消防署		県道

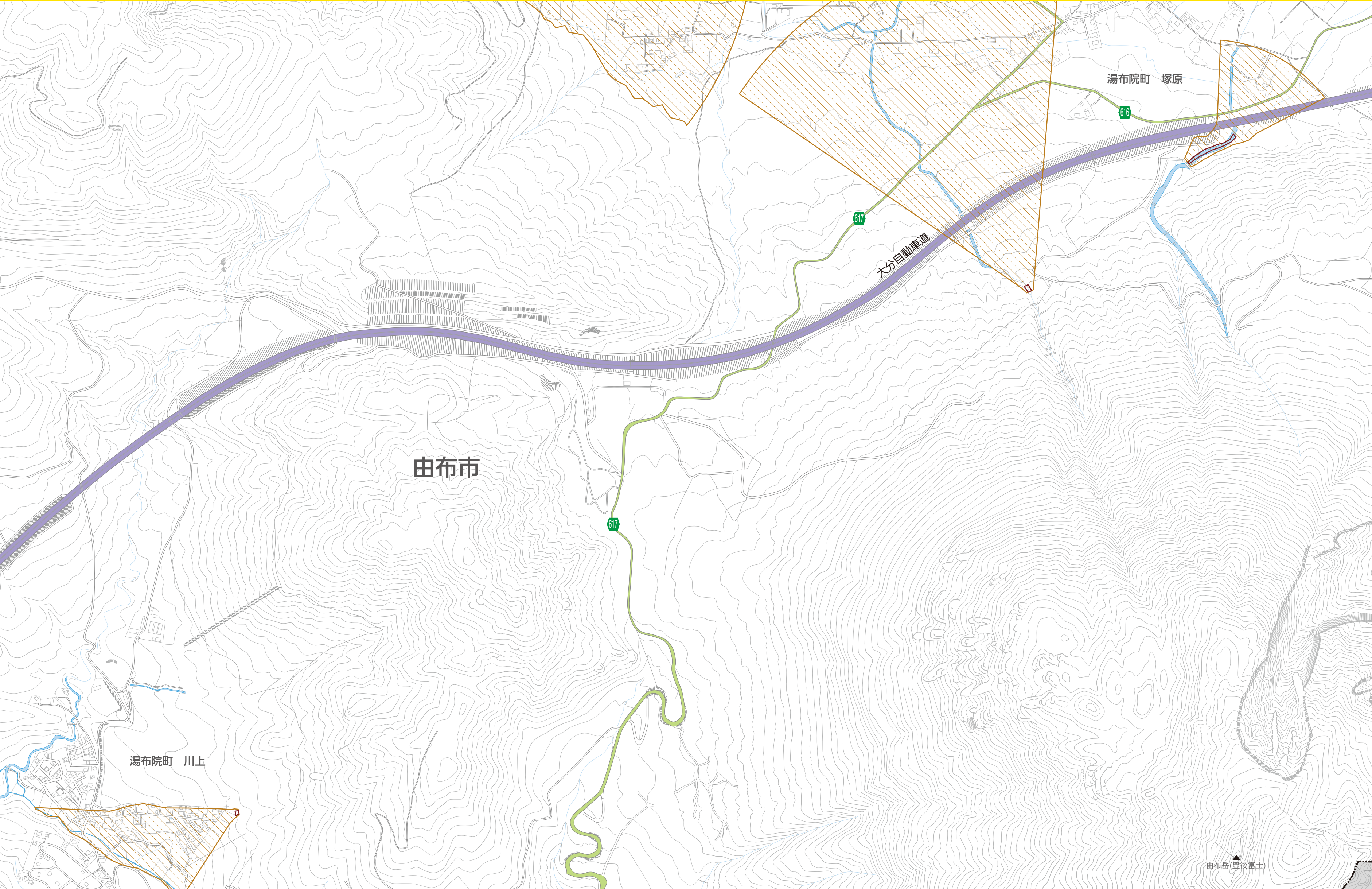
洪水浸水想定 浸水深区分	20m以上の区域	家屋倒壊等 はん濫想定 区域		土砂災害 の危険が ある場所		急傾斜地 警戒区域 特別 警戒区域		土石流 警戒区域 特別 警戒区域		地すべり 警戒区域
	10m以上～20m未満の区域 5m以上～10m未満の区域 3m以上～5m未満の区域 0.5m以上～3m未満の区域 0.5m未満の区域									

	1	2
	4	5
7	8	





凡 例		指定緊急避難場所		避難施設(国民保護)		医療機関		鉄道・駅
		指定避難所		防災重点ため池		市役所		高速道路
		洪水		河川カメラ		警察署、駐在所		国道
		土砂災害		屋外スピーカー		消防署		県道

[illegible]



MAP  
6

1:8,000

0100200m

凡例

指定緊急避難場所	指定避難(場)所が 対応する災害種別	避難施設(国民保護)	医療機関	鉄道・駅
指定避難所	洪水 土砂災害 地震	防災重点ため池	市役所 警察署・駐在所 消防署	高速道路 国道 県道
福祉避難所		河川カメラ 屋外スピーカー		

洪水浸水想定  
浸水深区分

20m以上の区域  
10m以上～20m未満の区域  
5m以上～10m未満の区域  
3m以上～5m未満の区域  
0.5m以上～3m未満の区域  
0.5m未満の区域

家屋倒壊等  
はん濫想定  
区域

はん濫流  
河岸侵食

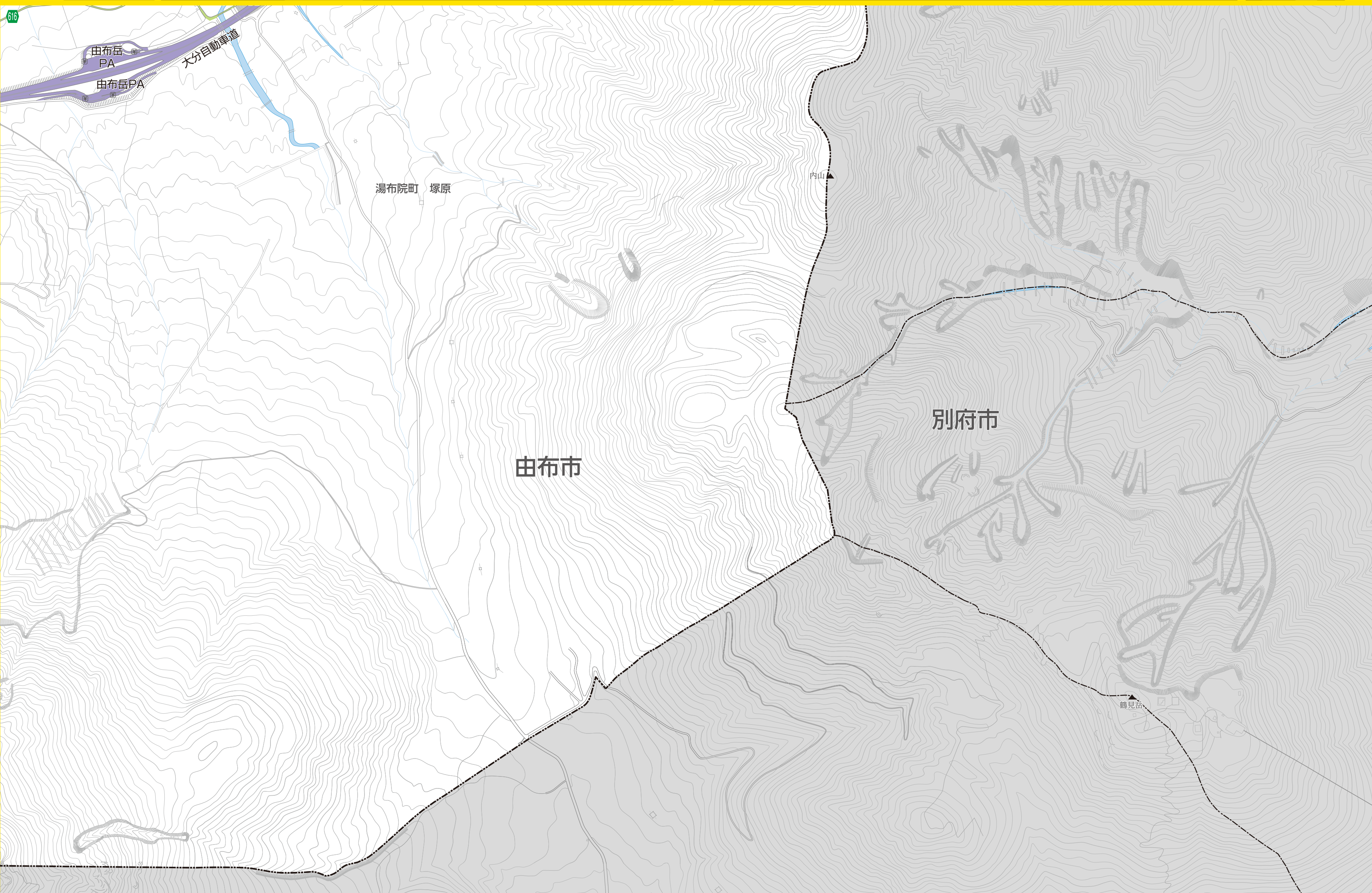
土砂災害  
の危険が  
ある場所

急傾斜地  
警戒区域  
特別  
警戒区域

土石流  
警戒区域  
特別  
警戒区域

地すべり  
警戒区域

2	3	
5	6	
	9	





MAP  
7

1:8,000

0100200m

凡例

指定緊急避難場所	指定避難(場)所が 対応する災害種別	避難施設(国民保護)	医療機関	鉄道・駅
指定避難所	洪水 土砂災害 地震	防災重点ため池	市役所 警察署・駐在所 消防署	高速道路 国道 県道
福祉避難所		河川カメラ 屋外スピーカー		

洪水浸水想定  
浸水深区分

20m以上の区域
10m以上～20m未満の区域
5m以上～10m未満の区域
3m以上～5m未満の区域
0.5m以上～3m未満の区域
0.5m未満の区域

家屋倒壊等  
はん濫想定  
区域

はん濫流  
河岸侵食

土砂災害  
の危険が  
ある場所

警戒区域  
特別警戒区域

土石流

警戒区域  
特別警戒区域

地すべり

警戒区域

	4	
7		8
10		11





MAP  
8

1:8,000

0100200m

指定緊急避難場所

指定避難所

福祉避難所

指定避難(場)所が  
対応する災害種別

洪水

土砂災害

地震

避難施設(国民保護)

防災重点ため池

河川カメラ

屋外スピーカー

医療機関

市役所

警察署・駐在所

消防署

鉄道・駅

高速道路

国道

県道

洪水浸水想定  
浸水深区分

20m以上の区域  
10m以上～20m未満の区域  
5m以上～10m未満の区域  
3m以上～5m未満の区域  
0.5m以上～3m未満の区域  
0.5m未満の区域

家屋倒壊等  
はん濫想定  
区域

はん濫流

河岸侵食

土砂災害  
の危険が  
ある場所

警戒区域

特別  
警戒区域

土石流

警戒区域

特別  
警戒区域

地すべり

警戒区域

4

5

7

8

9

10

11

12

40

この冊子の地図に掲載されている防災情報は2024年8月現在のものです。最新の情報は由布市のホームページよりご確認ください。

41



MAP  
9

1:8,000

0100200m

凡例	指定緊急避難場所	指定避難(場)所が対応する災害種別	避難施設(国民保護)	医療機関	鉄道・駅
	指定避難所	洪水	防災重点ため池	市役所	高速道路
	福祉避難所	土砂災害	河川カメラ	警察署・駐在所	国道
		地震	屋外スピーカー	消防署	県道

洪水浸水想定

浸水深区分

20m以上の区域  
10m以上～20m未満の区域  
5m以上～10m未満の区域  
3m以上～5m未満の区域  
0.5m以上～3m未満の区域  
0.5m未満の区域

家屋倒壊等はん濫想定区域

はん濫流  
 河岸侵食

土砂災害の危険がある場所

警戒区域  
 特別警戒区域

急傾斜地

警戒区域  
 特別警戒区域

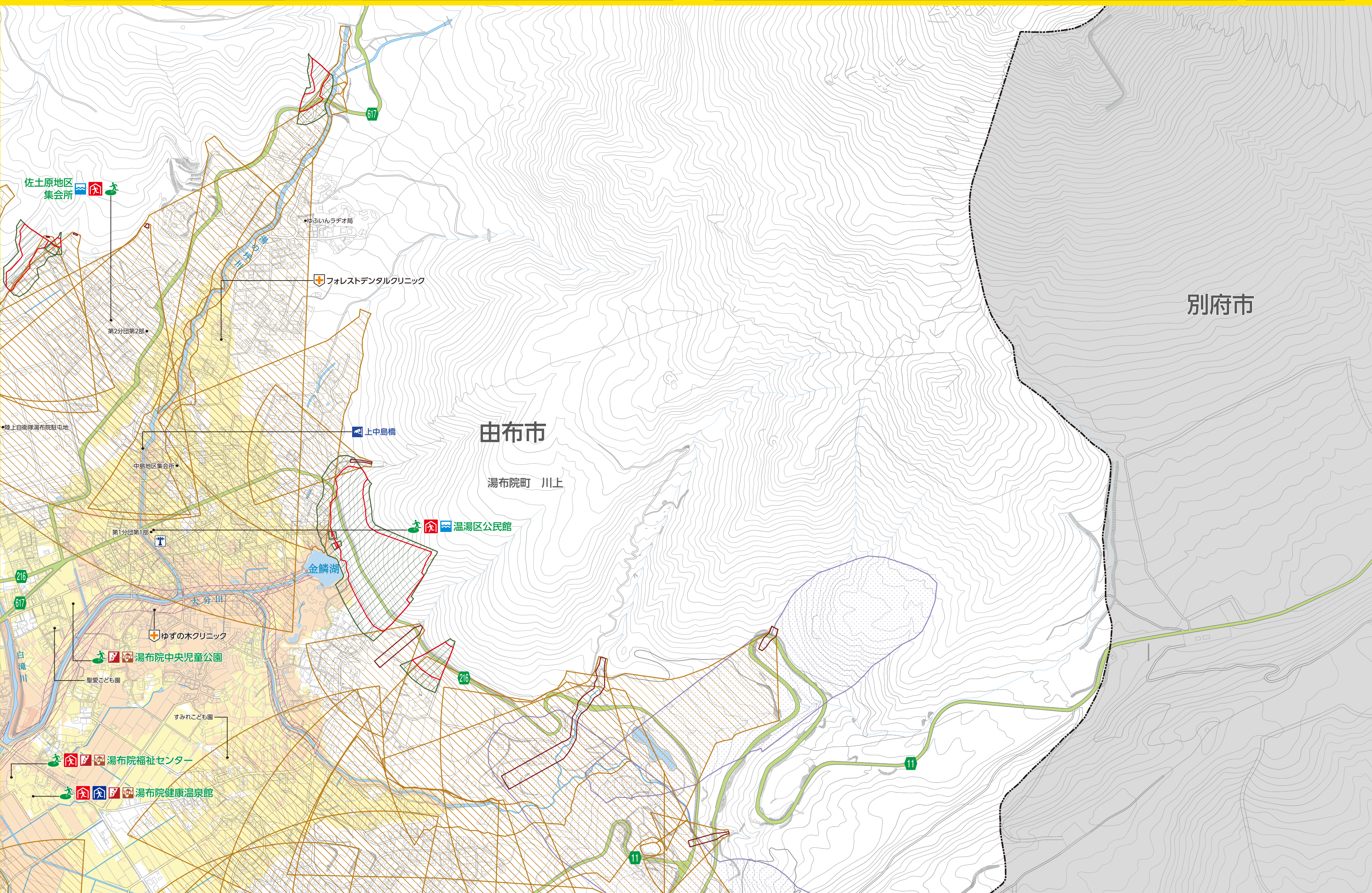
土石流

警戒区域  
 特別警戒区域

地すべり

警戒区域

	5	6
8	9	
11	12	





MAP  
10

1:8,000

0100200m

凡例		指定緊急避難場所	指定避難(場)所が 対応する災害種別		避難施設(国民保護)		医療機関		鉄道・駅
		指定避難所			防災重点ため池		市役所		高速道路
		福祉避難所			洪水		河川カメラ		警察署・駐在所
					地震		屋外スピーカー		消防署
							国道		県道

洪水浸水想定

浸水深区分

20m以上の区域  
10m以上～20m未満の区域  
5m以上～10m未満の区域  
3m以上～5m未満の区域  
0.5m以上～3m未満の区域  
0.5m未満の区域

家屋倒壊等  
はん濫想定  
区域

はん濫流

河岸侵食

土砂災害  
の危険が  
ある場所

急傾斜地

警戒区域

特別警戒区域

土石流

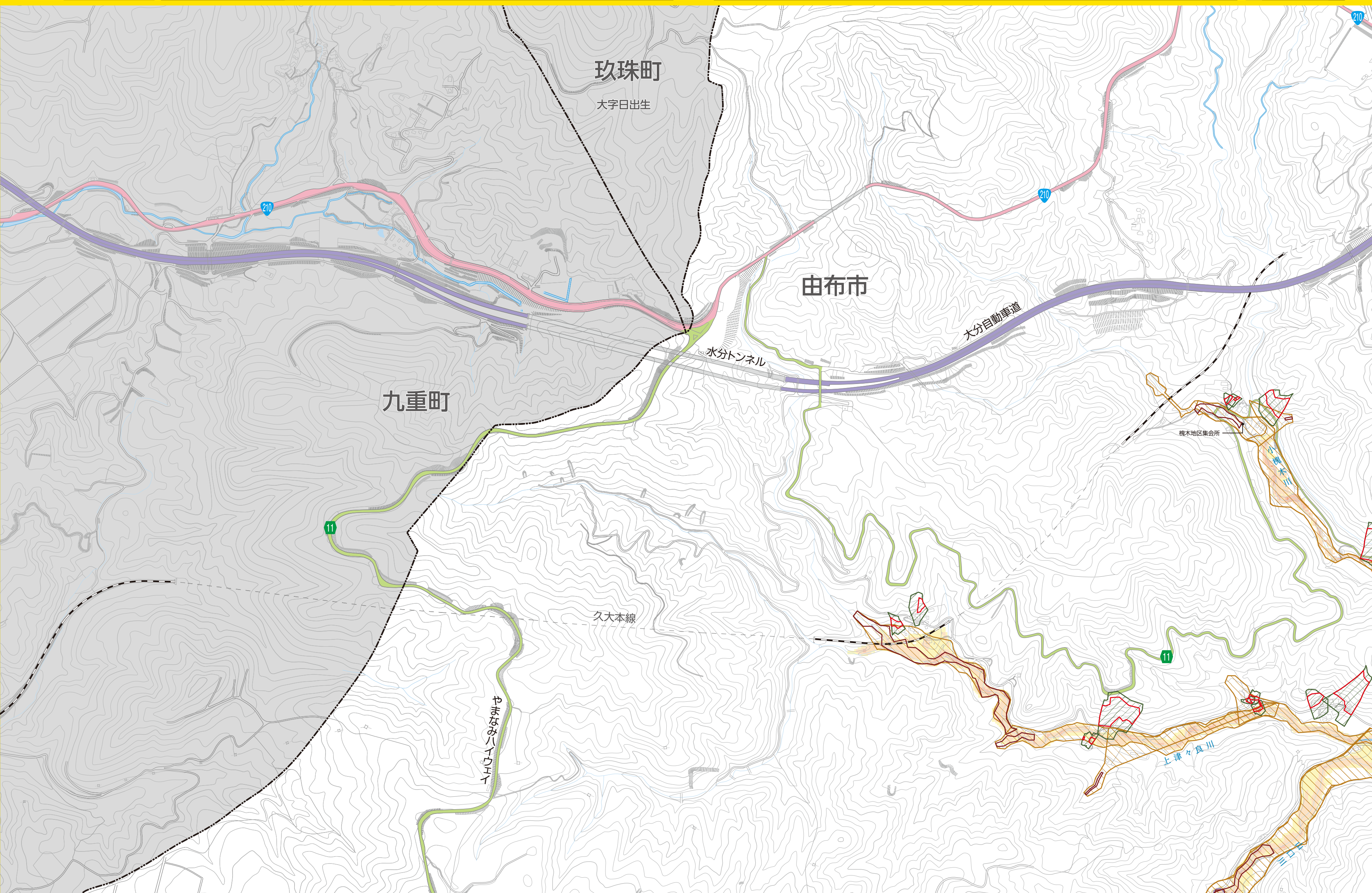
警戒区域

特別警戒区域

地すべり

警戒区域

		7	8
		10	11
	15	16	





MAP  
11

1:8,000

0100200m

凡例		指定緊急避難場所		避難施設(国民保護)		医療機関		鉄道・駅
		指定避難所		洪水		土砂災害		防災重点ため池
		福祉避難所		地震		河川カメラ		警察署・駐在所
				屋外スピーカー		消防署		国道
								県道

洪水浸水想定

浸水深区分

20m以上の区域  
10m以上～20m未満の区域  
5m以上～10m未満の区域  
3m以上～5m未満の区域  
0.5m以上～3m未満の区域  
0.5m未満の区域

家屋倒壊等  
はん濫想定  
区域

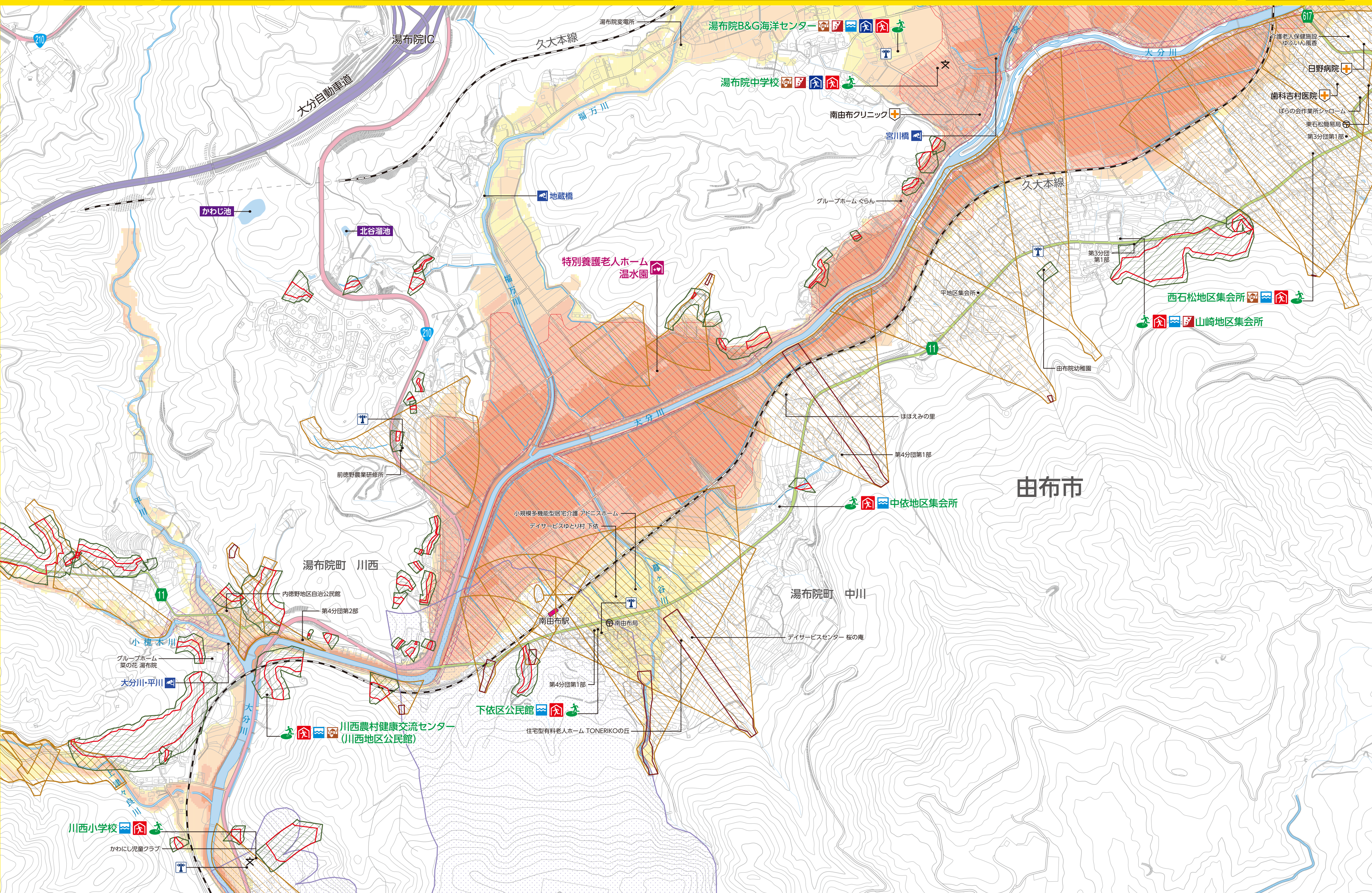
はん濫流

河岸侵食土砂災害  
の危険が  
ある場所

急傾斜地

土石流

地すべり





MAP  
12

1:8,000

0100200m

凡例

指定緊急避難場所	指定避難(場)所が 対応する災害種別	避難施設(国民保護)	医療機関	鉄道・駅
指定避難所	洪水	防災重点ため池	市役所	高速道路
福祉避難所	土砂災害	河川カメラ	警察署・駐在所	国道
	地震	屋外スピーカー	消防署	県道

洪水浸水想定

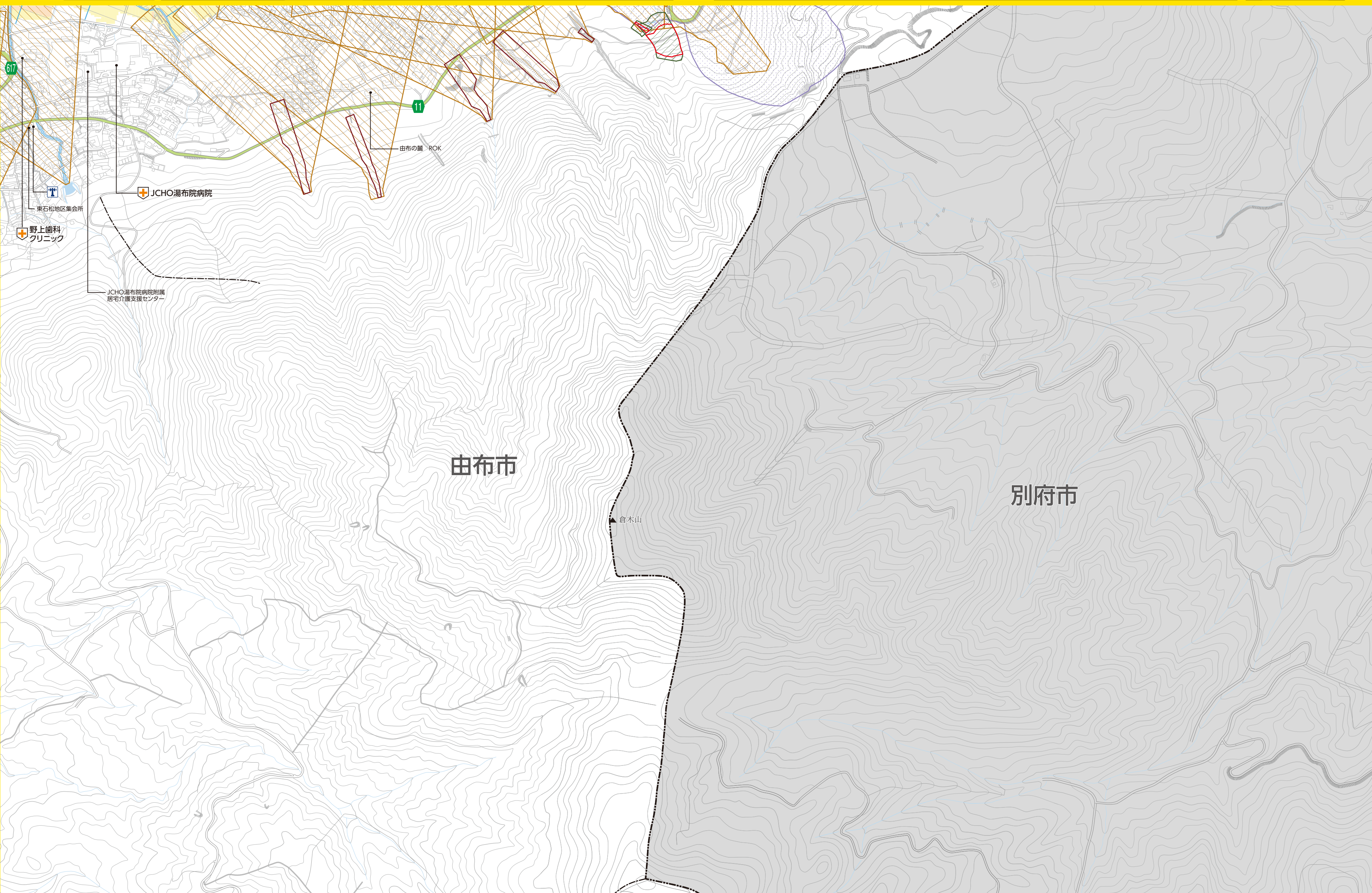
浸水深区分

20m以上の区域	家屋倒壊等 はん濫想定 区域	はん濫流	土砂災害 の危険が ある場所	急傾斜地	土石流	地すべり
10m以上～20m未満の区域						
5m以上～10m未満の区域						
3m以上～5m未満の区域						
0.5m以上～3m未満の区域						
0.5m未満の区域						

警戒区域	警戒区域
特別警戒区域	特別警戒区域

警戒区域
------

8	9	
11	12	
	17	18





MAP  
13

1:8,000

0100200m

凡例

指定緊急避難場所

指定避難所

福祉避難所

指定避難(場)所が  
対応する災害種別

洪水

土砂災害

地震

避難施設(国民保護)

防災重点ため池

河川カメラ

屋外スピーカー

医療機関

市役所

警察署・駐在所

消防署

鉄道・駅

高速道路

210 国道

216 県道

洪水浸水想定  
浸水深区分

20m以上の区域  
10m以上～20m未満の区域  
5m以上～10m未満の区域  
3m以上～5m未満の区域  
0.5m以上～3m未満の区域  
0.5m未満の区域

家屋倒壊等  
はん濫想定  
区域

はん濫流

河岸侵食

土砂災害  
の危険が  
ある場所

警戒区域

特別警戒区域

土石流

警戒区域

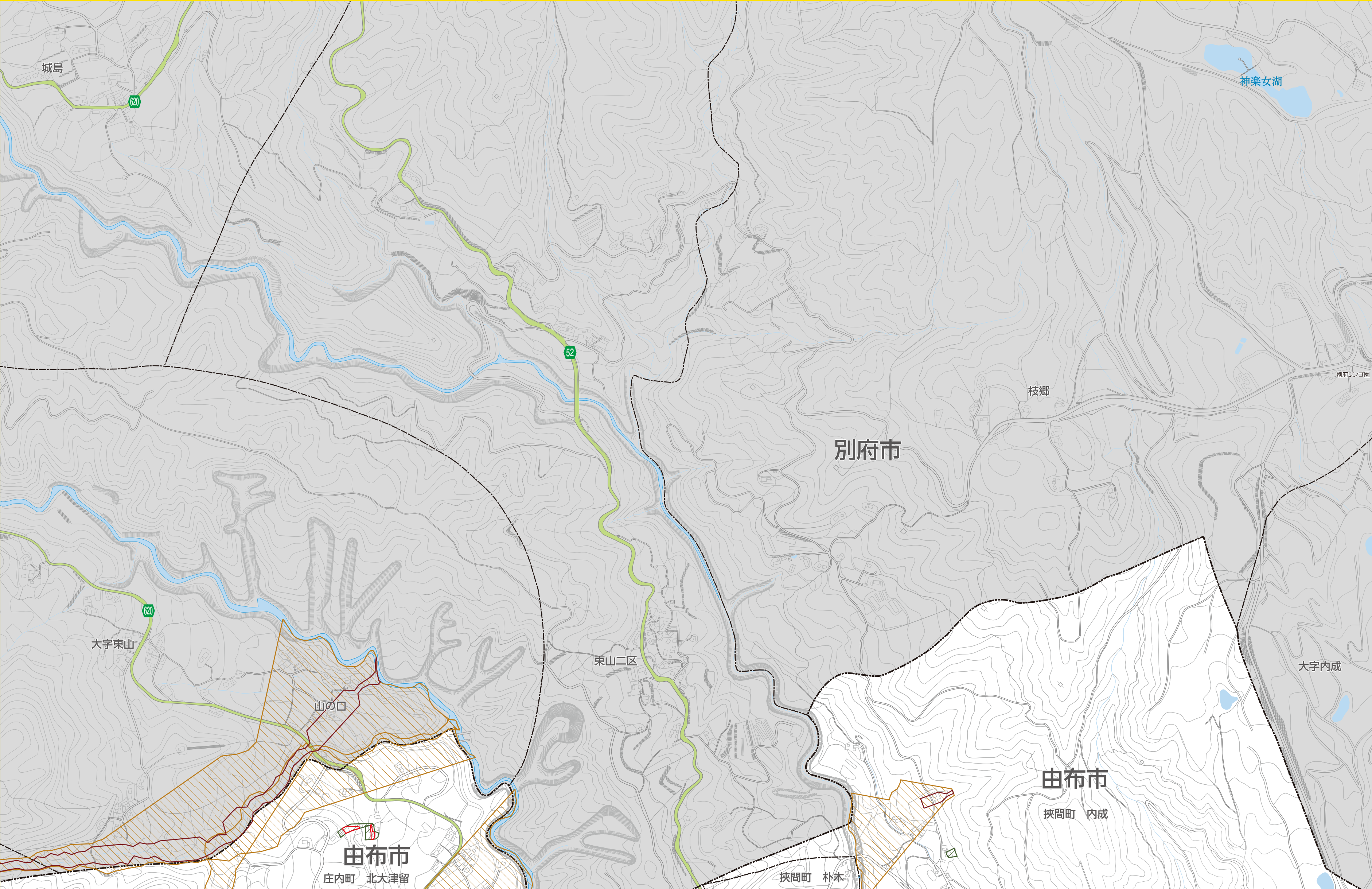
特別警戒区域

地すべり

警戒区域

13

181920





MAP  
14

1:8,000

0100200m

凡例		指定緊急避難場所			避難施設(国民保護)		医療機関		鉄道・駅	
		指定避難所		洪水		防災重点ため池		市役所		高速道路
		福祉避難所		土砂災害		河川カメラ		警察署・駐在所		国道
				地震		屋外スピーカー		消防署		県道

洪水浸水想定

浸水深区分

20m以上の区域  
10m以上～20m未満の区域  
5m以上～10m未満の区域  
3m以上～5m未満の区域  
0.5m以上～3m未満の区域  
0.5m未満の区域

家屋倒壊等  
はん濫想定  
区域

はん濫流

河岸侵食

土砂災害  
の危険が  
ある場所

警戒区域

特別警戒区域

急傾斜地

警戒区域

特別警戒区域

土石流

警戒区域

特別警戒区域

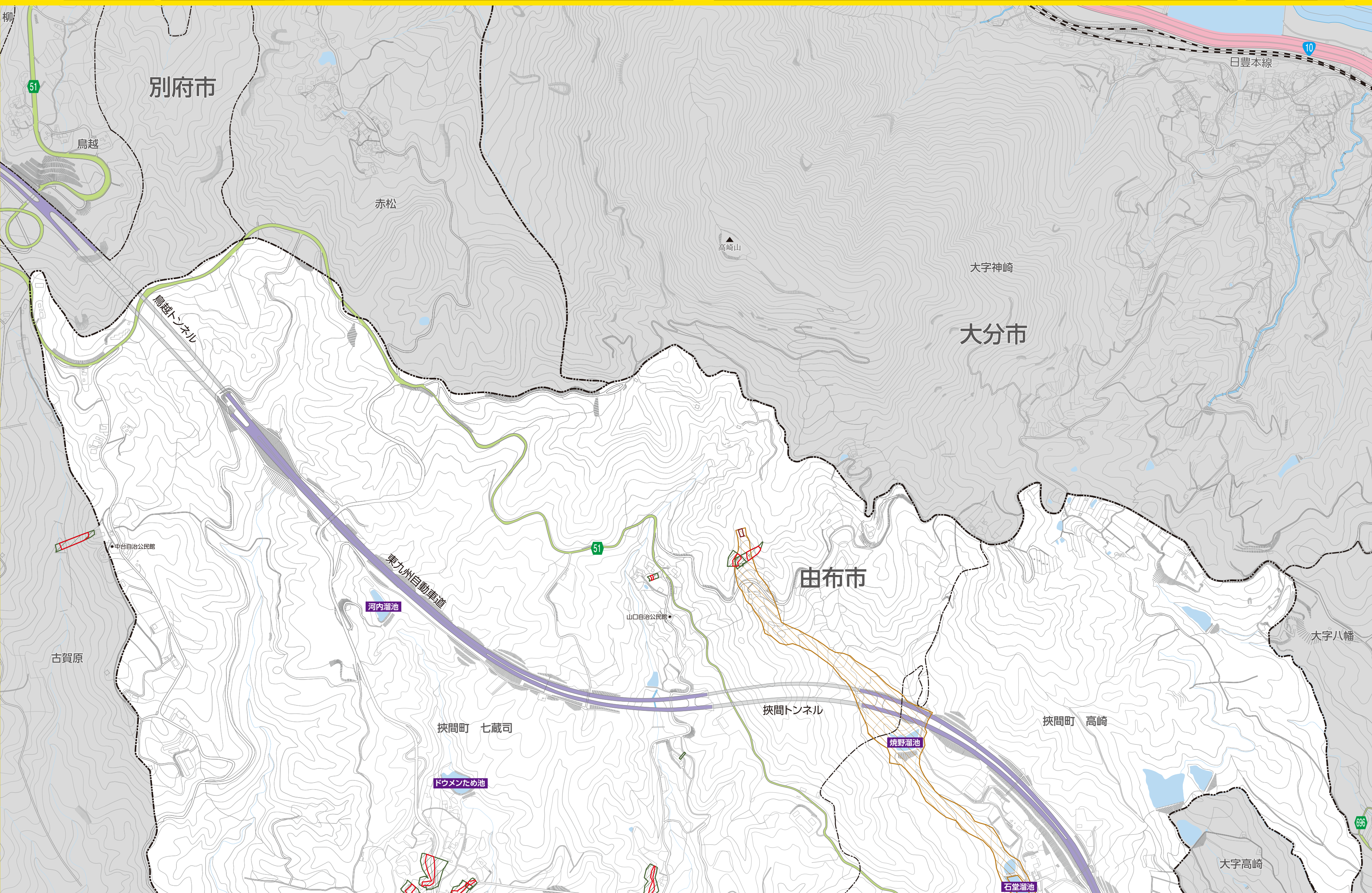
地すべり

警戒区域

20

14

21





MAP  
15

1:8,000

0100200m

凡例		指定緊急避難場所	指定避難(場)所が 対応する災害種別		避難施設(国民保護)		医療機関		鉄道・駅	
		指定避難所			洪水		防災重点ため池		高速道路	
		福祉避難所			土砂災害		河川カメラ		国道	
				地震		屋外スピーカー		消防署		県道

洪水浸水想定

浸水深区分

20m以上の区域  
10m以上～20m未満の区域  
5m以上～10m未満の区域  
3m以上～5m未満の区域  
0.5m以上～3m未満の区域  
0.5m未満の区域

家屋倒壊等  
はん濫想定  
区域

はん濫流

河岸侵食

土砂災害  
の危険が  
ある場所

警戒区域

特別警戒区域

急傾斜地

警戒区域

特別警戒区域

土石流

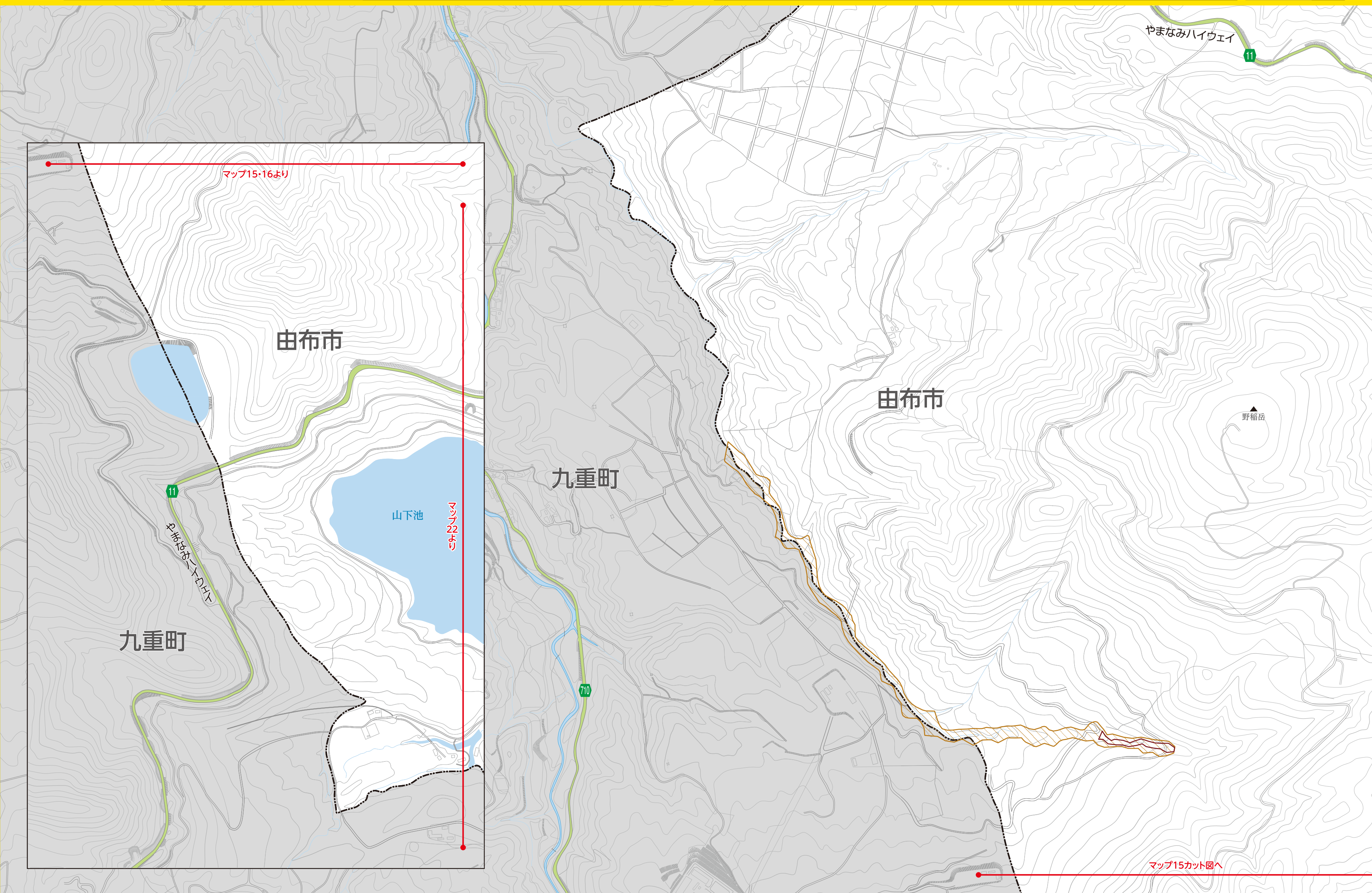
警戒区域

特別警戒区域

地すべり

警戒区域

		10	
	15		16
			22





MAP  
16

1:8,000

0100200m

凡例

指定緊急避難場所

指定避難所

福祉避難所

指定避難(場)所が  
対応する災害種別

洪水

土砂災害

地震

避難施設(国民保護)

防災重点ため池

河川カメラ

屋外スピーカー

医療機関

市役所

警察署・駐在所

消防署

鉄道・駅

高速道路

国道

県道

洪水浸水想定  
浸水深区分

20m以上の区域

10m以上～20m未満の区域

5m以上～10m未満の区域

3m以上～5m未満の区域

0.5m以上～3m未満の区域

0.5m未満の区域

家屋倒壊等  
はん濫想定  
区域

はん濫流

河岸侵食

土砂災害  
の危険が  
ある場所

警戒区域

特別警戒区域

土石流

警戒区域

特別警戒区域

地すべり

警戒区域

10

11

15

16

17

22

23

マップ15  
カット図へ

56

この冊子の地図に掲載されている防災情報は2024年8月現在のものです。最新の情報は由布市のホームページよりご確認ください。

57



MAP  
17

1:8,000

0100200m

凡例		指定緊急避難場所	指定避難(場)所が 対応する災害種別		避難施設(国民保護)		医療機関		鉄道・駅
		指定避難所			防災重点ため池		市役所		高速道路
		福祉避難所			洪水		河川カメラ		国道
			土砂災害				警察署・駐在所		県道
			地震				消防署		

洪水浸水想定

浸水深区分

20m以上の区域  
10m以上～20m未満の区域  
5m以上～10m未満の区域  
3m以上～5m未満の区域  
0.5m以上～3m未満の区域  
0.5m未満の区域

家屋倒壊等  
はん濫想定  
区域

はん濫流河岸侵食

土砂災害  
の危険が  
ある場所

急傾斜地

警戒区域特別警戒区域

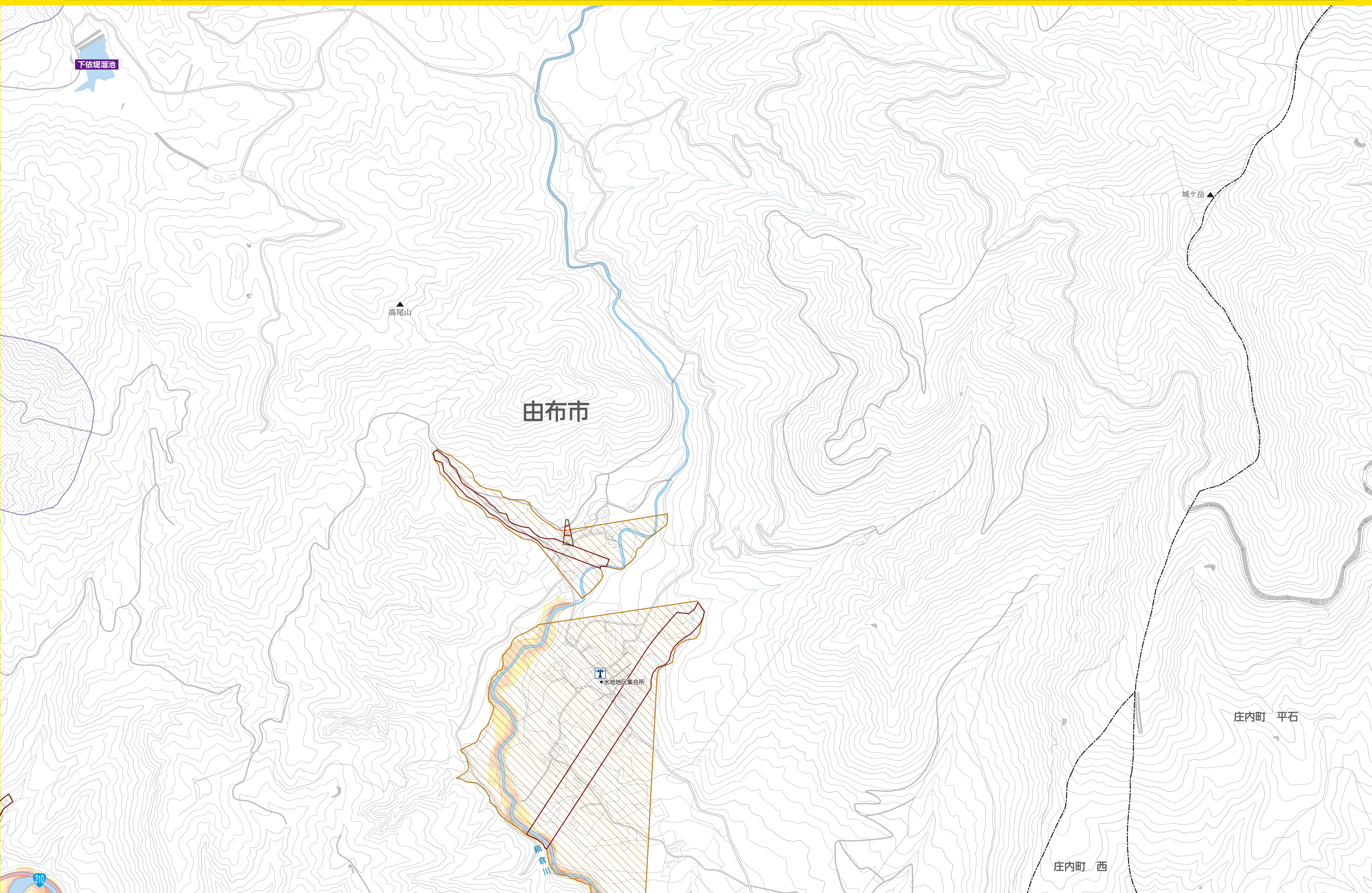
土石流

警戒区域特別警戒区域

地すべり

警戒区域

	11	12	
16	17	18	
22	23	24	





MAP  
18

1:8,000

0100200m

凡例		指定緊急避難場所			洪水		防災重点ため池		河川カメラ		屋外スピーカー		医療機関		市役所		警察署・駐在所		消防署		鉄道・駅		高速道路		国道		県道
		指定避難所			土砂災害				地震																		
		福祉避難所																									

洪水浸水想定

浸水深区分

20m以上の区域  
10m以上～20m未満の区域  
5m以上～10m未満の区域  
3m以上～5m未満の区域  
0.5m以上～3m未満の区域  
0.5m未満の区域

家屋倒壊等  
はん濫想定  
区域

はん濫流

河岸侵食

土砂災害  
の危険が  
ある場所

警戒区域

特別警戒区域

急傾斜地

警戒区域

特別警戒区域

土石流

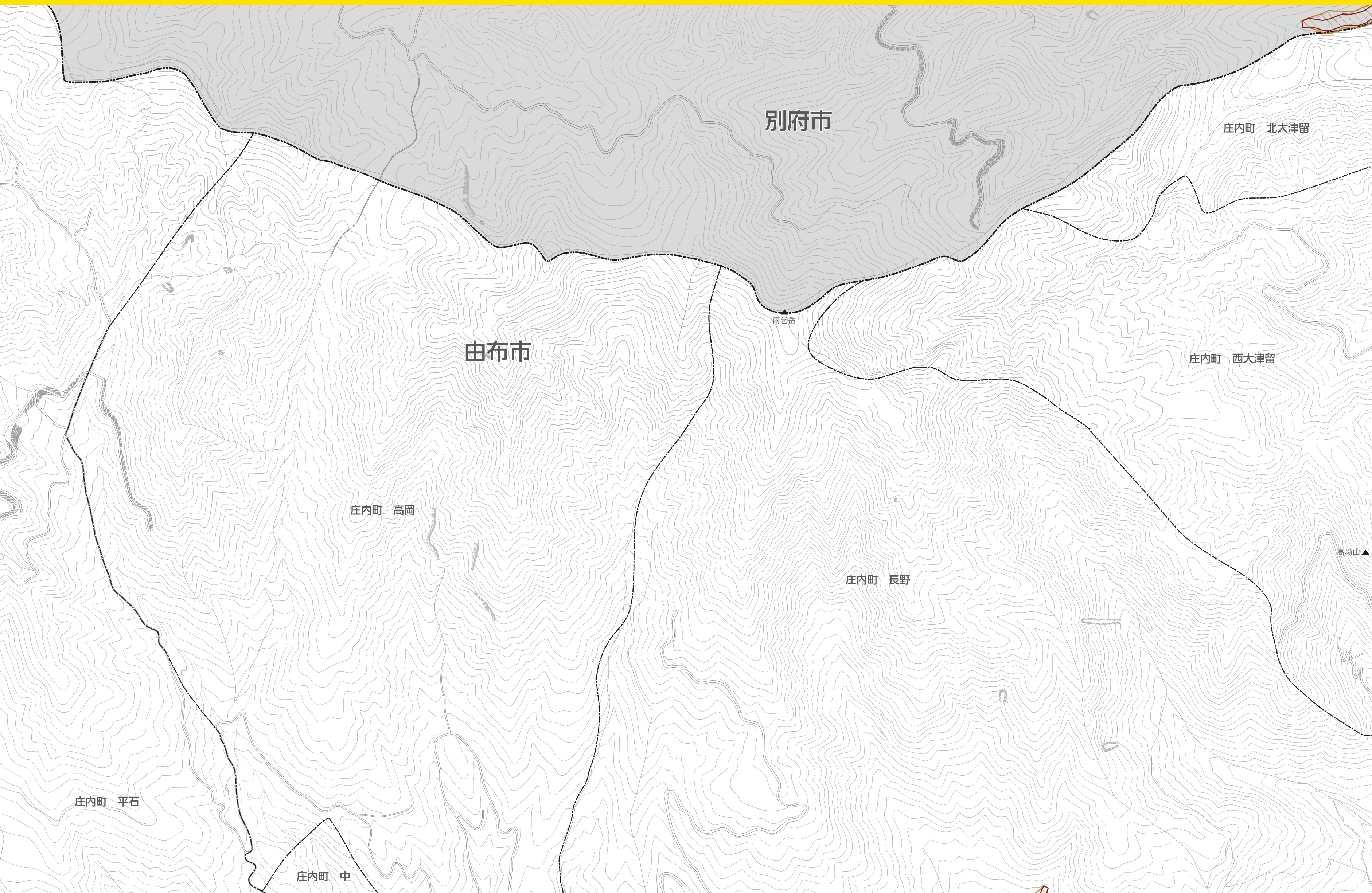
警戒区域

特別警戒区域

地すべり

警戒区域

	12		13
17	18		19
23	24		25





MAP  
19

1:8,000

0100200m

凡例

指定緊急避難場所

指定避難所

福祉避難所

指定避難(場)所が  
対応する災害種別

洪水

土砂災害

地震

避難施設(国民保護)

防災重点ため池

河川カメラ

屋外スピーカー

医療機関

市役所

警察署・駐在所

消防署

鉄道・駅

高速道路

210 国道

216 県道

洪水浸水想定  
浸水深区分

20m以上の区域

10m以上～20m未満の区域

5m以上～10m未満の区域

3m以上～5m未満の区域

0.5m以上～3m未満の区域

0.5m未満の区域

家屋倒壊等  
はん濫想定  
区域

はん濫流

河岸侵食

土砂災害  
の危険が  
ある場所

警戒区域

特別警戒区域

土石流

警戒区域

特別警戒区域

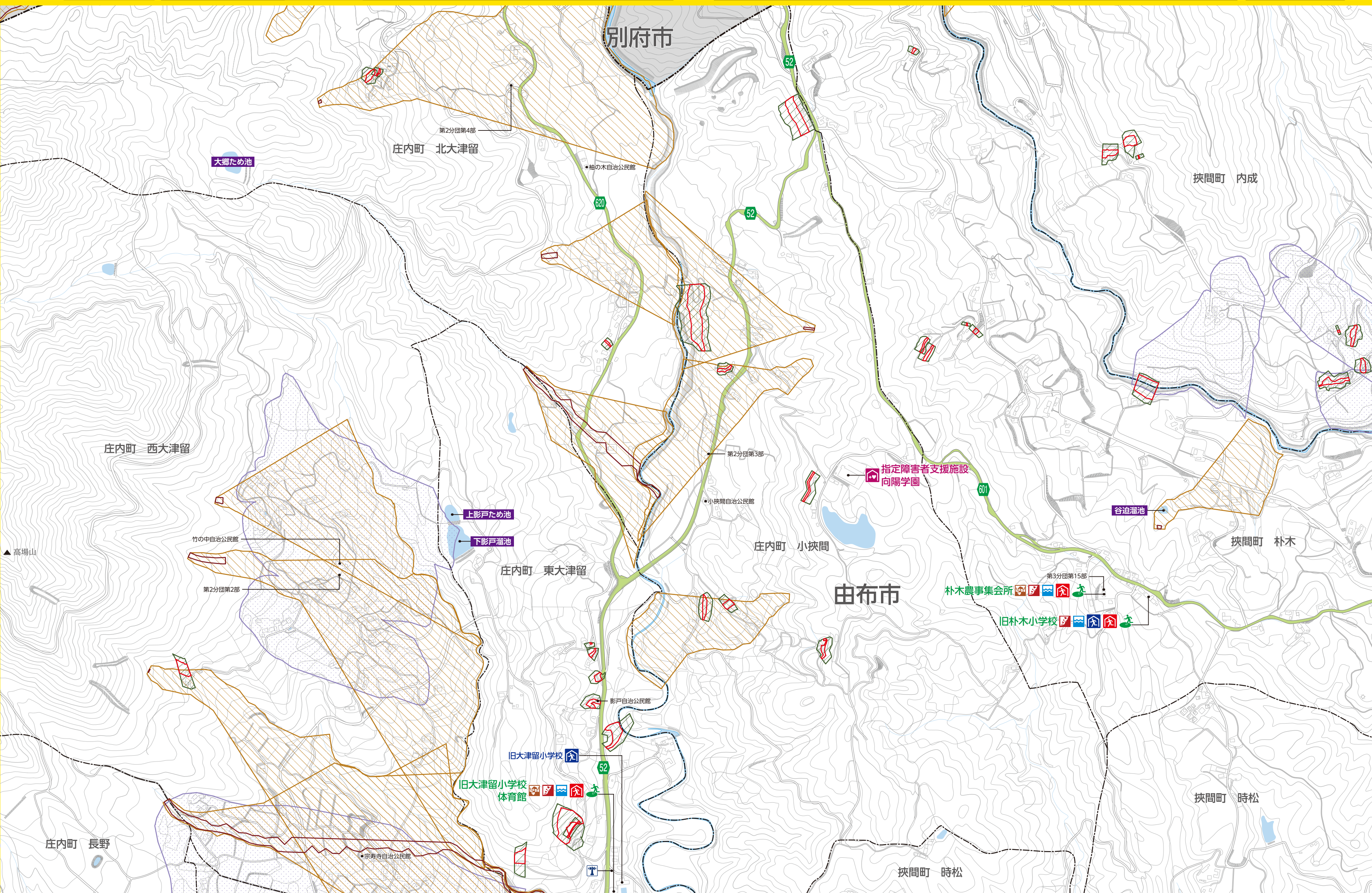
地すべり

警戒区域

13

181920

242526





MAP  
20

1:8,000

0100200m

凡例

指定緊急避難場所

指定避難所

福祉避難所

指定避難(場)所が  
対応する災害種別

洪水

土砂災害

地震

避難施設(国民保護)

防災重点ため池

河川カメラ

屋外スピーカー

医療機関

市役所

警察署・駐在所

消防署

鉄道・駅

高速道路

210 国道

216 県道

洪水浸水想定  
浸水深区分

20m以上の区域

10m以上～20m未満の区域

5m以上～10m未満の区域

3m以上～5m未満の区域

0.5m以上～3m未満の区域

0.5m未満の区域

家屋倒壊等  
はん濫想定  
区域

はん濫流

河岸侵食

土砂災害  
の危険が  
ある場所

警戒区域

特別警戒区域

土石流

警戒区域

特別警戒区域

地すべり

警戒区域

13

14

19

20

21

25

26

27

64

この冊子の地図に掲載されている防災情報は2024年8月現在のものです。最新の情報は由布市のホームページよりご確認ください。

65



MAP  
21

1:8,000

0100200m

凡例		指定緊急避難場所		避難施設(国民保護)		医療機関		鉄道・駅
		指定避難所		洪水		防災重点ため池		高速道路
		福祉避難所		土砂災害		河川カメラ		国道
				地震		屋外スピーカー		県道

洪水浸水想定

浸水深区分

20m以上の区域  
10m以上～20m未満の区域  
5m以上～10m未満の区域  
3m以上～5m未満の区域  
0.5m以上～3m未満の区域  
0.5m未満の区域

家屋倒壊等  
はん濫想定  
区域

はん濫流河岸侵食

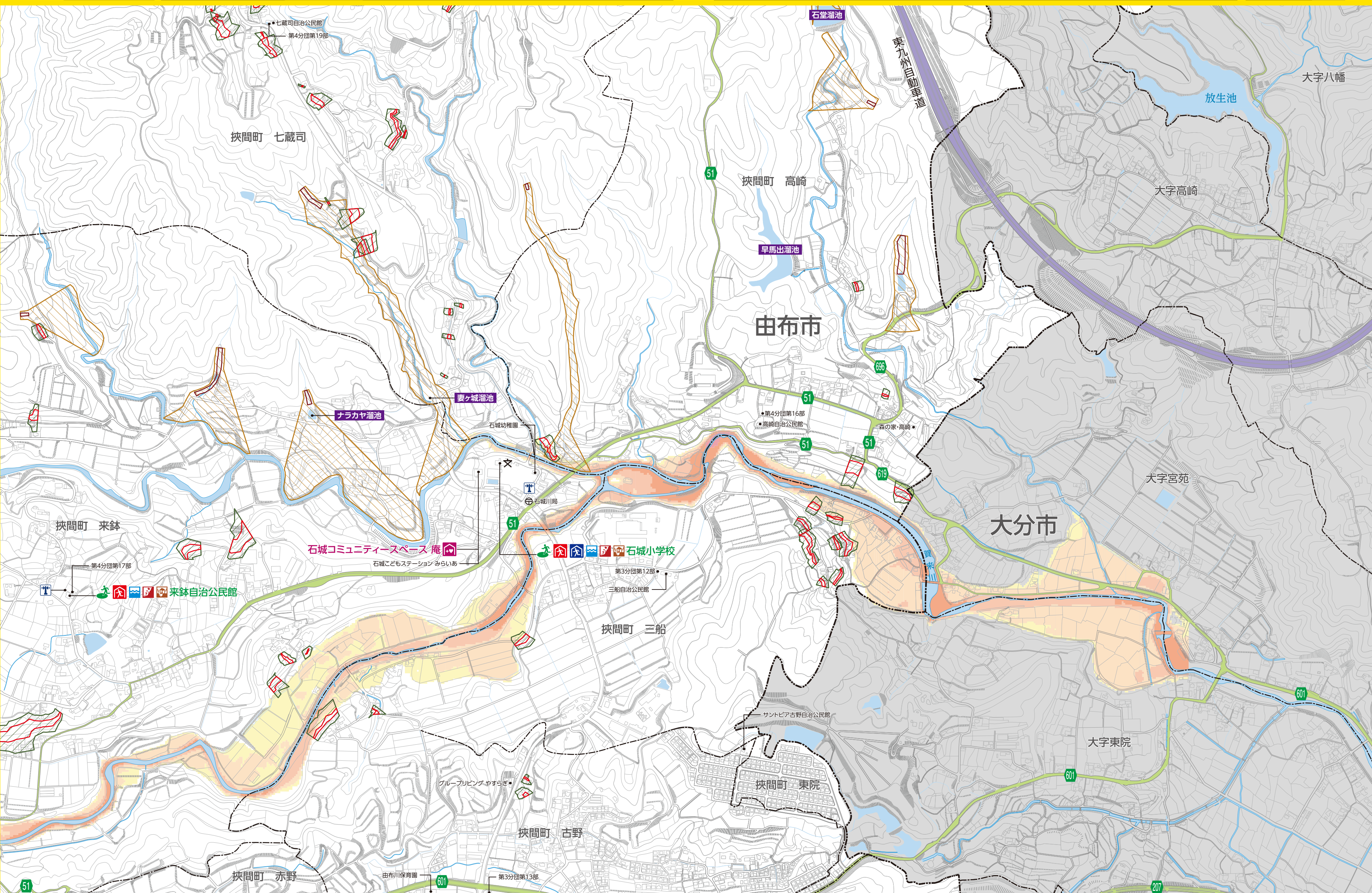
土砂災害  
の危険が  
ある場所

警戒区域特別警戒区域

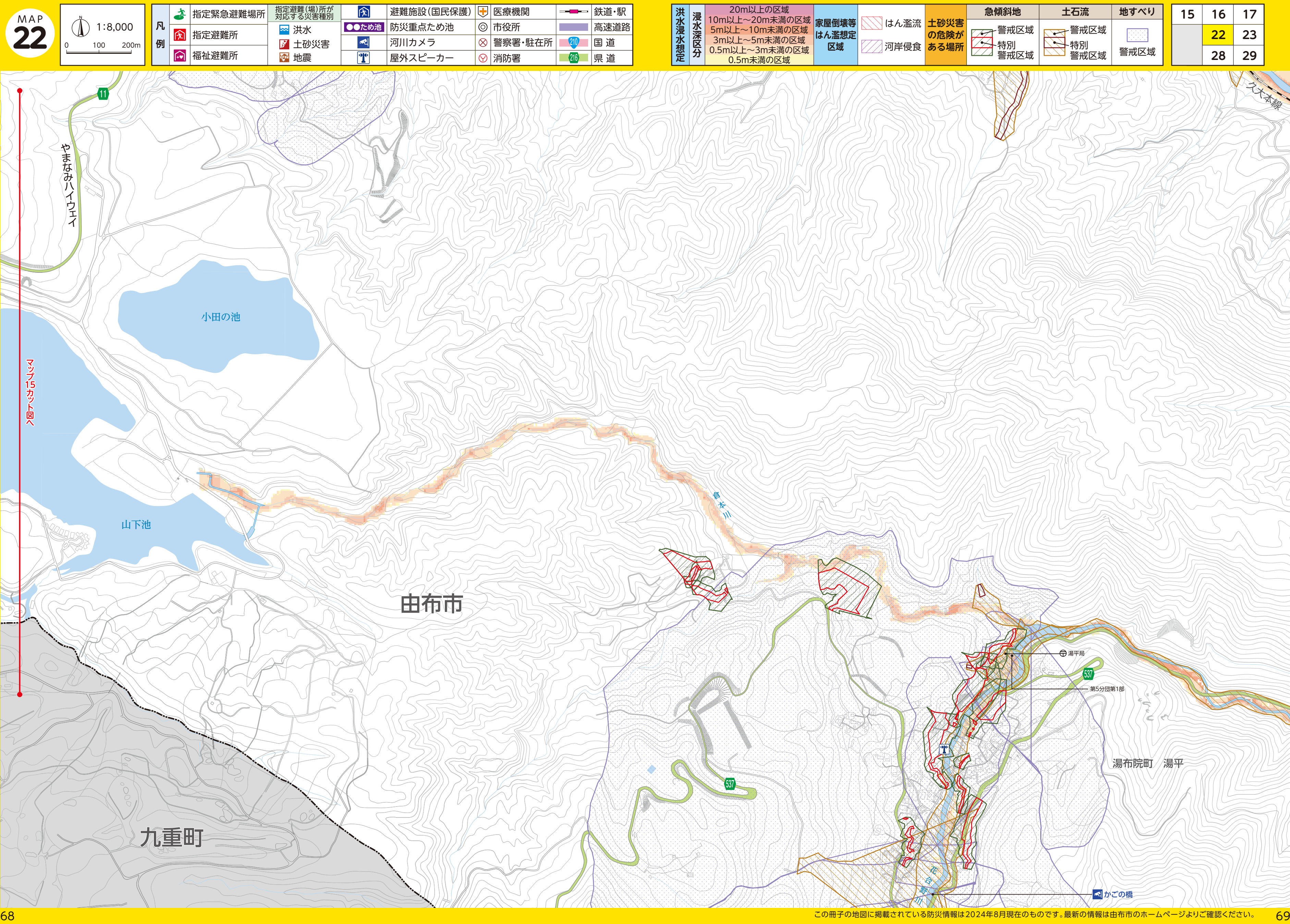
急傾斜地

土石流

地すべり







凡例		指定緊急避難場所		避難施設(国民保護)		医療機関		鉄道・駅
		指定避難所		防災重点ため池		市役所		高速道路
		福祉避難所		河川カメラ		警察署・駐在所		国道
				屋外スピーカー		消防署		県道

洪水浸水想定	浸水深区分	20m以上の区域	家屋倒壊等 はん濫想定 区域		はん濫流	土砂災害 の危険が ある場所	急傾斜地	土石流	地すべり	15	16	17
		10m以上～20m未満の区域									22	23
		5m以上～10m未満の区域									28	29
		3m以上～5m未満の区域										



MAP  
23

1:8,000  
0 100 200m

凡例		指定緊急避難場所		避難施設(国民保護)		医療機関		鉄道・駅
		指定避難所		洪水		土砂災害		はん濫流
		福祉避難所		土砂災害		地震		河岸侵食

	ため池		市役所		高速道路		国道
	河川カメラ		警察署・駐在所		県道		
	屋外スピーカー		消防署				

洪水浸水想定  
浸水深区分

20m以上の区域  
10m以上～20m未満の区域  
5m以上～10m未満の区域  
3m以上～5m未満の区域  
0.5m以上～3m未満の区域  
0.5m未満の区域

家屋倒壊等  
はん濫想定  
区域

はん濫流

河岸侵食

土砂災害  
の危険が  
ある場所

警戒区域

特別警戒区域

急傾斜地

警戒区域

特別警戒区域

土石流

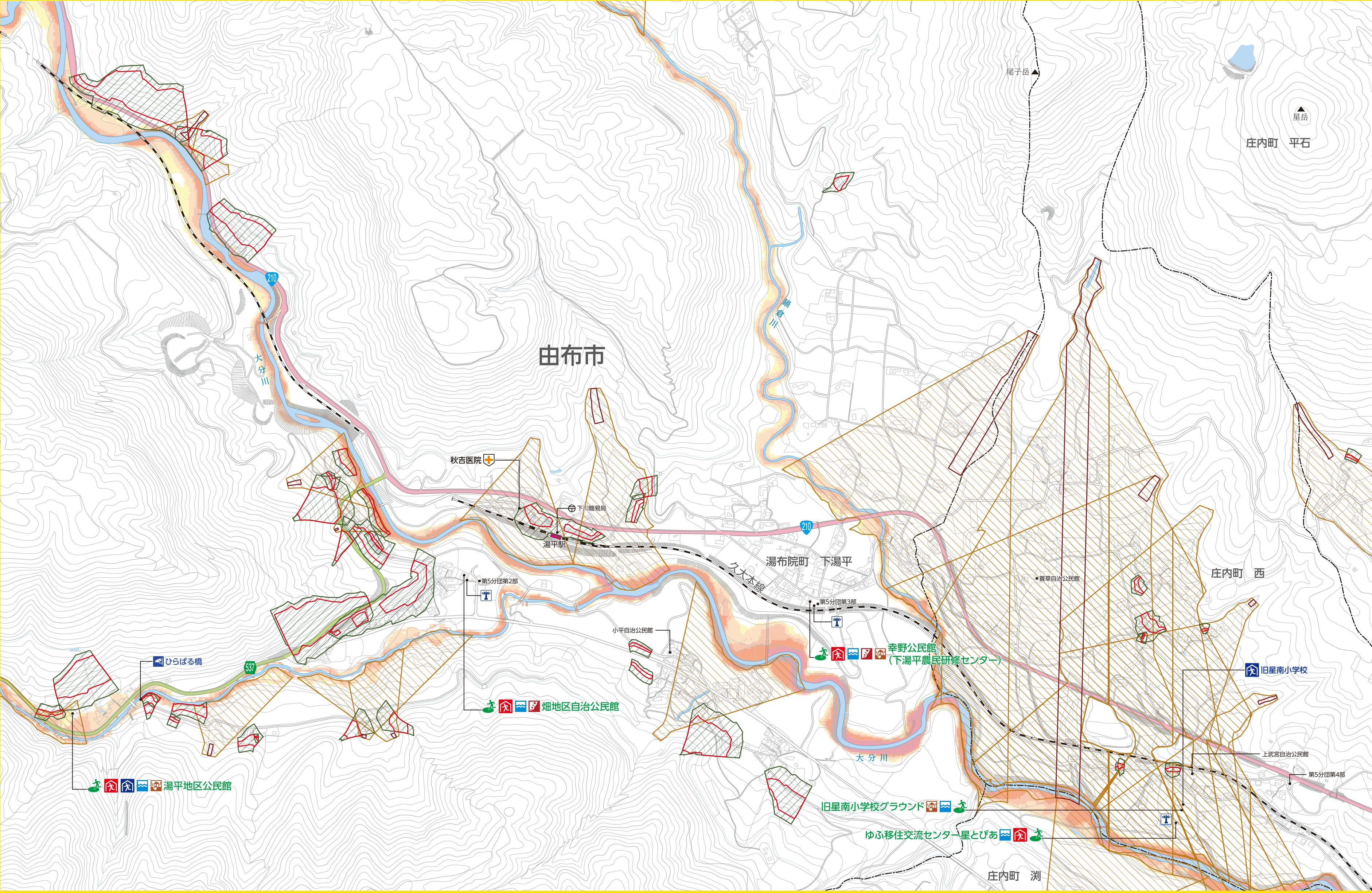
警戒区域

特別警戒区域

地すべり

警戒区域

16	17	18
22	23	24
28	29	30





MAP  
24

1:8,000

0100200m

凡例

指定緊急避難場所

指定避難所

福祉避難所

指定避難(場)所が  
対応する災害種別

洪水

土砂災害

地震

避難施設(国民保護)

防災重点ため池

河川カメラ

屋外スピーカー

医療機関

市役所

警察署・駐在所

消防署

鉄道・駅

高速道路

210 国道

216 県道

洪水浸水想定

浸水深区分

20m以上の区域  
10m以上～20m未満の区域  
5m以上～10m未満の区域  
3m以上～5m未満の区域  
0.5m以上～3m未満の区域  
0.5m未満の区域

家屋倒壊等  
はん濫想定  
区域

はん濫流

河岸侵食

土砂災害  
の危険が  
ある場所

急傾斜地

警戒区域  
特別警戒区域

土石流

警戒区域  
特別警戒区域

地すべり

警戒区域

17

18

19

23

24

25

29

30

31

72

この冊子の地図に掲載されている防災情報は2024年8月現在のものです。最新の情報は由布市のホームページよりご確認ください。

73



MAP  
25

1:8,000

0100200m

凡例

指定緊急避難場所

指定避難所

福祉避難所

指定避難(場)所が  
対応する災害種別

洪水

土砂災害

地震

避難施設(国民保護)

防災重点ため池

河川カメラ

屋外スピーカー

医療機関

市役所

警察署・駐在所

消防署

鉄道・駅

高速道路

国道

県道

洪水浸水想定  
浸水深区分

20m以上の区域

10m以上～20m未満の区域

5m以上～10m未満の区域

3m以上～5m未満の区域

0.5m以上～3m未満の区域

0.5m未満の区域

家屋倒壊等  
はん濫想定  
区域

はん濫流

河岸侵食

土砂災害  
の危険が  
ある場所

警戒区域

特別警戒区域

急傾斜地

警戒区域

特別警戒区域

土石流

警戒区域

特別警戒区域

地すべり

警戒区域

18

19

20

24

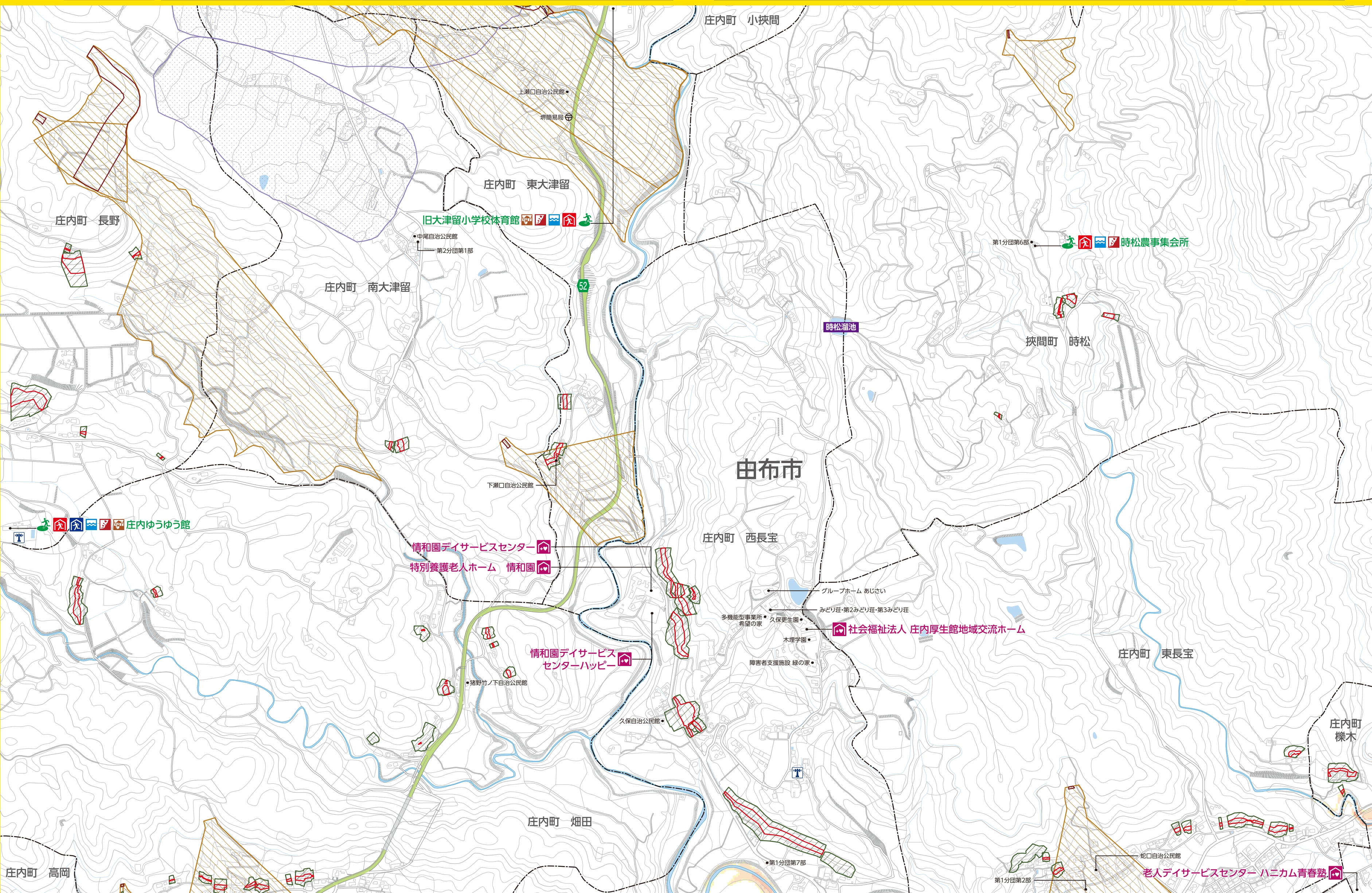
25

26

30

31

32





MAP  
26

1:8,000

0100200m

指定緊急避難場所

指定避難所

福祉避難所

指定避難(場)所が  
対応する災害種別

洪水

土砂災害

地震

避難施設(国民保護)

防災重点ため池

河川カメラ

屋外スピーカー

医療機関

市役所

警察署・駐在所

消防署

鉄道・駅

高速道路

国道

県道

洪水浸水想定  
浸水深区分

20m以上の区域  
10m以上～20m未満の区域  
5m以上～10m未満の区域  
3m以上～5m未満の区域  
0.5m以上～3m未満の区域  
0.5m未満の区域

家屋倒壊等  
はん濫想定  
区域

はん濫流

河岸侵食

土砂災害  
の危険が  
ある場所

警戒区域

特別  
警戒区域

急傾斜地

警戒区域

特別  
警戒区域

土石流

警戒区域

特別  
警戒区域

地すべり

警戒区域

19

20

21

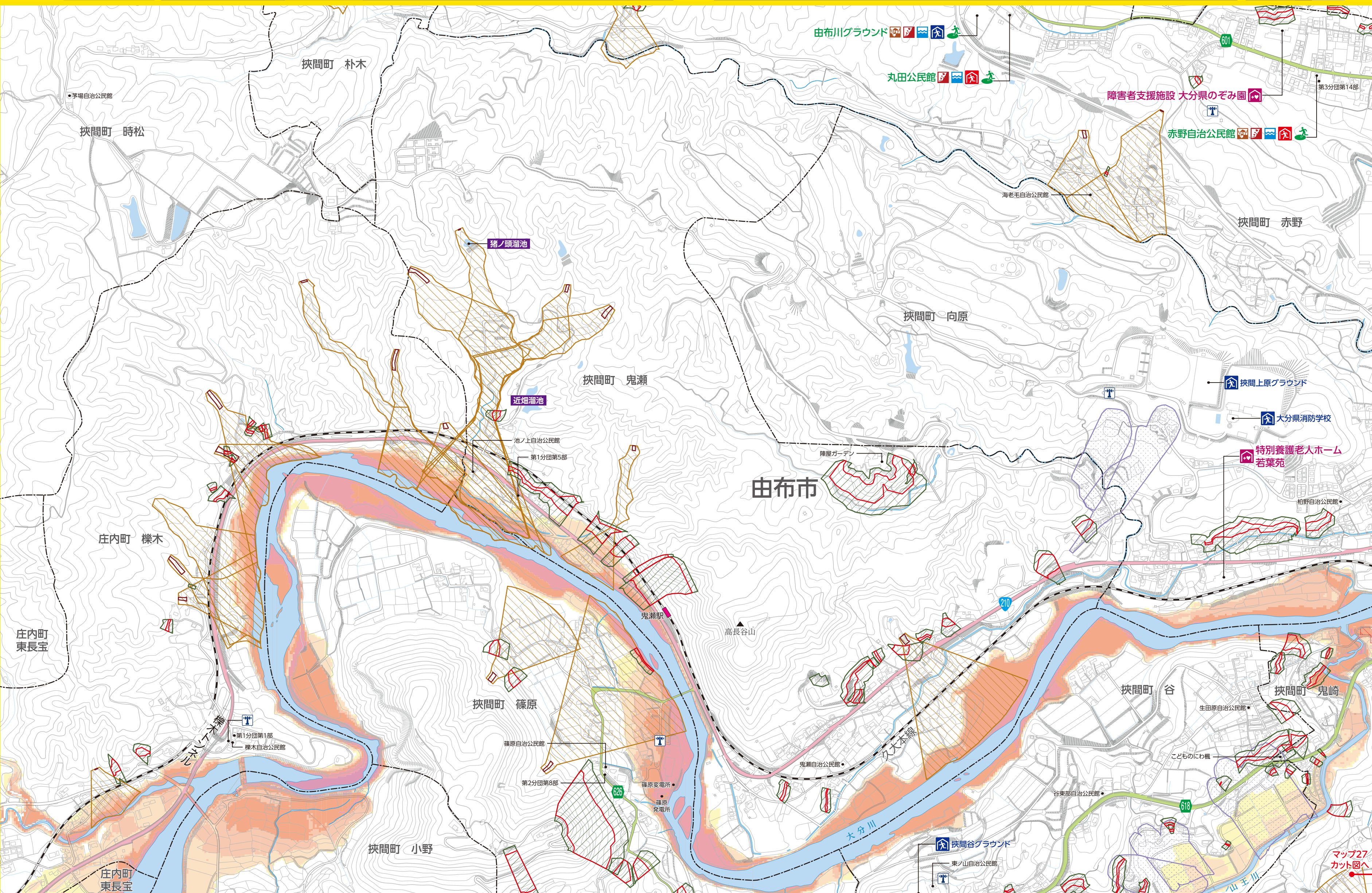
25

26

27

31

32





MAP  
27

1:8,000

0100200m

凡例

指定緊急避難場所

指定避難所

福祉避難所

指定避難(場所)が  
対応する災害種別

洪水

土砂災害

地震

避難施設(国民保護)

防災重点ため池

河川カメラ

屋外スピーカー

医療機関

市役所

警察署・駐在所

消防署

鉄道・駅

高速道路

国道

県道

洪水浸水想定  
浸水深区分

20m以上の区域

10m以上～20m未満の区域

5m以上～10m未満の区域

3m以上～5m未満の区域

0.5m以上～3m未満の区域

0.5m未満の区域

家屋倒壊等  
はん濫想定  
区域

はん濫流

河岸侵食

土砂災害  
の危険が  
ある場所

警戒区域

特別警戒区域

急傾斜地

警戒区域

特別警戒区域

土石流

警戒区域

特別警戒区域

地すべり

警戒区域

20

21

26

27

32

78

この冊子の地図に掲載されている防災情報は2024年8月現在のものです。最新の情報は由布市のホームページよりご確認ください。

79



MAP  
28

1:8,000

0100200m

凡例

	指定緊急避難場所			避難施設(国民保護)		医療機関		鉄道・駅
	指定避難所			防災重点ため池		市役所		高速道路
	福祉避難所			河川カメラ		警察署・駐在所		国道
				屋外スピーカー		消防署		県道

洪水浸水想定

浸水深区分

20m以上の区域
10m以上～20m未満の区域
5m以上～10m未満の区域
3m以上～5m未満の区域
0.5m以上～3m未満の区域
0.5m未満の区域

家屋倒壊等  
はん濫想定  
区域

はん濫流河岸侵食

土砂災害  
の危険が  
ある場所

警戒区域特別警戒区域

急傾斜地

警戒区域特別警戒区域

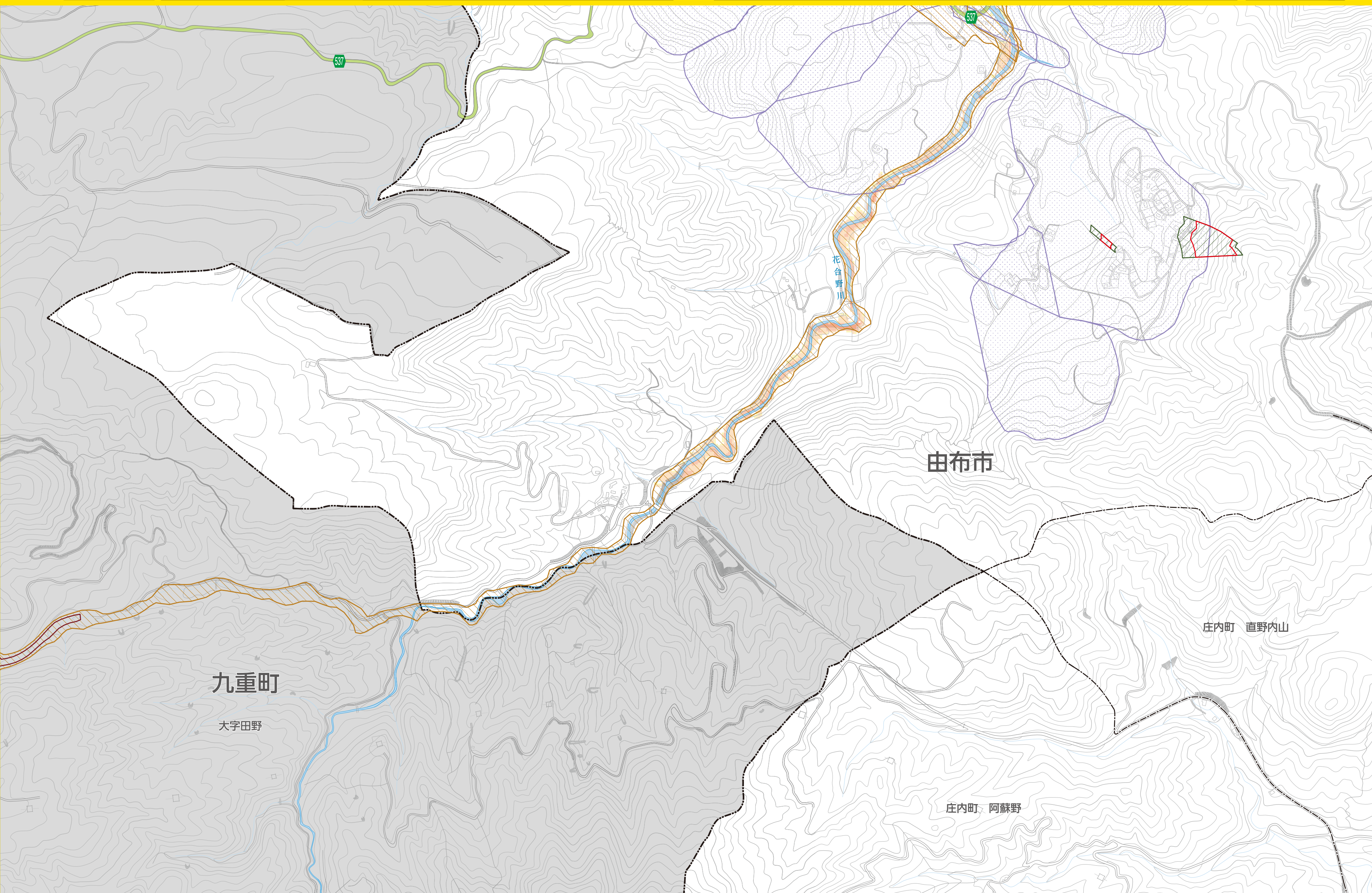
土石流

警戒区域特別警戒区域

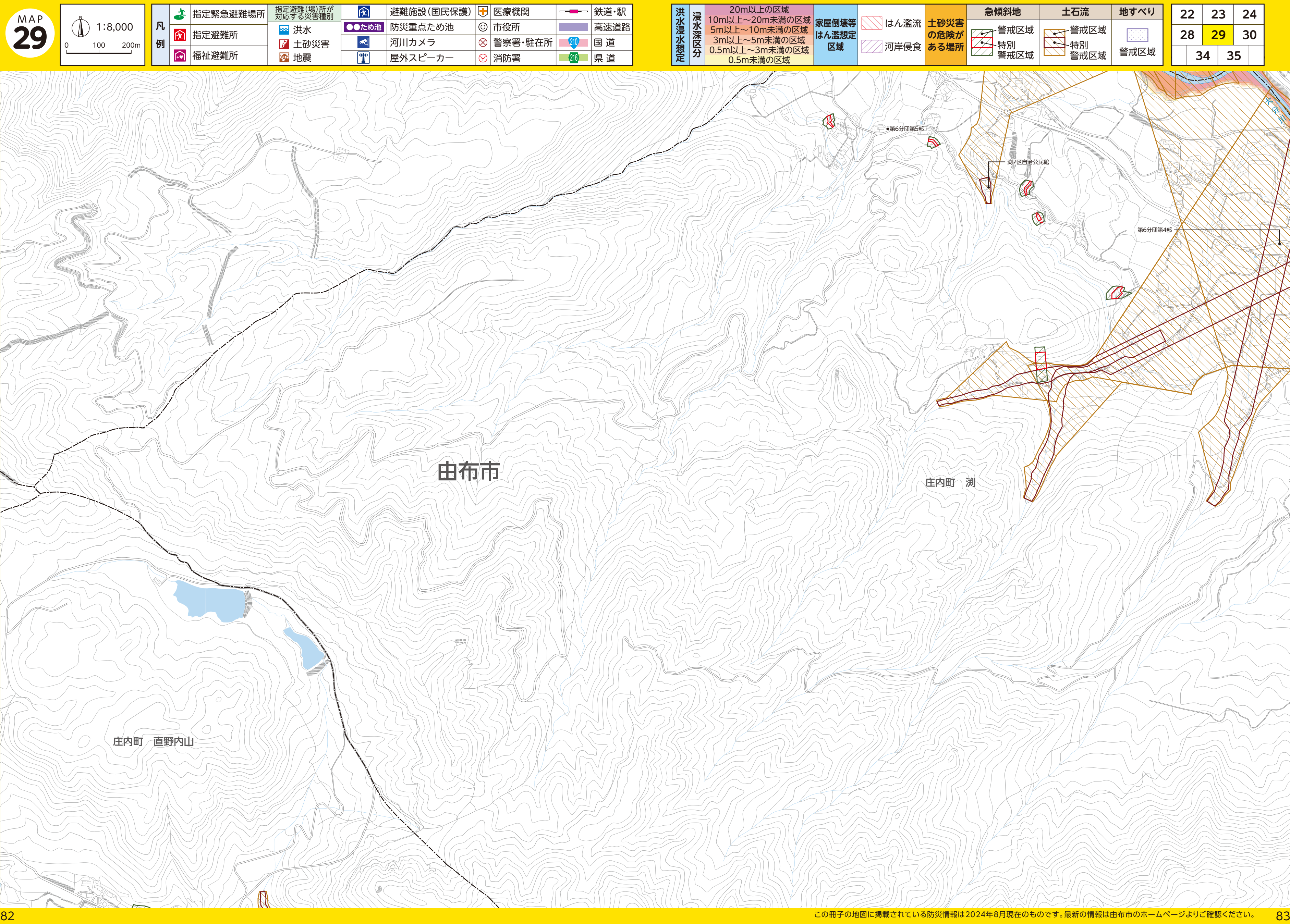
地すべり

警戒区域

	22	23
	28	29
33	34	





土砂災害  
の危険が  
ある場所

急傾斜地

土石流

地すべり



MAP  
30

1:8,000  
0 100 200m

凡例

指定緊急避難場所

指定避難所

福祉避難所

指定避難(場)所が  
対応する災害種別

洪水

土砂災害

地震

避難施設(国民保護)

防災重点ため池

河川カメラ

屋外スピーカー

医療機関

市役所

警察署・駐在所

消防署

鉄道・駅

高速道路

210 国道

216 県道

洪水浸水想定  
浸水深区分

20m以上の区域

10m以上～20m未満の区域

5m以上～10m未満の区域

3m以上～5m未満の区域

0.5m以上～3m未満の区域

0.5m未満の区域

家屋倒壊等  
はん濫想定  
区域

はん濫流

河岸侵食

土砂災害  
の危険が  
ある場所

警戒区域

特別警戒区域

急傾斜地

警戒区域

特別警戒区域

土石流

警戒区域

特別警戒区域

地すべり

警戒区域

23

24

25

29

30

31

35

36

84

この冊子の地図に掲載されている防災情報は2024年8月現在のものです。最新の情報は由布市のホームページよりご確認ください。

85



MAP  
31

1:8,000

0100200m

凡例		指定緊急避難場所		避難施設(国民保護)		医療機関		鉄道・駅
		指定避難所		洪水		土砂災害		防災重点ため池
		福祉避難所		土砂災害		地震		河川カメラ
				屋外スピーカー		警察署・駐在所		消防署

20m以上の区域

10m以上～20m未満の区域

5m以上～10m未満の区域

3m以上～5m未満の区域

0.5m以上～3m未満の区域

0.5m未満の区域

家屋倒壊等はん濫想定区域

はん濫流

河岸侵食

土砂災害の危険がある場所

急傾斜地

警戒区域

特別警戒区域

土石流

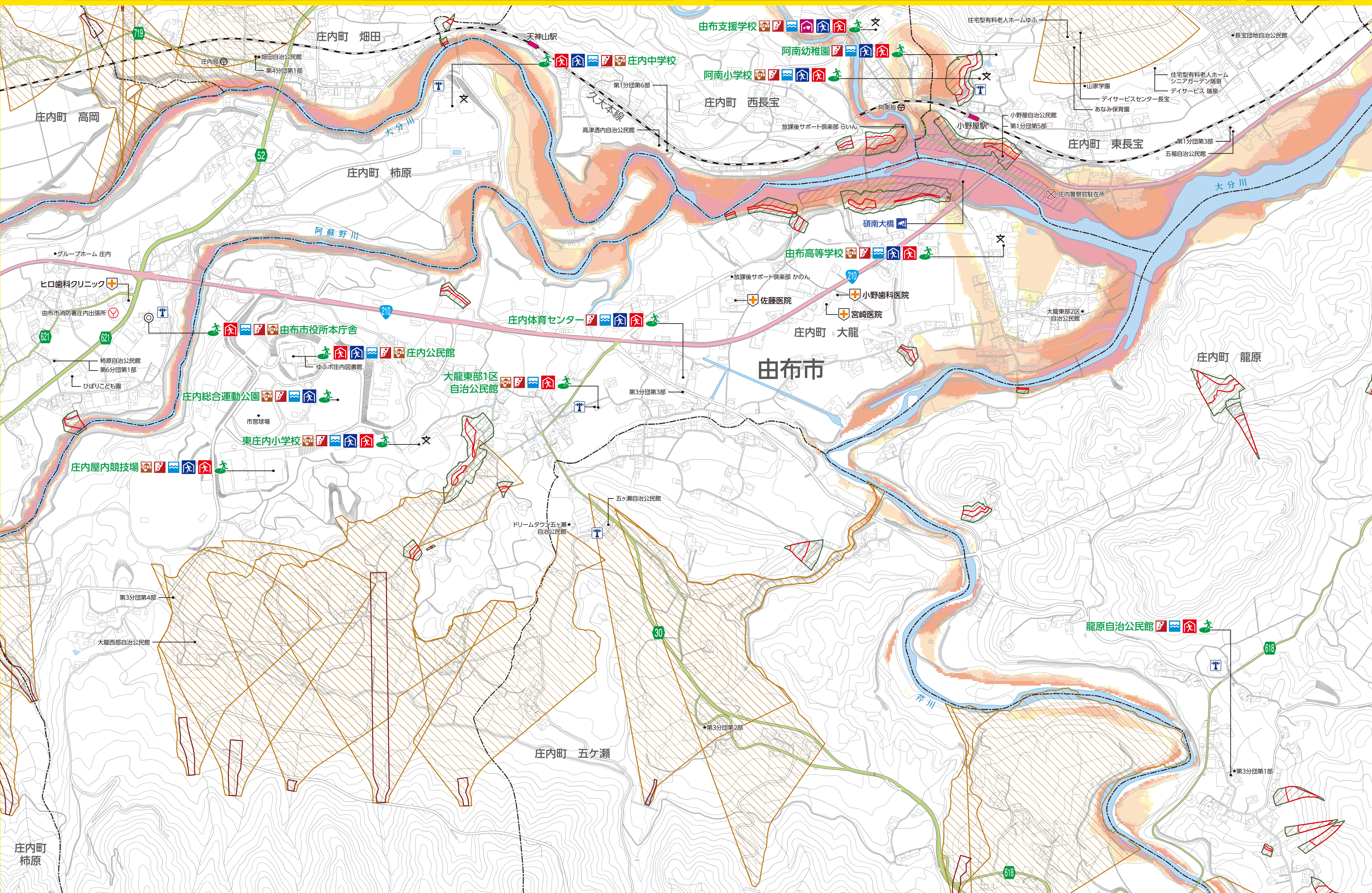
警戒区域

特別警戒区域

地すべり

警戒区域

24	25	26
30	31	32
36	37	





MAP  
32

1:8,000

0100200m

凡例

指定緊急避難場所

指定避難所

福祉避難所

指定避難(場)所が  
対応する災害種別

洪水

土砂災害

地震

避難施設(国民保護)

防災重点ため池

河川カメラ

屋外スピーカー

医療機関

市役所

警察署・駐在所

消防署

鉄道・駅

高速道路

210 国道

216 県道

洪水浸水想定  
浸水深区分

20m以上の区域

10m以上～20m未満の区域

5m以上～10m未満の区域

3m以上～5m未満の区域

0.5m以上～3m未満の区域

0.5m未満の区域

家屋倒壊等  
はん濫想定  
区域

はん濫流

河岸侵食

土砂災害  
の危険が  
ある場所

警戒区域

特別警戒区域

土石流

警戒区域

特別警戒区域

地すべり

警戒区域

25

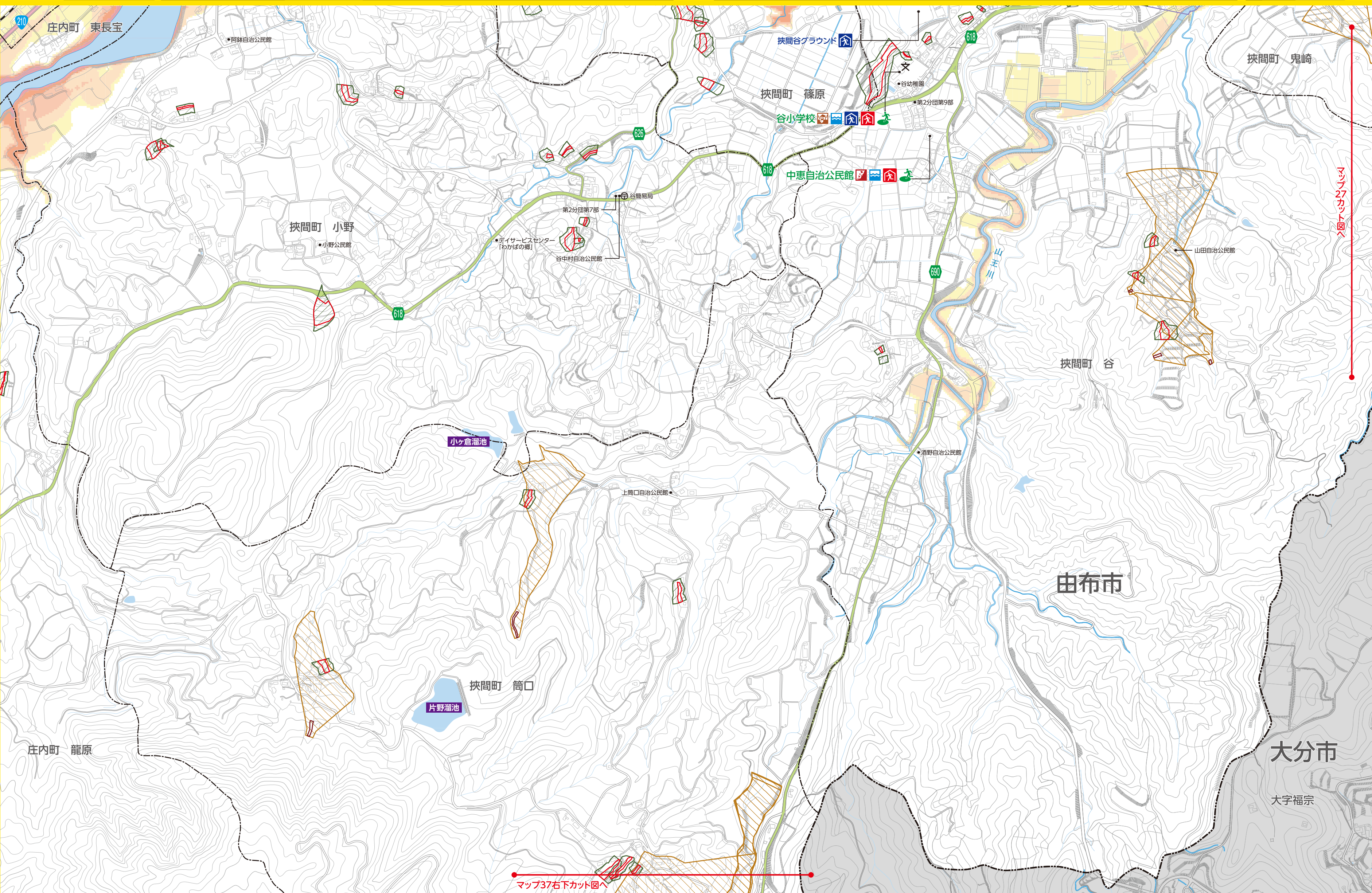
26

27

31

32

37





MAP  
33

1:8,000

0100200m

凡例

	指定緊急避難場所			避難施設(国民保護)		医療機関		鉄道・駅
	指定避難所			防災重点ため池		市役所		高速道路
	福祉避難所			河川カメラ		警察署・駐在所		国道
				屋外スピーカー		消防署		県道

洪水浸水想定

浸水深区分

20m以上の区域
10m以上～20m未満の区域
5m以上～10m未満の区域
3m以上～5m未満の区域
0.5m以上～3m未満の区域
0.5m未満の区域

家屋倒壊等  
はん濫想定  
区域

はん濫流河岸侵食

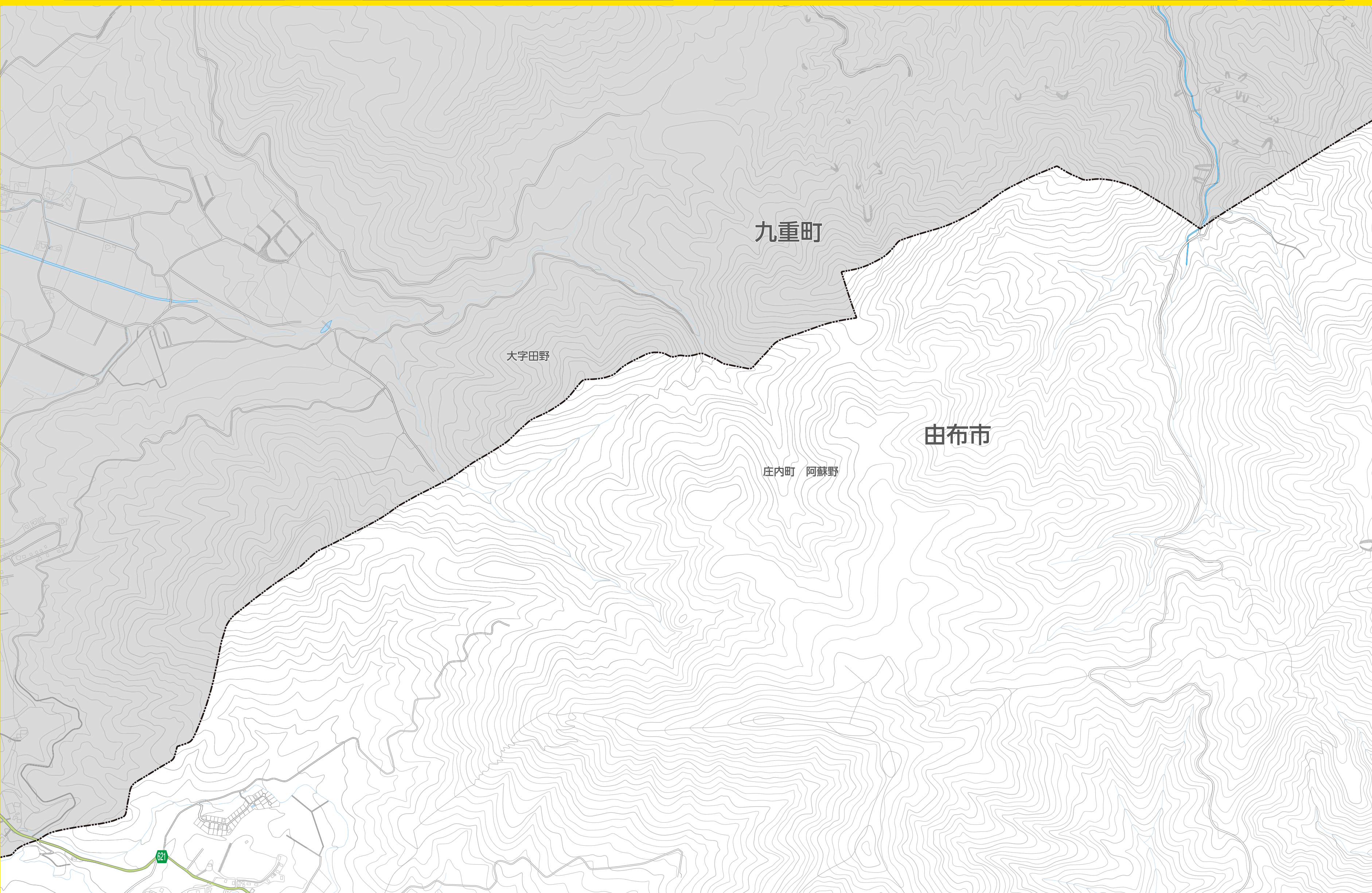
土砂災害  
の危険が  
ある場所

警戒区域特別警戒区域

急傾斜地

土石流

地すべり





MAP  
34

1:8,000

0100200m

凡例		指定緊急避難場所	指定避難(場)所が 対応する災害種別		避難施設(国民保護)		医療機関		鉄道・駅
		指定避難所			防災重点ため池		市役所		高速道路
		福祉避難所			洪水		土砂災害		国道
				地震		河川カメラ		県道	
						屋外スピーカー		警察署・駐在所	
						消防署			

洪水浸水想定

浸水深区分

20m以上の区域  
10m以上～20m未満の区域  
5m以上～10m未満の区域  
3m以上～5m未満の区域  
0.5m以上～3m未満の区域  
0.5m未満の区域

家屋倒壊等  
はん濫想定  
区域

はん濫流河岸侵食

土砂災害  
の危険が  
ある場所

急傾斜地

警戒区域特別警戒区域

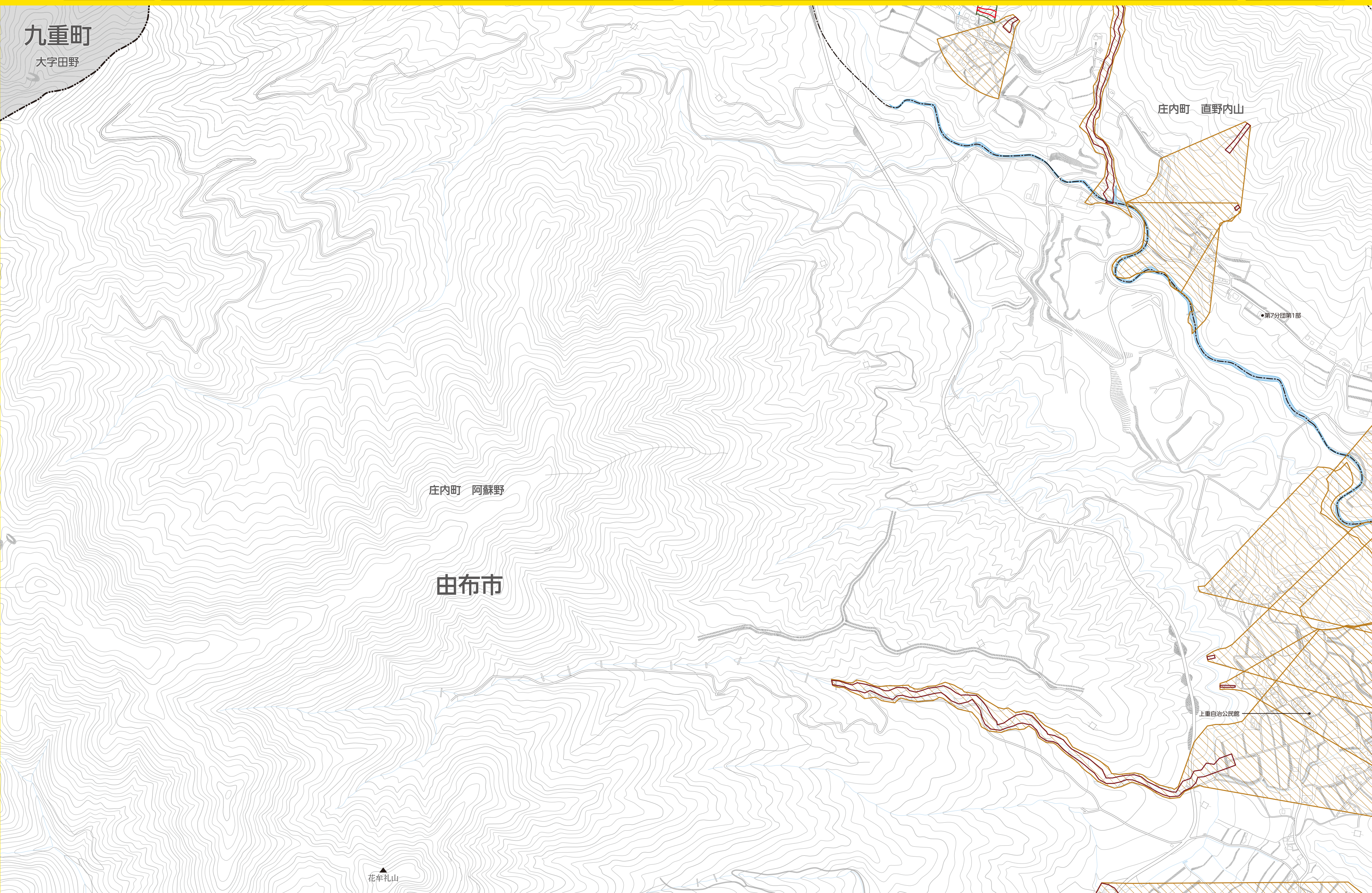
土石流

警戒区域特別警戒区域

地すべり

警戒区域

	28	29
33	34	35
	39	40





MAP  
35

1:8,000

0100200m

凡例	指定緊急避難場所	指定避難(場)所が 対応する災害種別	避難施設(国民保護)	医療機関	鉄道・駅
	指定避難所		防災重点ため池	市役所	高速道路
	福祉避難所		洪水	河川カメラ	警察署・駐在所
		土砂災害	屋外スピーカー	消防署	県道
		地震			

洪水浸水想定

浸水深区分

20m以上の区域  
10m以上～20m未満の区域  
5m以上～10m未満の区域  
3m以上～5m未満の区域  
0.5m以上～3m未満の区域  
0.5m未満の区域

家屋倒壊等  
はん濫想定  
区域

はん濫流  
 河岸侵食

土砂災害  
の危険が  
ある場所

警戒区域  
 特別警戒区域

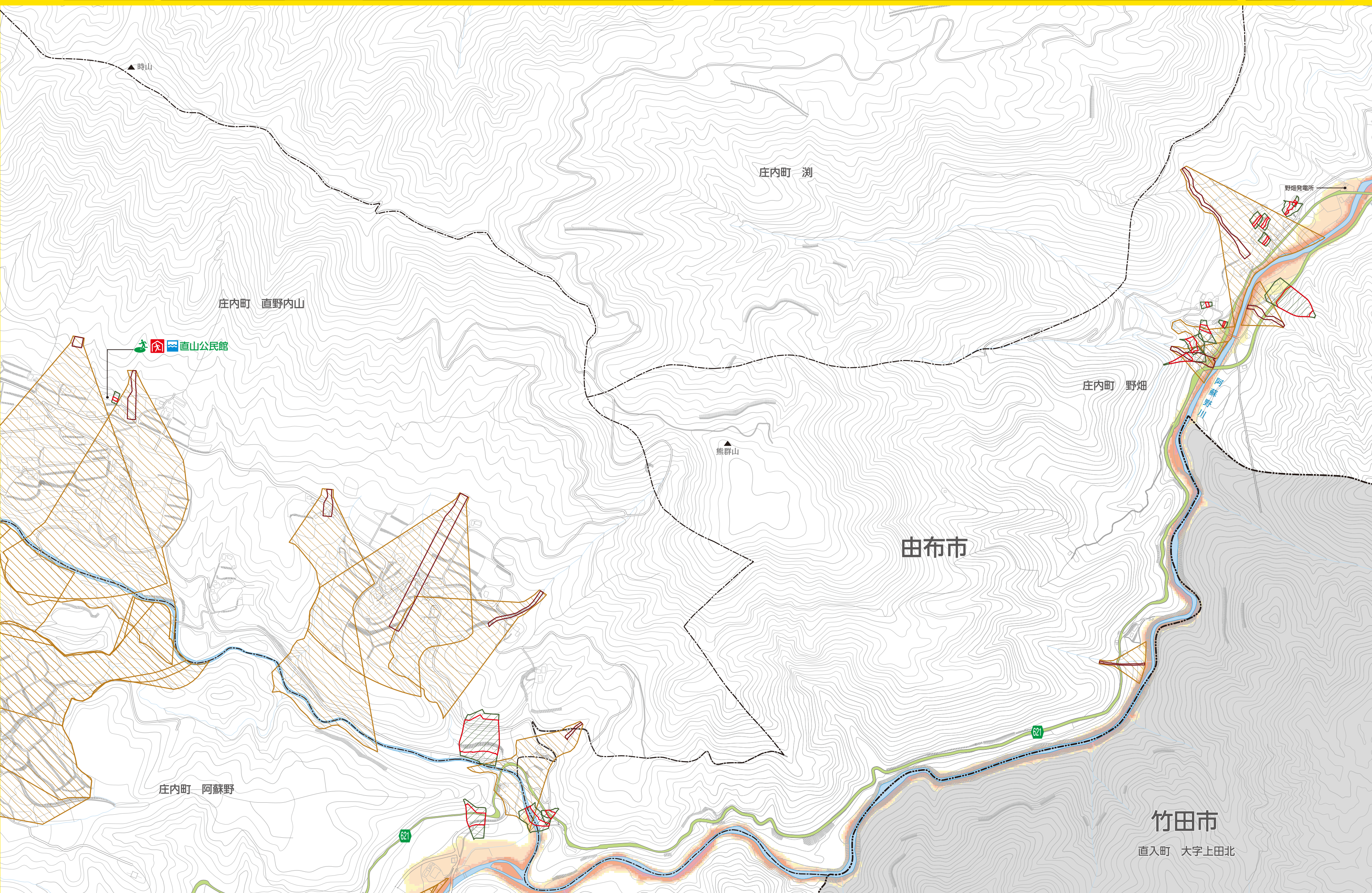
土石流

警戒区域  
 特別警戒区域

地すべり

警戒区域

29	30	
34	35	36
40		





MAP  
36

1:8,000

0100200m

凡例		指定緊急避難場所	指定避難(場)所が 対応する災害種別		避難施設(国民保護)		医療機関		鉄道・駅	
		指定避難所			防災重点ため池		市役所		高速道路	
		福祉避難所			洪水		土砂災害		国道	
				地震		河川カメラ		警察署・駐在所		県道
						屋外スピーカー		消防署		

洪水浸水想定

浸水深区分

20m以上の区域  
10m以上～20m未満の区域  
5m以上～10m未満の区域  
3m以上～5m未満の区域  
0.5m以上～3m未満の区域  
0.5m未満の区域

家屋倒壊等  
はん濫想定  
区域

はん濫流

河岸侵食

土砂災害  
の危険が  
ある場所

警戒区域

特別警戒区域

急傾斜地

警戒区域

特別警戒区域

土石流

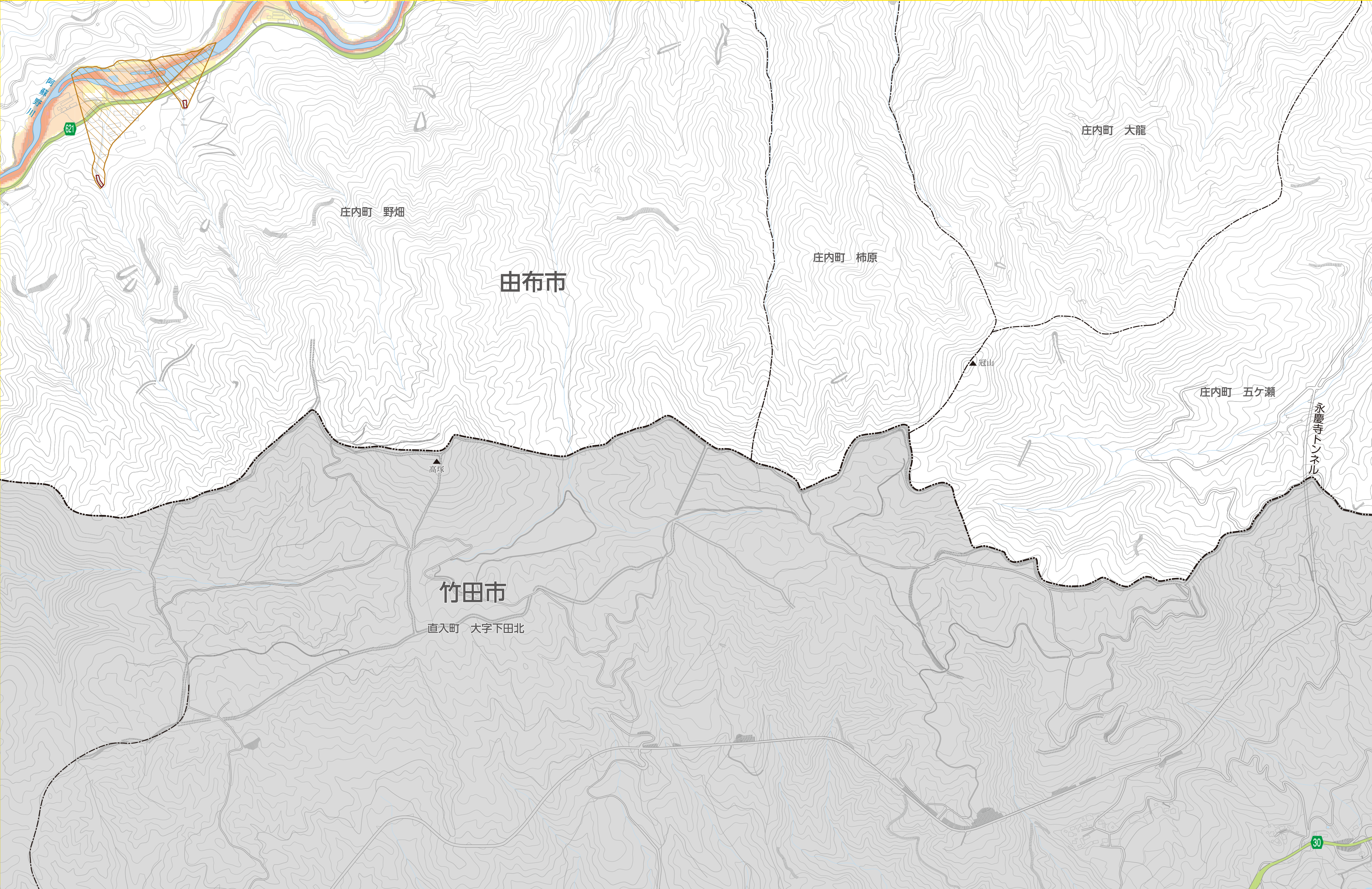
警戒区域

特別警戒区域

地すべり

警戒区域

	30	31	
35	36	37	





MAP  
37

1:8,000

0100200m

凡例	指定緊急避難場所	指定避難(場)所が対応する災害種別	避難施設(国民保護)	医療機関	鉄道・駅
	指定避難所	洪水	防災重点ため池	市役所	高速道路
	福祉避難所	土砂災害 地震	河川カメラ	警察署・駐在所	国道
			屋外スピーカー	消防署	県道

洪水浸水想定

浸水深区分

20m以上の区域  
10m以上～20m未満の区域  
5m以上～10m未満の区域  
3m以上～5m未満の区域  
0.5m以上～3m未満の区域  
0.5m未満の区域

家屋倒壊等  
はん濫想定  
区域

はん濫流  
 河岸侵食

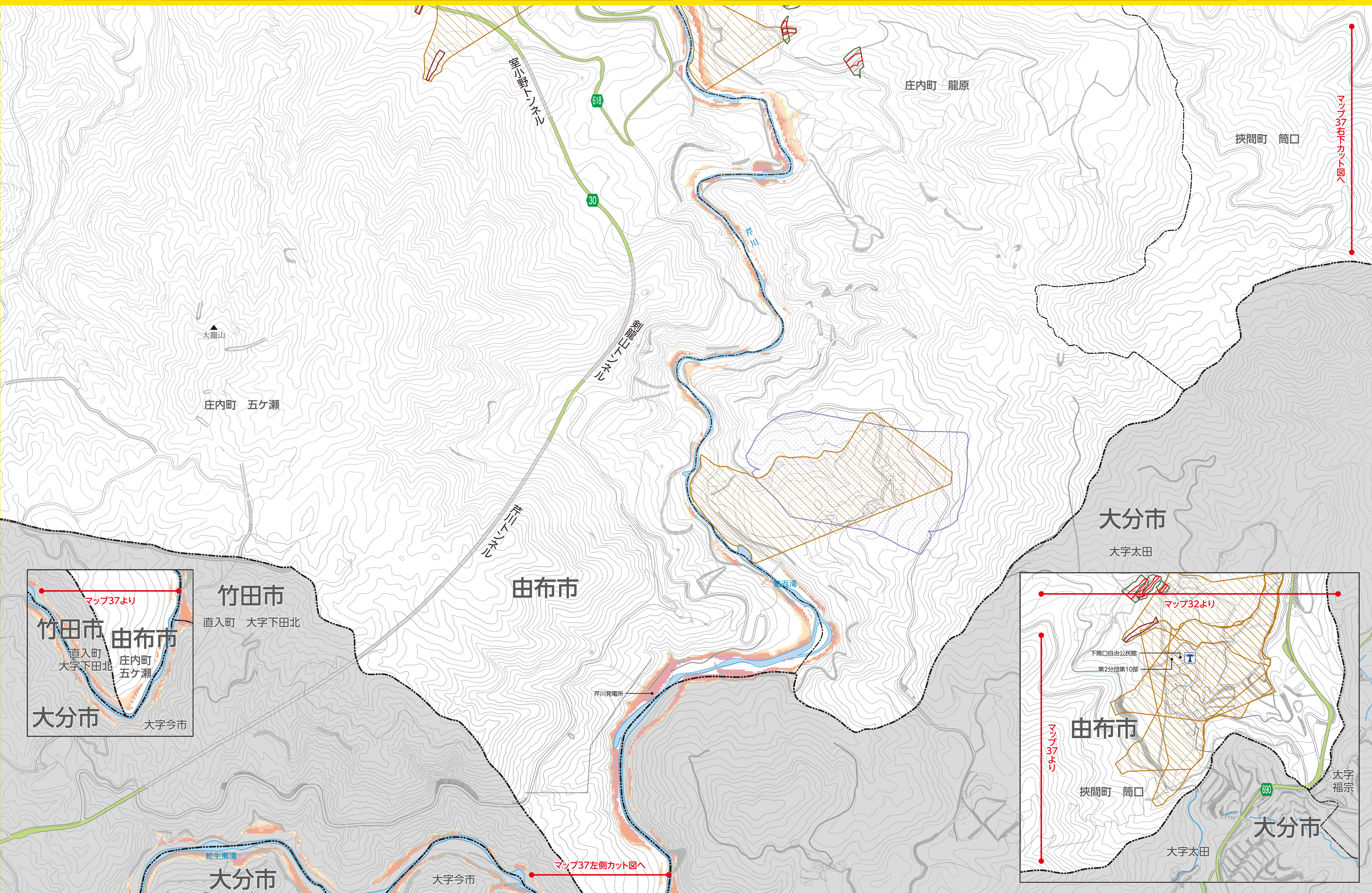
土砂災害  
の危険が  
ある場所

急傾斜地  
 警戒区域  
 特別警戒区域

土石流  
 警戒区域  
 特別警戒区域

地すべり  
 警戒区域

	31	32
36	37	





MAP  
38

1:8,000

0100200m

凡例

指定緊急避難場所	指定避難(場)所が対応する災害種別	避難施設(国民保護)	医療機関	鉄道・駅
指定避難所	洪水	防災重点ため池	市役所	高速道路
福祉避難所	土砂災害	河川カメラ	警察署・駐在所	国道
	地震	屋外スピーカー	消防署	県道

洪水浸水想定

浸水深区分

20m以上の区域

10m以上～20m未満の区域

5m以上～10m未満の区域

3m以上～5m未満の区域

0.5m以上～3m未満の区域

0.5m未満の区域

家屋倒壊等  
はん濫想定  
区域

はん濫流

河岸侵食

土砂災害  
の危険が  
ある場所

警戒区域

特別警戒区域

急傾斜地

警戒区域

特別警戒区域

土石流

警戒区域

特別警戒区域

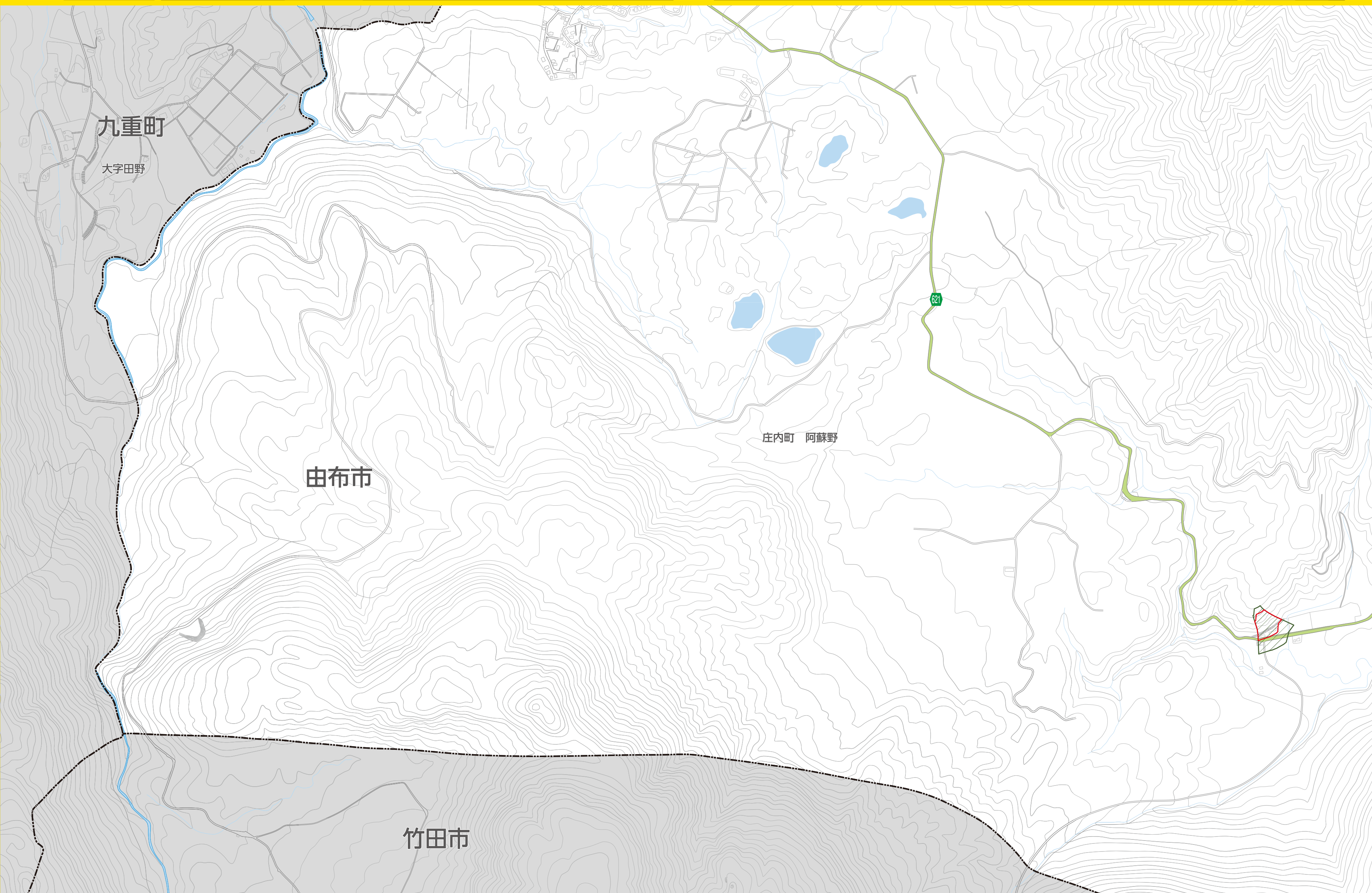
地すべり

警戒区域

33

3839

41





MAP  
39

1:8,000

0100200m

凡例		指定緊急避難場所	指定避難(場)所が 対応する災害種別		避難施設(国民保護)		医療機関		鉄道・駅	
		指定避難所			防災重点ため池		市役所		高速道路	
		福祉避難所			洪水		土砂災害		国道	
				地震		河川カメラ		消防署		県道

洪水浸水想定

浸水深区分

20m以上の区域  
10m以上～20m未満の区域  
5m以上～10m未満の区域  
3m以上～5m未満の区域  
0.5m以上～3m未満の区域  
0.5m未満の区域

家屋倒壊等  
はん濫想定  
区域

はん濫流

河岸侵食

土砂災害  
の危険が  
ある場所

警戒区域

特別警戒区域

急傾斜地

警戒区域

特別警戒区域

土石流

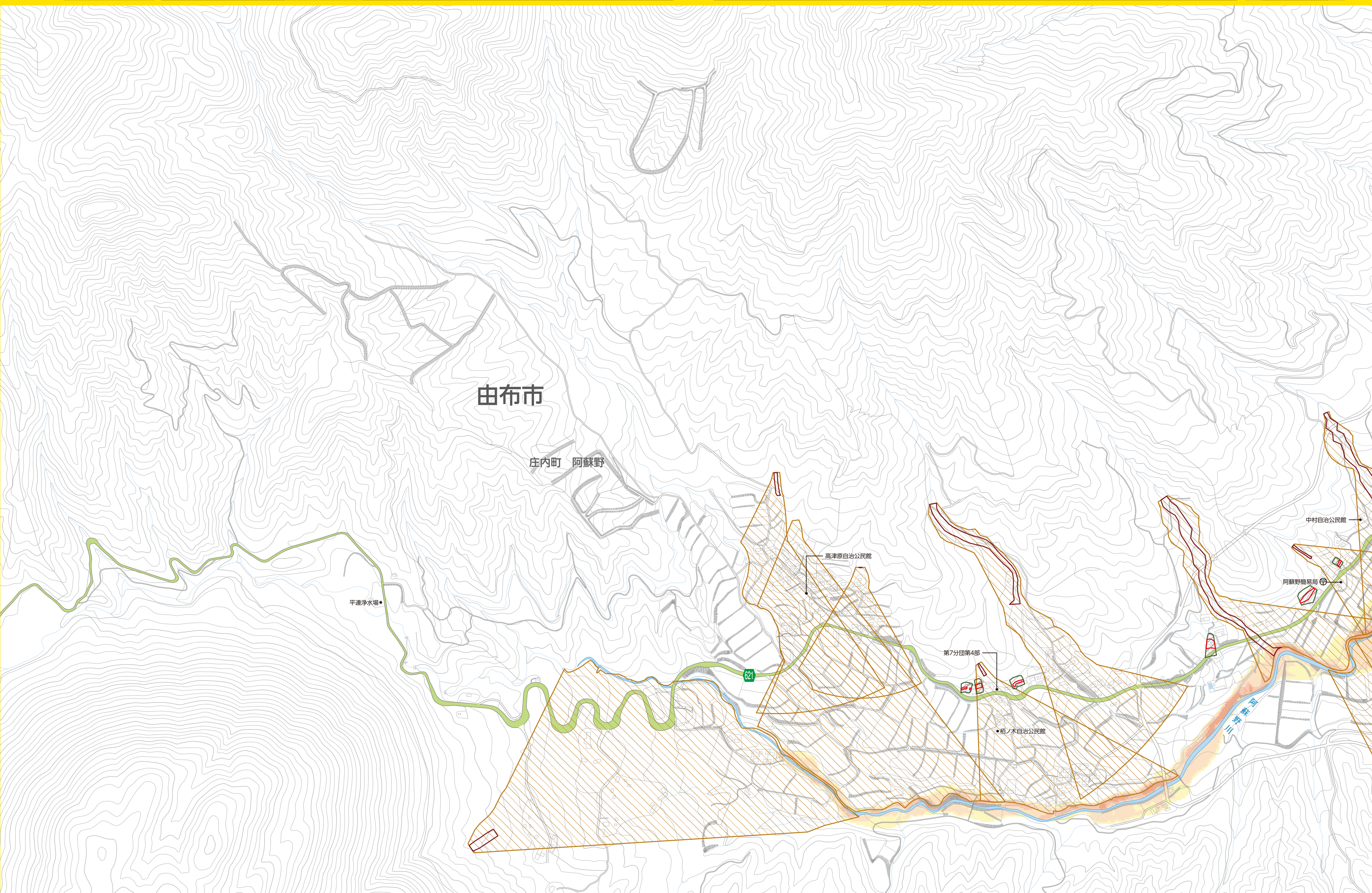
警戒区域

特別警戒区域

地すべり

警戒区域

	33	34	
38	39	40	
	41	42	









MAP  
41

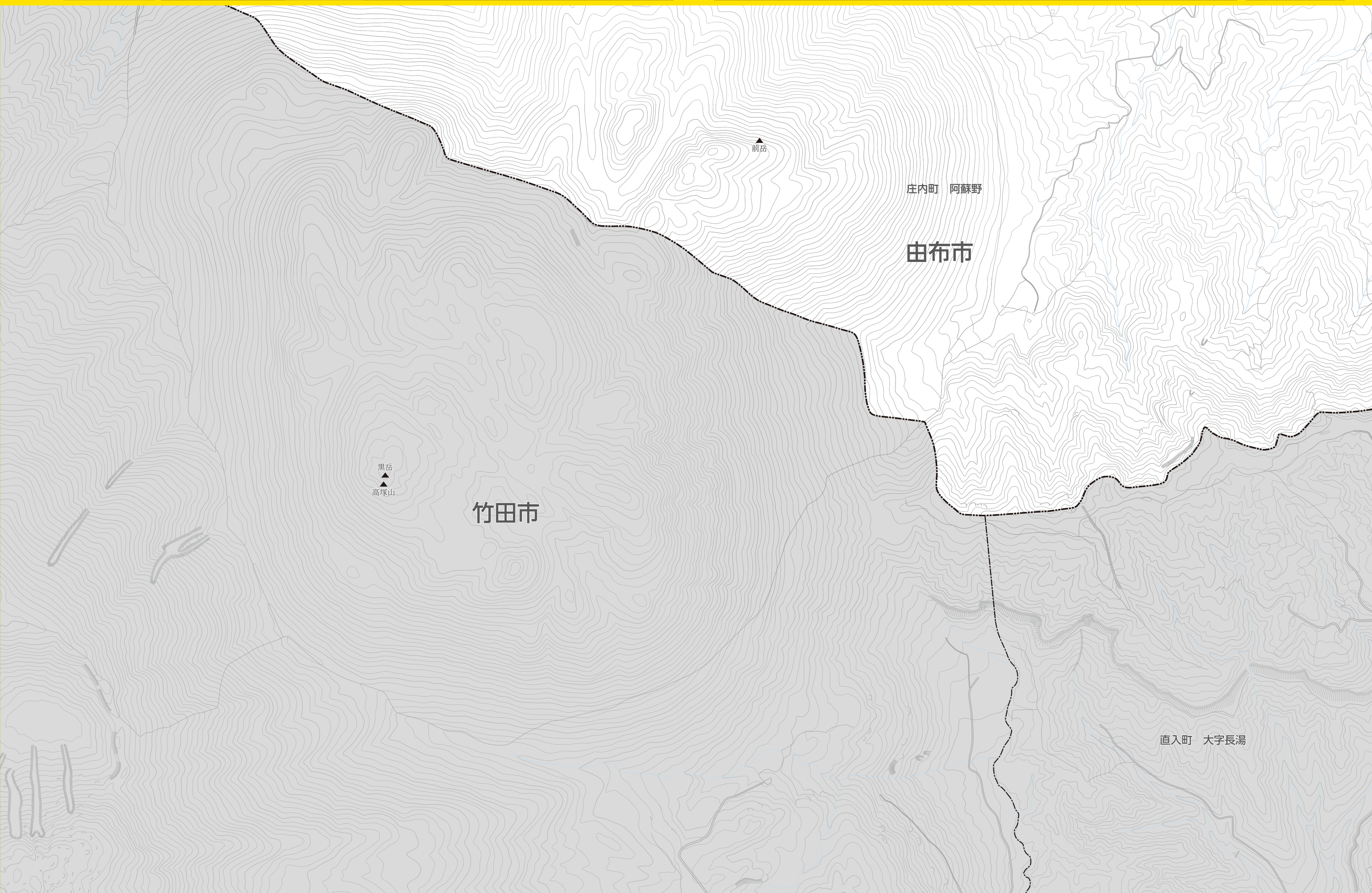
1:8,000

0100200m

凡例		指定緊急避難場所	指定避難(場)所が 対応する災害種別		避難施設(国民保護)		医療機関		鉄道・駅	
		指定避難所			洪水		防災重点ため池		高速道路	
		福祉避難所			土砂災害		河川カメラ		国道	
				地震		屋外スピーカー		消防署		県道

洪水浸水想定	浸水深区分	20m以上の区域	家屋倒壊等 はん濫想定 区域		はん濫流	土砂災害 の危険が ある場所		警戒区域		特別警戒区域		地すべり
		10m以上～20m未満の区域										
		5m以上～10m未満の区域										
		3m以上～5m未満の区域										
0.5m以上～3m未満の区域	0.5m未満の区域											

38	39
41	42





MAP  
42

1:8,000

0100200m

凡例

	指定緊急避難場所	指定避難(場)所が 対応する災害種別		避難施設(国民保護)		医療機関		鉄道・駅	
	指定避難所		洪水		防災重点ため池		市役所		高速道路
	福祉避難所		土砂災害		河川カメラ		警察署・駐在所		国道
			地震		屋外スピーカー		消防署		県道

洪水浸水想定

浸水深区分

20m以上の区域
10m以上～20m未満の区域
5m以上～10m未満の区域
3m以上～5m未満の区域
0.5m以上～3m未満の区域
0.5m未満の区域

家屋倒壊等  
はん濫想定  
区域

はん濫流

河岸侵食

土砂災害  
の危険が  
ある場所

警戒区域

特別警戒区域

急傾斜地

警戒区域

特別警戒区域

土石流

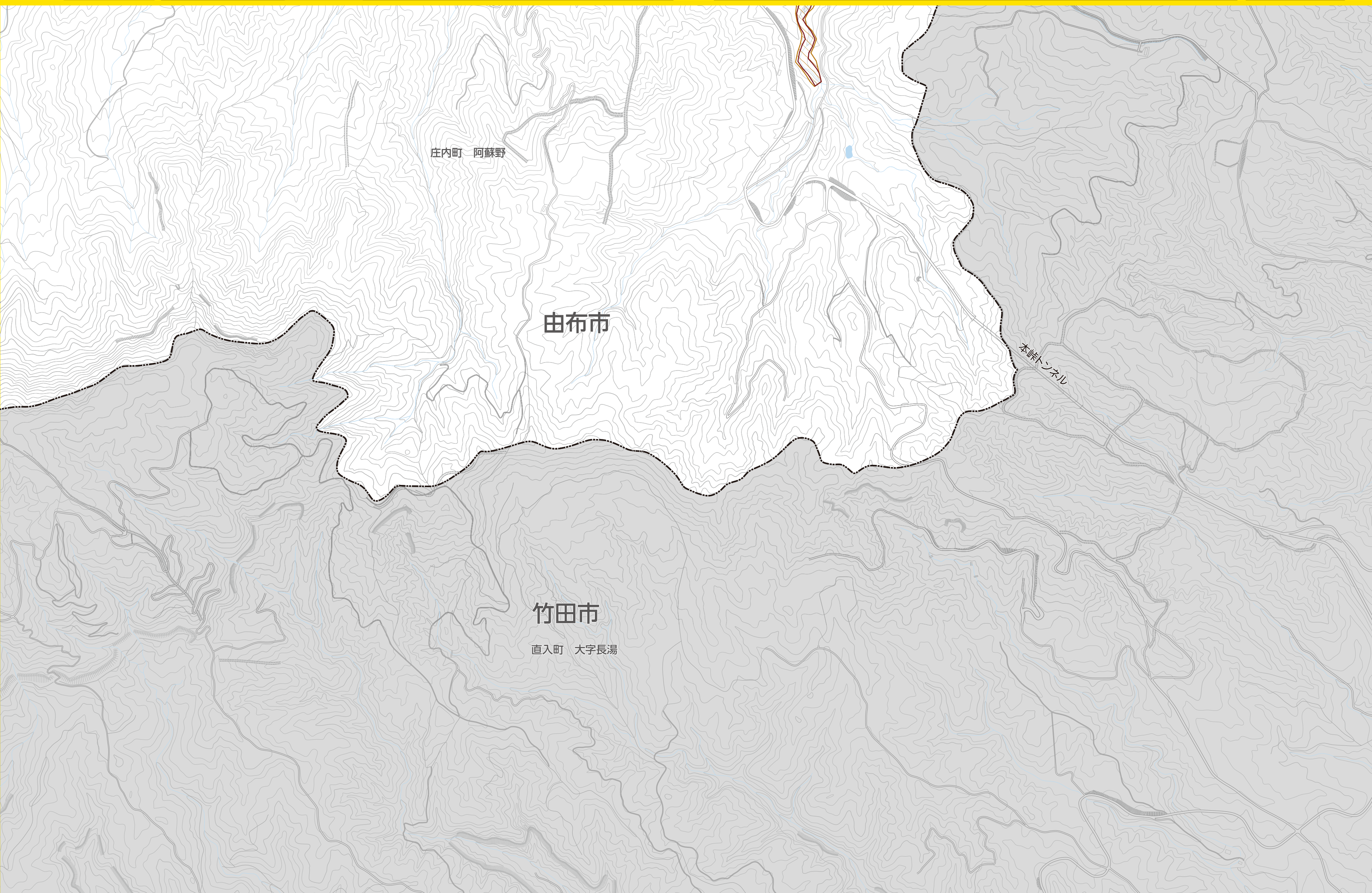
警戒区域

特別警戒区域

地すべり

警戒区域

	39	40
41	42	





# 緊急時の連絡

この冊子の記事情報は、2024年8月現在のものを使用し作成しております。最新の情報は由布市のホームページよりご確認ください。

## 緊急時の連絡先

消防・救急は **119番** 警察は **110番**

	名 称	TEL
行政関係	由布市役所 本庁舎	097-582-1111
	由布市防災危機管理課	097-582-1140
	挾間庁舎	097-583-1111
	湯布院庁舎	0977-84-3111
消 防	由布市消防本部	097-583-1500
	由布市消防署 庄内出張所	097-582-0119
	由布市消防署 湯布院出張所	0977-85-2355
警 察	大分南警察署	097-542-2131
	挾間交番	097-583-0200
	庄内警察官駐在所	097-582-0310
	庄内西警察官駐在所	097-582-0380
	湯布院幹部交番	0977-84-2131

	名 称		TEL
ライフ ライン	電話の故障に 関することは	NTT西日本	0120-444-113
	停電に 関することは	九州電力送配電 大分配電事業所	0800-777-9429
		九州電力送配電 別府配電事業所	0800-777-9428
		九州電力送配電 日田配電事業所	0800-777-9427
	水道に 関することは	由布市役所 水道課	097-582-1328

もしもの時のために**連絡先**を記入しましょう。

家族・親戚

名前	☎	名前	☎
名前	☎	名前	☎
名前	☎	名前	☎

かかりつけの病院

## 災害用伝言サービス

災害発生時は、家族や知人と連絡が取れなくなることがあります。事前に話し合い、連絡方法を確認しておきましょう。なお、電話会社各社では、大規模な災害発生時に災害用伝言ダイヤルなどを利用できます。事前に利用方法を確認しておきましょう。

NTT西日本  
《災害用伝言ダイヤル171》



NTTドコモ  
《災害用伝言板》



au  
《災害用伝言板サービス》



SoftBank  
《災害用伝言板》



楽天モバイル  
《災害用伝言板》



### 災害用伝言ダイヤルとは？

NTTでは、災害発生時に、被災地への通話がつながりにくい状況の場合、被災地内の安否などの情報を音声で録音、再生する「災害用伝言ダイヤル」を設置します。

#### ●災害用伝言ダイヤルの使い方

※伝言蓄積数や保存期間は災害の状況により異なります。

伝言の録音	171-1-●●●●●-●●●●●●●●●●	(自宅の電話番号、または連絡を取りたい方の電話番号)	伝言保存期間	提供終了まで
伝言の再生	171-2-●●●●●-●●●●●●●●●●		伝言蓄積数	1電話番号あたり1～20伝言まで
伝言内容 (時間)	1伝言あたり30秒以内		利用可能電話	加入電話、ISDN、ひかり電話、携帯電話(一部除く)等 ※ISDNおよびひかり電話をご利用でダイヤル式電話機をお使いの場合はご利用になれません

問い合わせ先 由布市 防災危機管理課 **097-582-1140** (直通)